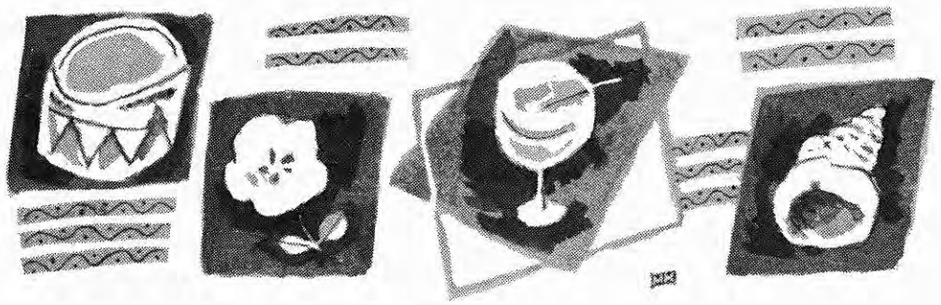
東北電力



No. 40



東北電力 第40号 目次

10分間の電磁気学 …… 東北大教授 **二村忠元**…(2)

太陽電池と信夫山ロボット無線局 ……給電部通信課…(23)
「家庭と電気」の発行について …… 営業部営業課…(29)
事務機械化の現状 …… 三浦英三…(32)

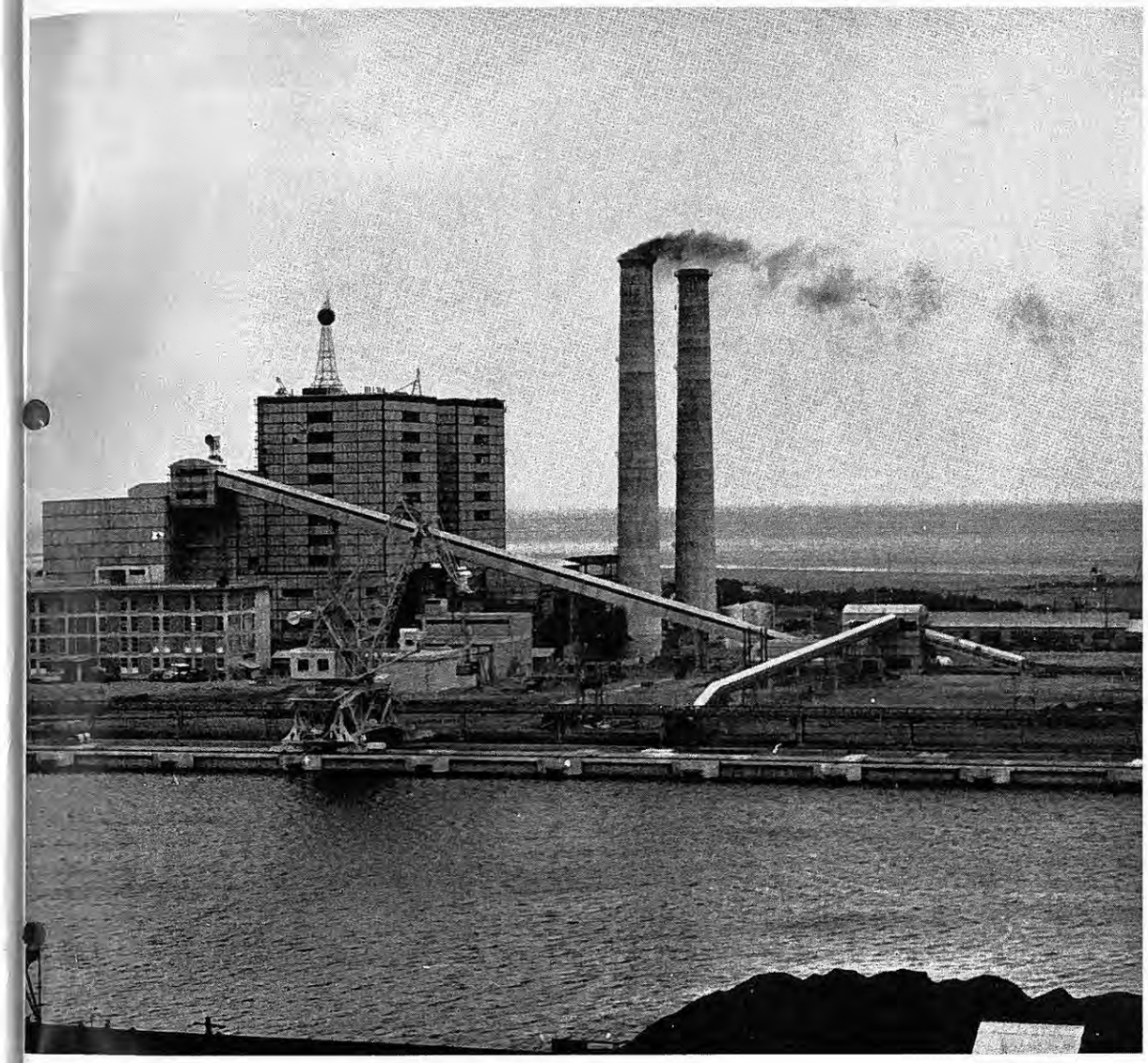
座談会・漁港の営業所を語る ……(6)

発電所だより・桧山発電所 ……(40)
東京通信・湯河原保養所案内 ……(37)

大所川雑感 …… 滝田清次郎…(44)
囲碁漫談 …… 佐藤鉄歩…(45)
信夫山の六供の人々 …… 鈴木一睡…(49)
電話あれこれ …… 古関怜治…(51)
河口港 …… 久保乙秋…(53)
岩手の能楽 …… 斉藤好平…(54)
百日の説法 …… 伊藤憲司…(57)
八郎潟の四季 …… 田中天理郷…(60)
どたんばの基地三沢 …… 増田直治…(63)
雪穴の中から …… 千葉鉄蔵…(64)
こけし物語 …… 武下堅吉…(65)

俳句（遠藤梧逸選）……(72)
短歌（扇畑忠雄選）……(69)
写真（阿部秀陽選）……(73)

表紙（岩木山春色）……工藤鉄児
カット …… 白石素夫



煙をはいた八戸火力煙突

(33.3.13)

当社最大の重量物
165トンの新潟変電所主変圧器運搬



特別貨車にて娩島駅に到着
（3月7日21時）



動き出した大荷物。
ガス化学埋設ヒューム管越えの補強。



おごそかに運搬の平穏無事を祈願。
（日本鋼管側線貨卸場）



雌関　木戸橋にさしかかった主変圧器。

変電所構内設置個所の変台に到着。
（3月25日17時）



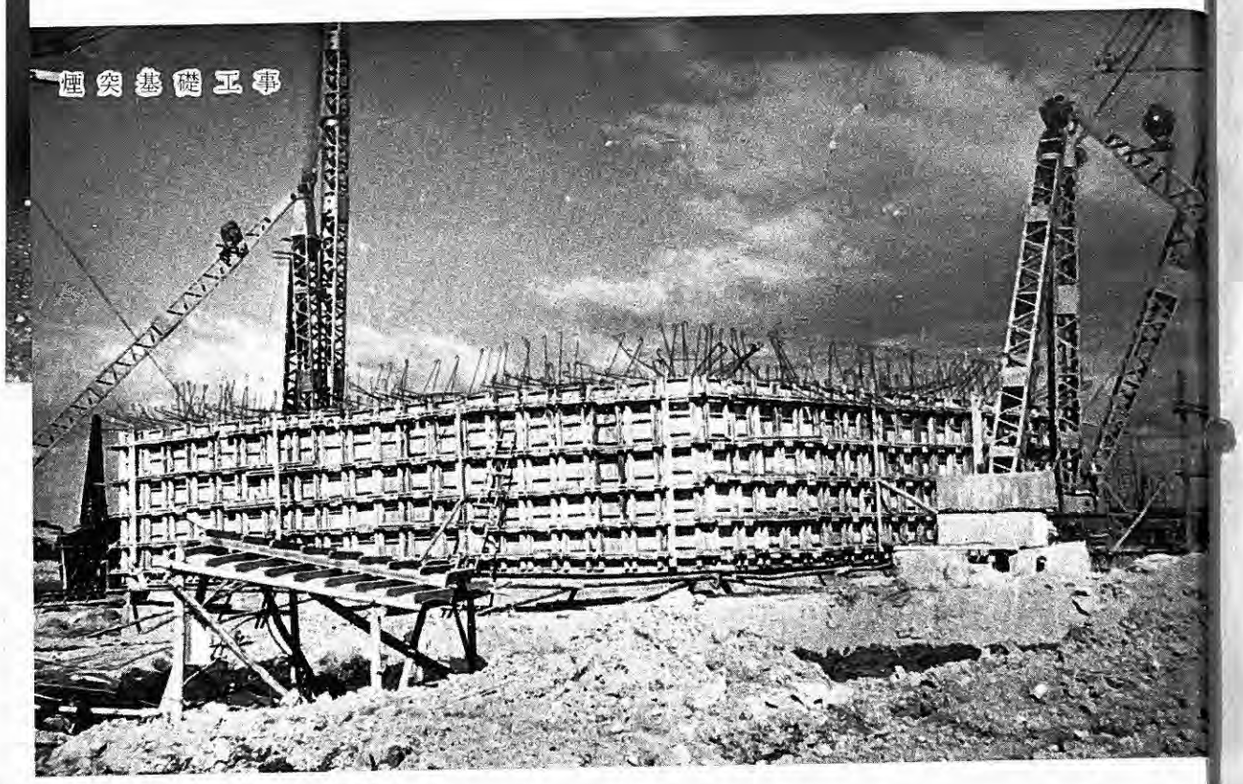
運搬態勢完了。
さあ、いよいよこれから。



19日間の緊張を解いてまず乾杯。



仙台火力発電所工事の進捗ぶり



煙突基礎工事



発電所基礎
山側ウエル7個はサービスビル基礎
手前のケーソンはタービン架台の基礎

東　北　電　力

No. 40,　1958



10分間の電磁気学史

二村忠元

本文は東北放送が行つた高校生及社会人を対象とした「物の生い立ち」というテーマの連続放送の一つとして，私が放送した速記であります。電気事業にたずさわれる方々，特に電気の非専門家の方々が電磁気学の歴史としてこの程度のことは常識として知つて頂きたいことを念願して原稿にしてみました。

3つの区分

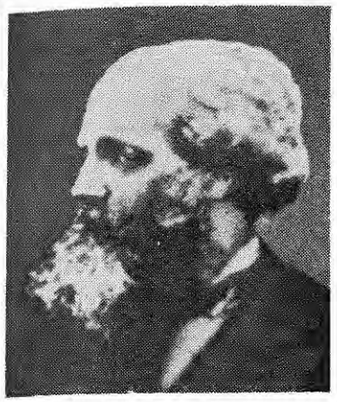
これから電気の生立ちと云う事でしばらくお話をさせて頂きたいと思います。何分御存知のように非常に広範囲な電気の事を僅かな時間にお話しするわけですから雑駁になつてお判りにくい点もあるかとも思いますので，あらかじめ御了解をお願いしたいと思います。私は電気が紀元前のように古い頃から現代の所謂電子時代まで発展致してまいりました歴史を，大きく3つに分けてお話したいと思います。

その第一は紀元前から16世紀まで，次の2番目は17世紀，18世紀，19世紀の3世紀間，3番目は20世紀，こんな具合に分けたいと思います。第一の紀元前から16世紀までの期間においては，電気とか磁気とか云いますものが学問的に取り上げられたわけではなく，たゞ，たとえば物を摩擦すると，その摩擦されたもの或は摩擦したものが，軽いものを引きつける，即ち摩擦電気と云うような事が判つておつたとか，磁石が鉄を引きつけると云う事を何かしらを利用しておつたとか云うそんな時代です。次の17世紀からようやく電気とか磁気とか云うものをはつきり実験器具を使つて実験する事が出来るようになつて，従つて学問としての研究がこゝで始まり，そうして19世紀末になつて電磁気学と云う学問の大系が一応完成したのであります。それから20世紀後は皆さんよく御存知の真空管と云うものが作られ結局電子と云うものがはつきり認識されて，それが各方面に利用されて現在に至つたわけです。こんな具合に大きく3つに分けてお話してみたいと思います。

電気の紀元前

一番最初の紀元前は，電気よりむしろ磁気の方が早く発見されたようでありまして，最初の発見は天然磁石だつたようです。

こんな話が伝つております。それはギリシヤ時代にクレタ島のある羊飼が，山に行きますと，穿いていた靴が山に吸ついてしまつてはなれなかつた，これは多分今考えてみますと靴の底の鉄の鋲が磁鉄鉱か何かに引きつけられたのだろうと思いますが，またそれに追加の話がありまして，そこで持つていた杖で靴を離そうとしたら杖も引きつけられてしまつた，多分その杖が鉄で出来ていたか，杖の先に鉄がついていたとか云うような事だろうと思います。こんな話はまだ納得が行くし，また合理的なのですが，もう少し勇しい話が伝つています。それは或る島があつて，その島の近くに船が行くとその船の釘が皆抜かれてしまつたとか，もし今でもこんな強い磁石の山がありますと，これは非常に利用の道があつて，甚だうらやましい話なんですが，これは物語りと云いますか伝説に類する事であろうと思います。そう云う事で，まず磁石と云う事は認識されておつたのですが，電気の方は少し後のようです。所がこの電気の方は，はつきり文献がありまして，あの有名なギリシヤの7賢人の一人，タレス（Thales，紀元前600年頃）と云う人が，こはくを摩擦すると軽い物質，たとえば木の葉などを引きつけると云うような事を実際に書き物に残して居ります。



ボルタ

こはくがエレクトロン（Electron）と云われるのですから，現在の電子の事をエレクトロンと云つたり，電気のことをエレクトリシテイ（Electricity）と云うような言葉がこゝから発したと思いますと，仲々面白い事だと思います。この程度のことで16世紀迄来たわけです。もつともその間にはたとえば地球が磁石であると云う事が発見されたり，従つて航海をするのに例の磁針を使つて方向を定めるというようなことが実用されたり，また中国の古い昔に指南車と云う車があつて，これが磁石を使つていたとか，また使わなかつたとか云う事が学会で問題になつたと云うようなことも話題として残つています。併し，とにかくまだ本当の電気，磁気学という学問の段階にはこゝでは来ていなかつたわけです。

電磁気学の確立

次に第2の段階として，17世紀に入りまして，ようやく電気・磁気が学問として取り上げられるようになつたのですが，その第一に忘れてならない人にギルバート（William Gilbert 1544～1603）と云う人がおります。この方は1600年，丁度今から350年程前に磁石と云う6巻の書物（第一巻…天然磁石，第2巻…電気，第3巻…天然磁石の指向性，第4巻…偏角，第5巻…伏角，第6巻…コペルニクス説）を書きました。この中には先程申しましたような事も色々書いてあるのですが，こゝで一応ギルバートが行いました実験を皆書き並べてあります。今見てみますとずいぶん妙に思われるようなことも多々有る事はあるのですが，例えば上の第6巻においてギルバートは天体の運動についてコペルニクス説を採用し，天体の運動をすべて磁気的に説明しようなどとしております。しかし，とにかく自分の実験した事を書き残して，それが後世の人の研究の基本になつたと云う事と，それからひいては現在の電磁気学と云う学問の大系を作る為の一番の開祖になつたと云う事では非常に貴重な研究であり，貴重な本であつたと思われます。それから19世紀の終りまでに電気・磁気学が学問の大系として確立するまでに非常に多くの人が，（お聞になると御存知の方がずいぶん居ると思いますが，）色々な研究をして居ります。たとえば，リンゴと引力で有名なニユートン（Issac Newton 1642～1727）なども摩擦電気を作りまして発電機，正確に云いますと起電機を1676年に作つて居ります。この電気を作ると云う事では日本にもありまして，今から200年程前平賀源内，（享保13～安永8年，1728～1779）この方がやはりガラスの筒を作り，それを回転し，これをフランネルでつゝみ摩擦電気を作つています。そうして，それをエレキテルと云う名前をつけ現在まだ残つていると云う事実があります。例の微積分で有名な関孝和（寛永19～宝永5年，1642～1708）と同様にこの平賀源内の名前も日本としては貴重な方だと思います。こうして電気がとにかく作られるようになつたのですが，これらの摩擦電気を作ると云うことは機械的なエネルギーを電気エネルギーに変えると云う事なのですが，一方ほとんど同時代に，即ち1790年にはガルバーニ（Luigi Aloysio Galvani 1737～1798）とかボルタ（Alessandro Volta 1745～1827）等が化学的に，即ち電気化学的に電気を作る事に，成功して居ります。これにも面白いエピソードがあります。ガルバーニ，この方はもともと解剖学者ですが，この方が蛙の解剖をしておつた時，丁度その隣りに奥さんがおられてメスを使つて，ちよつとその筋肉にさわつた所が筋肉がピリピリつと動いた，これにヒントを得てこの現象を研究して電気化学的に電気を作ることに成功したわけです。それをボルタが，あの有名なボルタの電池に作り上げたと，こう云うわけであります。そこでいよいよこれで電気と云うものが作られる，即ち実験的に作ることが出来ると云う段階になつたのです

が，ほとんどこれと時を同じくして，またあの有名なアンペア（Andre Marie Ampere 1775～1836）とかオーム（George Simon Ohm 1789～1854）とか云う人達が今度は電気を流すと云う事に成功しています。電気が流れないと現在の我々の周囲の事もこれは大変な事になると思いますが，その電流と云うものをはつきり作り出して居ります。そうしますと電気を作る事が出来，それから流すことが出来ると，ようやく本格的な実験を行うと云うことが可能になつたわけです。その後非常に多くの人が実験を行つています。例えば有名なフランクリン（Benjamin Franklin 1706～1790）が，雷雨の時に凧を上げるというような恐い実験をして雷が電気であると云う事を実証したのもやはりこの時代です。所で，そう云う時代に今考えてみますと，忘れてならない重要な人があります。それは，19世紀初頭のファラデー（Michael Faraday 1791～1867）で，ファラデーは色々な重要な研究をして居るのですが，その内殊に忘れてならない重要な事は電気と磁気との相関々係，これはもちろん電気現象と云う事と磁気現象と云う事は別な事なのですが，その間に非常に緊密な関係があるということ，例えば私達がラジオ，テレビ等で電波と云つて居りますけれど，これは電気だけの波ではなくて電気の波と磁気の波の両方であつて，従つて正確には電磁波と云うべきものなのです。そう云う意味で両者の相関々係と云うことは非常に重要なわけですが，その重要な両者の結びつきをはつきり実験的に実証したのが，ファラデーであります。この実験をもとにして，この17世紀，18世紀，19紀紀，と云う時代の電磁気理論の大系をすつかりまとめ上げたのがマツクスウエル（James Clerk Maxwel) 1831～1879）です。この方を一般には割合に御存知ない人が多いようですが，学問的に云いますと，マツクスウエルが電磁気学の一応の締めくくりをしたと云う意味で非常に重要な方なのです。1864年と云いますから，今から100年位前ですが，この時代にマツクスウエルは基本電磁方程式を作りました。これは今でも我々電磁気学を習うものが金科玉条の基礎としているものであります。またマツクスウエルはこの方程式を解いて理論的に電波と云うものが存在するはずであると云う重大な予言をして居ります。これは間もなく実証され20年位後になつて，1887年にはヘルツ（Heinrich Rudolph Hertz 1857～1901）が実際に電波と云うものを実験的に作り出しています。所がこのヘルツの場合大変におもしろい逸話があります。これは文献にもありますので確かな事なのですが，ヘルツは電波と云うものは作る事は作つたけれどもこれはものゝ用にはたゝないだろう，また音の周波数と電波の周波数とは余りに違うから通信には使えないだろう，と云つて居ることです。当時にしてみると或いはそう御考えになつたかも知れないのですが，所がそれから10年も経つかたゝないうちに1897年にはもうマルコニー（Guglielmo Marconi 1874～1937）が実際に，その電波を使つて通信に成功して居ります。そして現在のような電波時代というものゝ出発がこゝで与えられたわけなのです。この17世紀，18世紀，19世紀，と云う3世紀を経て，こゝで電磁気学の理論大系が確立しまた，我々が今利用して居る電気磁気と云う事の基礎がすつかり出来たと云つてもいゝと思います。



アンペア

電子の時代

所でこん度は第三の時代に入るのですが，これは先世紀の終りから今世紀にかけて電子と云うものが確認され，そうして電子管，真空管というものがこゝで作られ，数々の研究発見が行われて現在のような電子時代と云われる時代になつたのであります。これから後の現在までの経過は種々の書物にもあり，よく御承知のことゝ思いますので，少し話を変えて一足跳びに結



ファラデー

論的な話に移りましょう。

その前にちよつと話がそれるんですが一つ申し上げておきたい事があります。それは今こゝで皆さんがこのラジオでこの放送をお聞きになつて居る，その時に，多分私も別な所で別な室でこのラジオを聞いて居るはずなんです。ちよつと妙な事なんですが，実はこれは昨日放送局に行つて録音したわけなんで，その録音が今出ているのでありますから，当然こう云う事がありうるのであります。これは記録をした，録音して記録をした，私達は一般にこう云う事を記憶させたと云う言葉をつかいます。例えば記憶と云う事は，ちよつとこゝであとに結びつく例を上げますと，たとえば2×3＋10と云うような計算をすると致します，そうしますと先ず頭の中で2と3を掛けて6になると云う事を一応記憶してそれに10をたすと16と云う答が出て参ります。私達はこう云うことを頭の中でやつているわけですがこれを電子にやらせる，と云つても電子を応用した機械にやらせるわけですが，そうしますと，こゝで電子計算器と云う物が出来ます。その電子計算器を更に進歩させますと，所謂人工頭脳，或は電子頭脳，と云うようなものが出来て来ます。例えばこう云う物をつかいますと，今評判になつて居ります人工衛星と云うもの，ああ云うものを計算しますのには，相当な努力を，例えば手で，紙で，或は手廻しの計算器などで計算したのでは，これはとても大変，何年となくかゝる事と思うのですが電子計算器をつかいますと1分，2分，或は数十秒と云うような短い時間で出来てしまいます。こう云う時代に迄なつたわけです。所で，こう云う具合に進歩をとげるまでには先に申しました紀元前から数えますと，2,000年或はそれ以上もかゝつたわけなんですが，その間にこの科学の究明と云う事を探偵小説になぞらえたとしますと，名探偵が何人かあらわれてまいりまして，その名探偵が謎を各分野，分野においてどんどんと，解いて現在になつたわけです。所が現在のような進歩した電子時代，原子時代においてもなお，まだ名探偵があらわれて，問題を解く余地が十二分にある，なおこれからまだ名探偵が要望され，新しい分野が開けてくるのではないか，否，開けてくることを期待すると申し上げてこの短い話を終りたいと思います。



マックスウエル

追記　1．20世紀に入つてから新しい発展の期間，或は最近の電子応用，原子力，核融合，大陽熱などについては数多くの書物がありますので人名をも含めてこゝでは全部省略しました。

追記　2．こゝにあげた名探偵以外にあぐべき方々は数多くあります，たとえばエジソン等もその最たるものでありましょう。しかし電磁気学ということを目標としましたので，実用的には非常に貴重な名探偵でも応用的な色彩の濃い方はあげませんでした。

追記　3．文中に出て来る名探偵の方達の小伝記を下にまとめておきました。

1．Thales（紀元前600年頃〔希〕）
ギリシヤ七賢人の一人，イオニヤ学派の祖，土地測量学者，天文学者，宇宙の原質は水であり，万物は水に帰すと唱え，自然哲学の初をなす。

2．William Gilbert（1544～1603〔英〕）
数学者，医学者，物理学者，化学者，王立医科大学教授，侍医頭，著書：磁石。

3．Isaac Newton（1642～1727〔英〕）

（22頁に続く）



座談会
漁港の営業所を語る

出席者

宮城支店次長	吉田十吾郎	
塩釜所長	玉城剛	
〃 営業課長	石川亨治	
〃 庶務課長	岡野誠	
石巻所長	久保喜男	
〃 営業課長	今川忠一	
〃 庶務課長	鈴木正	
気仙沼所長	菱川哲治	
〃 営業課	千葉貞雄	
〃 工務課	佐藤正雄	
司会	本店田中総務部長	

司会　本日は社誌に掲載するため，座談会を開きに当地に参つた訳であります。31年度に岩手支店と福島支店において，営業所長さん方の座談会を開きましたが，今回また開くとすれば，3回目になる訳であります。今日お集り願つた3営業所は，世界三大漁場の一つ三陸沖を控えた日本有数の漁港にあり，また管内には離島があつて，そこに電気を供給しておるという特色をもつておりますが，今回はこれらの特色に重点を置いて，皆さんからお話しを伺えば，前2回の座談会とは，趣きの変つたものになるのではないかと思つておる次第であります。社誌に掲載しても，社員の皆さんに読んで戴けないと意味がありませんので，なるべく面白い内容を盛りたいと思つておりますから，どうぞ，いろんな問題についてお話し願いたいと思います。



田中部長

ではまず順序として管内概況について，簡単に御説明願います。

「気仙沼」はアイヌ語か

菱川　では，私の方から申しあげます。気仙沼市は，気仙沼町と鹿折（シカオリ），松岩（マツイワ）の2ケ村が合併し，昭和28年6月，市制をしき，さらに，昭和30年7月階上（ハシガミ），新月（ニイヅキ），大島（オオシマ）の3ケ村を合併しまして，現在人口約5万6千人，宮城県の最北端の市であります。このケセンヌマというのは，アイヌ語で「ケセマモイ」の転じたものと言われており，「ケセ」は北とか終りの意味，「マモイ」は島あるいは港湾の意味なそうですが，アイヌの勢力の未端という意味だということです。



菱川氏

次に需要構成を申上ますと，電灯電力契約口数が，15,808口，年間KWHが，29,313,902K WH，料金が，174,677,115円となつています。電灯口数は定額，従量，大口合せて14,671口，電力は業務用電力4口，208 KW，小口電力で50KW未満が，1,031口，50KW以上が40口，大口電力は鉱山関係たつた1口で，1,150 KW，農事用通年が39口であります。

気仙沼港の在籍漁船は，遠洋漁船が62隻，沿岸漁船が176隻，その他に，当地に寄港する漁船は，三陸沿岸はもとより，全国から集つており，延べ2万隻位の船が出入しております。その水揚高は約2,100万貫，金額にして，32億円位となつており，こゝの魚市場は東洋一と称せられ，昭和30年，工費約1億4千万円をかけて完成されております。



新魚市場を中心とする一帯に，都市計画事業が実施せられ，こゝには約20万坪の工場適地があり，将来この地帯は大きな発展をするものと予想されております。

石巻はパルプと魚で持つ

司会　では次に石巻さん，一つ。

久保　私の方の供給区域は，石巻市，桃生郡（6町1ケ村）牡鹿郡（3町1ケ村）の1市2郡ということになりますが，この供給区域のうち約1/3は，いわゆる交通，通信の不便な半島ならびに山嶽地帯というように，余り自慢にならないような特徴をもつております。特に海岸線は非常に屈曲が多いために，なかなか補修その他の面でも苦労が多い訳であります。海峡横断の架空配電線が女川町の出島（イヅシマ），亘長約300 m それから牡鹿町の金華山，これが810 m，こういう海峡横断線路があり，また海底ケーブル線として，田代島，これが3.6km，網地島（アヂシマ）2.9km，いわゆる離島に海底ケーブルで送電するというような特色を持つております。



久保氏

管内の総人口は約23万あり，うち石巻市は64,935，また管内の散宿所数は18，変電所6，保線所1，同駐在所3，その他無人中継所が1ケ所あります。

それから需用の状況でありますが，年間の販売電力量約9千万KWH，うち，電灯は定額，従量合せ，口数で38,706，灯数で210,777，KWHで月1,413,385，料金で13,729,660円，その他大口電灯が346，臨時が77，合せまして，電灯の口数が39,129，KWHで1,582,195口，料金15,802,323円，電力の方では，小口が4,791，契約KWにして18,114，KWHで月1,241,449，料金で10,295,004円，大口は御承知の通り，パルプ1ケ所だけでありまして，臨時電力，農事用等を含め4,908口，KWで33,555，KWHにして6,068,042，料金で27,552,653円，と，以上のような需用構成でありまして，大体月の調定額4千5百万円，ピークの11月で4千9百万円程度であります。それから需用の特色でありますが，大体パルプがアワーにしまして，石巻営業所の約50%～60%，料金にして35%というのが特色とでも言えましょう。それで全体からみますと，電灯，小口電力，大口電力が，それぞれ1/3ずつを占めておるような

状態でありまして，一つの大口が全体において相当な地位を占めておるということがお判りになられることゝ思います。

それから石巻も，気仙沼さんと同じように，漁港でありますが，水揚量は年間約1,700万貫，金額に致しまして，六体16億円と，気仙沼さんに比較致しますとずつと少ない訳ですが，何といゝましても，石巻港の河口港というか，そのように港の条件が悪いというようなことから，水揚高なども塩釜，気仙沼に比べてずつと下廻つておるということが言えると思います。以上簡単に申しあげました。

塩釜は海の玄関

司会　では次に塩釜さん。

玉城　塩釜営業所管内は，宮城郡，黒川郡と桃生郡の一部を含め，1市9ケ町村でございまして，管内に変電所5，散宿所4，これは昨年散宿所の統廃合を行い，10ケ所のものを4ケ所にまとめた訳でございます。管内の総面積は572km²ございますが，そのうち山嶽地帯が65%，平坦地は僅かに35%，しかなく，山嶽地帯の方は非常に農事用の電力が普及しておる。これは仙台という大消費地を控えておるために，農業が非常に発達して来たものだと思われます。塩釜市の人口は5万3千人おり，そのうち水産に従事する方々が1万8千人約40%の人が水産あるいは加工業で生活しておられる訳です。

次に需用構成を申しあげますと，電灯の口数は全部で27,711，灯数は147,902灯KWで1,546KW，金額で1,168万4千円（1ケ月）ということになつており，電力は大口，小口，臨時，全部を入れまして，2,293口数，KWで18,968KW，使用電力量が288万KWH，金額にして1,456万8千円（1ケ月）ございます。

塩釜市は，昭和16年に市制が施行されたものでありますが，塩釜という地名は，相当旧くからあつたようで，古今集にもしみちのくは，いづくはあれど塩釜の浦こぐ船の綱でかなしもゝとありますから，相当旧くからあつたと思われますし，また塩釜という名称の出来た由来は，塩釜の神社の末社に，お釜神社というのがございますが，こゝは昔，塩土老翁（シオツチオヂ）の神という神様が，鉄の釜で藻塩をたいた，という，その釜が4つ程今も残つておりまして，どんな旱天の時でも，渇れたことがない。それで塩釜という名前になつたのではないか，という言い伝えもございます。


吉田次長

また塩釜市は仙台市と僅か14kmしか離れておりませんで，仙台，塩釜間は東北本線，仙石線，仙塩道路を利用する訳でありますが，仙石線は六体15分おき位に電車が発車しておりますし，バス，自動車の便も非常に良く，仙台市の海の玄関でもあり，また東北地方の海の玄関でもあると言われております。さらに塩釜市には第2管区海上保安本部，東北海運局，税関支所，塩釜海上保安部とございますから，東北6県の海の管轄官庁が塩釜市に集結しておる訳でありまして，また自衛隊の第6管区本部，昔の師団司令部みたいなものが，多賀城にございますから，陸の統轄本部もある訳でございます。

それからまた，皆さん御承知の通り，代ケ崎には新鋭仙台火力が目下盛んに建設されており，それにテンポを合せて，志村化工は2万5千坪，日立，鹿島組，日本酸素というような工場が土地の買収を終つております。

塩釜市の港の特色は，今迄は商港であり漁港であつた為に，船をつける岸壁が非常に狭く短かいし，また岸壁の近くの海は非常に浅いので，昭和34年度までに1万屯の岸壁を作り，40年度までに，さらに1万屯の岸壁をつくるというような計画があり，今の営業所の反対側に魚市場をもつていて，そこに漁船の船


玉城氏

着場もつくるというような計画もあるそうであります。また漁場としては，世界3大漁場の一つとして数えられておる金華山沖を控えておる為に，年間2万7千隻の船が出入りし水揚高約2,703万貫金額は約41億円ということであります。

註，塩釜魚市場事務所調査の全国主要魚市場の昨年一ケ年間（1月～12月）の水揚高及び金額

下関	約	6,021万貫	約	112億円
長崎	〃	5,048	〃	37
八戸	〃	3,464	〃	33
塩釜	〃	2,744	〃	41
焼津	〃	2,665	〃	69
気仙沼	〃	2,158	〃	32
青森	約	1,830	〃	29
三浦	〃	1,816	〃	51
石巻		1,699	〃	16
銚子		1,621	〃	22

物価高の気仙沼

司会　それでは3営業所の需用の特色は漁業にあると思いますので，その点についてひとつお話願いたいと思います。

菱川　水産関連工業の出荷額は気仙沼市全工業の80%，2.7億円になつており，付近町村にも特記すべき産業施設の少い当地方としては，直接と間接とを含めてその経済の85%程度が漁業関係に依存するといつても過言ではありません。殊に8月から11月のサンマの季節にもなりますと，漁船は無慮500艘，湾内に溢れるような状態でございます。飲食店はもとより日用品屋から鉄工場に至るまで，これの応接に多忙を極めておるような状態でございます。よく東北の上海と云われますが，これは物が高いので上海と云われておるわけで，余り物価が高いので，サラリーマンが悲鳴をあげているという状況であります。こういえ状態は，最も敏感に気仙沼変電所のメーターに表われまして，最大負荷は5,400KWですが，漁閑期になると2,800KW位に下がるという状況になつております。



司会　水産物の処理加工に使う電気についてひとつ……。

菱川　ノリの赤外線乾燥というのをやつたことがありますが，コスト高で実用にならない。コオナゴの赤外線乾燥はやゝ良好という結果が出ております。それからサンマの電気搾油ですが，これは1単位5～8KW位のものが，5～12台取付けてございます。30年は10軒余りございましたが，昨年は約4軒位に減つております。原因はだいたい魚価高と電気料金の値上りにもよりますか，人手を要するために大量生産には向かない。

電気で焼くチクワ

佐藤　竹輪を木炭で焼くと非常に高いものにつくというので，電熱で焼いたら，どうかという話が昨年の11月頃出ておつた。例もないしちよつとちゆうちよしたのですが，北海道の稚内でやつているところがあるということを聞いたので，市内の業者が直接行つて見て来たのですが，向うでも余り芳しくなく，中止しておつた。それでも，それを参考として実験的に100KWで実施してみたのすが，割合に良い結果が出ました。品質も落ちないし，コストも相当安くついた。それで目下実験の段階，今後相当伸びてゆくのではないかと思います。その100KWの実験設備をしたところも，直ちに50KW追加し


佐藤氏

て，工場全部を電化したいということを申しております。総務部長さんも御覧になつたと思いますが，施設もあの通り半分しかできておりませんが，従来1日の木炭代に8千円かゝつたものが，電気料5千円で足りる。しかも能率が1割上がつたということを云つております。

司会　できばえはどうですか。

佐藤　いゝそうです。品質は落ちないそうです。しかし，ふくらましするところだけは，炭でないとできないそうです。それで25mの炉のうち2m位木炭を残し，その前と後は電化しましたが，従来より品質落ちないと云つております。

司会　気仙沼では1軒だけですか。

佐藤　そうです。

千葉　これは東北では初めてゞはないかと思います。チクワ加工は，原料難のためにほとんど北海道に原料をあおいでいる。そういう関係で，チクワ加工業はだいたい5，6軒位で，大きくやつている。昔は沢山あつたのですが，今は5，6軒位に減つたという状況です。これがよければあとの業者も，おそらく電熱焼になるのではないかと見ているわけです。



千　葉　氏

佐藤　北海道と同じように50KWでやつてみたら失敗しました。熱が平均に出ませんし，能率が悪かつたのです。それで私たちの会社の方で援助して，こゝをこうしたら，あゝしたらということで，合作で作り上げたのが，100KWです。これで初めて成功しました。

製氷とカンヅメ

司会　冷凍製氷の方は……。

菱川　冷凍製氷としまして，37社の40工場あり，契約電力4,500KWで，営業所全体の約30%，能力は日量で冷凍が405.屯，製氷が345屯です。従つて当所の最大需用者は冷凍製氷業者であり，年間約3,921千KWH32,508千円を使用しております。

司会　罐詰工場は…。

菱川　罐詰工場は5工場で，年間約9億5千万円を生産しておりますが，契約電力は比較的少い状態にございます。

久保　私の方は，気仙沼よりは小規模ですが，製氷冷凍が主体になつております。造船業は最近活潑になつてきており，個人を含めまして，7工場，使用電力は契約電力の928KWあるようです。いわゆる小型船の技術では，今，日本一だという自信を持つているようです。最近北海道方面からの発注が非常に多いようですが，今後益々発展して行くのではないかと思います。

今川　数が非常にこまかいので摑みにくいのですが，水産漁業関係は約300軒ありますが，1年間にだいたい1,300万から1,500万KWH使つていると推定しております。これは全体の販売電力量からすると，17～18%ですが，大口のパルプを除いて計算すれば，32%になります。まず，高圧の小口電力49件のうち，31件が製氷冷凍です，大きい会社としては，日本水産，日魯漁業，日本冷蔵，大洋漁業などがあります。造船鉄工は低圧が多いですが，高圧は7件で，どんどん契約を増やして行つております。ちよつと変つたものでは，鶏の飼料を作る会社が昨年あたりからできまして，魚の捨てるようなところを原料にしてやつております。

私どもの方の小口電力の使用状況を見ますと，漁業に直結している関係で，季節的変化が大きい。丁度3月頃までは非常に負荷が少うございまして，4月あたりから，カツオ漁業が始まつて段々大きくなり，9月から11月にかけてピークになります。丁度農電の脱穀調整が3,000件ございますが，これとピークが重つて最高を示しております。そし



今　川　氏

て，12月にはサンマの最盛期が終る，船は北洋漁業に出かけて行くということで落ちて参ります。これを石巻変電所に取つてみますと，この変電所は2千KVA 2台をVにして，2バンク使つているのですが，昨年の11月頃には，その容量を10%以上オーバーして，大分変電所の人をヒヤヒヤさせました。幸い今1万2千KVAに増やす工事をやつておるので安心してますが……。

玉城　塩釜は仙台，東京という大都市に非常に近いために，入つてくる舟が非常に多うございまして，年間あらゆる漁船が入つて参ります。サンマの水揚量は1,200万貫，金額にして10億の金に上りまして，日本有数と云いますか，東北一であると云つております。サンマはあらゆるものに加工され，罐詰に年間180万貫，肥料に260万貫，冷凍に140万貫，鮮魚として東京方面に出荷されるのが，530万貫ございます。深海漁業の水産物として一番余計に入つて参りますのが，サンマでございます。

次にマグロ，カツオ，タラ，サメ，カレイ，イカタコ，あらゆるものが，四季を問わず入つて参ります。それから浅海漁業としては，ノリ，カキの養殖があり特にカキについては，アメリカに年間7万～8万箱輸出され，外貨獲得の一翼をになつております。

工場誘致のはなし

司会　では次に工場誘致の話が，いろいろあると思いますが，この問題について塩釜さんの方から。

玉城　先程申しあげましたが，仙台火力の建設に伴い，現に工場誘致の話があるのが，志村加工，こゝは2万5千坪位の土地を買収しております。それから多賀城に日立，鹿島組，日本酸素も土地の買収が終り，また東北開発3法成立後，いちはやく生れたのが，東北造船でございまして，将来は2千KWを使いたいという申出もございました。今のところその位です。

司会　そうすると，新しくふえる予定の需用電力量はどの位になりますか。

玉城　志村加工が1万5千，日立が1万5千，鹿島は大体1千KW位だということです。また営業所の対岸に約20万坪を埋立てゝ，一大工業地帯を設けたいというので，これも，昭和34年に第1期，昭和40年に第2期というふうに建設をやつていきたいということを言つております。それで少くとも5～6万KWは増えるでしょう。

司会　では次に石巻さん。

久保　石巻は地理的な条件もある訳ですが，水については北上川を擁しておりますので心配ない訳ですが，遺憾ながら，石巻港は御承知のように，河口港になつておつて，普通の港湾と少し状況が違つており，年々土砂が溜つて毎年浚渫をやつているのですが，本当にいたちごつこで，溜つては出し，溜つては出しということで，将来ともにこの港が良くなるという見透しはない。勿論全面的な港湾改築という大きな問題が採上げられゝば別ですが……，以前倉敷レーヨンを誘致をしたいということで，現地調査をやつたことがあるそうですが，それ以後一向発展しておらない。それから御承知のように土地が非常に狭いところでして，前後すぐに山になつている。現在市の方では，パルプの先の方の塩釜地区を埋立てるということで，東北綜合開発の線で，埋立をやるという決議をしたそうですが，実際問題として，予算その他の面から，具体化するのはまず難しいのぢやないか，というようなことで，市の理想としては，港湾を大改築する，それから塩釜地区の埋立というような計画を持つているようですが，まだ具体的にはなつておらない。

以上のような点から，今のような諸条件が満たされて始めて誘致出来るので，塩釜地区のように，現在土地のあるところに誘致するのと，一寸事情が違いますので，余り将来ともに期待出来ない，希望的観測の域を出ないというのが現状だと思います。

司会　それでは，次に気仙沼さん。

千葉　気仙沼も，只今の石巻さんのお話と同様に土地のない所でありまして，前方は海，後方は山という状態でありまして，大体いま埋立したところが，3

万から5万坪になつておりますが，非常に値段が高いもんですから，なかなか工場誘致ということは困難だと思います。鉄道は御承知の通り，一の関からすべて支線になつて入つておりますが，石巻線に接続になりますので，三陸鉄道が完成致しますと，非常に便利になるんぢやないかと思います。

なお，岸壁も現在のところ，せいぜい入れましても1千ton位のところであります。工業用水も，現在の拡張が終りますと，現在日量で9千2百tonのものが1万5千ton位になるようになつております。それで目下東北開発会社に，内燃機製作所設置のため，融資を申請しておりまして，これが松岩駅の傍に，大体4,500tonの電気炉1,200Kの熔鉱炉を目下計画しておりますが，大体現在はそんなところであとはございません。

サンマ漁の変遷

司会　最近新聞等でみますと，サンマの南への下り方が，昔みたいになくなつたとか，それからサケやマスも南の方へ余り来なくなつたとか，それから，ロシヤとのサケ，マスの漁獲協定についての，いろいろな悲観的な情報が伝えられておりますが，これらについて各漁港では，いろいろ取沙汰されておると思いますが，そのようなことについてお話し願えればと思います。

久保　サンマについては，金華山沖に集結するのが，昨年あたりは早くなつたそうですね。北から南への下り方が早くなつたそうです。そして漁区が非常に近いために，今迄は三陸沖まで出向いた船が，金華山沖で漁獲出来るということで，日帰り出荷というか，朝出て夕方には魚を獲つて帰つて来るというように，非常にスピードアツプされたそうです。

千葉　私等，小学生の頃は，サンマが気仙沼に揚つたという記憶はない。その代りイワシが非常にとれた訳です。勿論昔と今では交通の便も違いますが，昔は非常にイワシがとれました。それで獲れたものは，加工する能力もないし，出荷する能力もないという事でこれを肥料にしておつた。それからこの5～6年来，サンマが太平洋沿岸にも非常に物すごい勢いで来るようになりましたが，まあ，当分こういうような，状態が続くんぢやないかと思いますね。

司会　私は，ニシンとサンマと間違いましたが南下が少くなつたというのはニシンですね。ニシンは昔は津軽の辺りで獲れたが，最近は獲れなくなり，ニシンの本場であつた江差，あの辺でも近頃はニシンの漁場はサビれてしまつたということですね。段々漁場は北へ移つていく，というように言われておりますね。

船は出てゆく南へ北へ

鈴木　3.4年前までは，千島のエトロフ島あたりまで出て，3昼夜半位で行つて，1日操業すれば5千貫位獲れたそうですが，今では駄目でカムチヤツカの近くまで行つて獲つて来るそうです。そうすると往路1週間かゝり，1日操業して，復路1週間かゝる，そうすると半月位かゝつて終うんですね。



鈴　木　氏

久保　1月から4月までの漁閑期の対策については，漁連あたりでも非常に苦慮しておるそうです。まあ，石巻の漁連でも，さつき申しあげたような，東支那海のサバ漁，これは今迄やつたことがないそうです。いわゆる李ラインの近くまでのして行く，鹿児島に基地を持つてゞすね。然し，危険の度合が多いということを聞いておりますが。それで漁閑期における操業ということは，船主にとつては重要なことで，サイパンの方へ出向いたり，アメリカの基地のあるビキニの方まで出漁して居ます。私のうちの隣の人は無線士ですが，ビキニに行つて来た，なんて帰つて来ましたが，1月から4月の漁閑期における操業ということについては，相当漁連あたりでも苦心しておりますね。

司会　マスなんかは，漁獲すればこの港へもつて来る訳ですか。

今川　大きい会社が船団を組んで行きますから。

千葉　母船でみんな買上げるんですね。

石川　だから持つてくるのは，一部代償として塩蔵にしたものを貰つてくる位なもので，サケ，マス自体がこゝに直接揚るということではない。



石　川　氏

司会　母船で，独航船から買取つて，罐詰にして終う訳ですね。

久保　北海道の支社あたりで処理して終うんでしよう。

司会　漁業の将来についてはどうでしよう。

玉城　どうしても近海漁業から遠洋漁業に転換していくんぢやないか。

今川　船が大型化しておりますね。

佐藤　私も漁業組合に行つて聞いたんですが，近海はこゝ数年来，殆んど伸びがない。そこで北洋漁業の方を，現在日ソ漁業条約で，いろいろやつておりますが，少くも昨年，一昨年より悪くなることはないだろう，従つて私の方は地元から30隻程独航船が行きますが，これは近く増えて行く見透しをたてゝも良いぢやないか。あと南方関係も出ておりますが，450ton位の船が新造されて赤道越えて印度洋に行く，これの方の漁獲については，余り心配しておらない。寧ろ漁区が拡張されて喜んでおりますが，問題は水揚地をどこにするかということですね。現在は東京近郊に揚げて，向うから物資を積んで行くということで，地元の船でありながら，他を潤しておる。だから工場施設等を完備して，魚をこの辺に揚げるようにもつていかなければならない，ということで，東北開発会社の融資をうけて，冷凍工場をつくりたい，ということになつたんです。現在はこれがないので，春になれば値段が上ると知りながら持ちきれず，安い値段で魚を売却して終うというのが実情です。

玉城　北洋に行つて来た人が言うんですが，一番残念なのは，昔ならば駆逐艦がついて行つて，ソビエイトが出て来ようが何が出ようが，ドンドン獲つたもんだが，今度はそういかん，残念だと訴えておりましたが，……。

それから私，港町へ来て始めての風景ですが，暮になると，北洋漁業に行つて来られた方の自宅に，「サケ売ります」という貼札が出るんですね。魚屋さんぢやないし，どういう訳で「サケ売ります」ということになるのかと思つたら，これは北洋に行つて来た人が，賞与の肩代りに，サケを何十匹か貰う訳ですね。これを売つておる訳です。

軍艦マーチに送られて

司会　遠洋漁業に行く船が出帆する時は，なかなか景気よく出掛けるそうですが，その情景などを一つ……。

久保　営業所の裏から出て行きますよ。出航する時には軍艦マーチや海の流行歌などでやかましくて会議も出来ない位です。家族の人も見送りに来て，テープを切つて雪の中を出て行く。うちの近所がみんな船の関係の人ばかりですから，非常に珍らしく，いろんなことを聞くんですが，やはり家族の方の心配は大変なもんなそうです。それで午後の6時10分から，漁業無線放送がありますが，これで，例えば第8北竜丸は，目下宮古港に避難しておる，というような事を放送しておる。これによつて家族の人は安心しておる訳ですね。私等，今迄の我々の生活とまるつきり違うもんですから，一々驚いておりますよ。

玉城　でも，さすが船乗りの奥さんだな，と思いましたが，涙一つ流さない。それで出航で一番困るのは，別れテープが風で飛ばされて，電線にひゝかゝる（笑）そうかといつて，テープをやめて下さいとも言えいし，悩みがございますね。

司会　軍艦マーチでハヤすのは，気仙沼も同じですか。

佐藤　同じです。出船の風景は何べんみても良いですね。あれを見送つていると，自分自身の身内を見送

つているような気持になる。

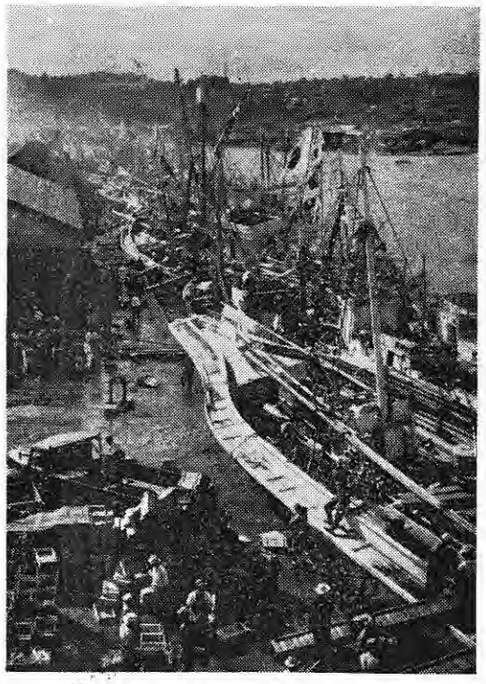
今川　出航3時間前位から，ガンガンやつておりますよ。

千葉　南方より北洋の方が盛んですね。船団を組んで1回に出ますから，凄いですよ。みんな満艦飾で，赤線区域の人達も皆んな見送りに来ている。

船乗りの暮し

佐藤　昨年でしたか，日ソ協定の締結前に出航したことがありましたが，あの時は悲壮でしたね。だまされるかもしれんし，出航しなければ生活出来ない……。

久保　日和山に新しい家が，ドンドン出来ておりますが，これはみんな船乗りの家なんですね。大した景気です。それで私「大した景気ですね」つて冗談半分に言つてみたんですが，あの人達は「我々の働きは40才が限度だ」つて言うんですね。「40才すぎれば船に乗れない。それ迄の間に何とか家を建てなければならない，だから無理して建てゝおるので，女房にも内職さしておるんだ。それにひきかえあんた方は，50なんぼまで働いて，退職金を貰うんだから，のん気なもんだ」というようなことを言つている。私の隣の家は，奥さんが床屋をやつておるが，24才で立派な家を建てゝいる。自分は漁に出て，妻君には床屋をやらしておる。このようだから，石巻には床屋が多い，70軒といつてますね。



司会　塩釜も気仙沼も同じですか。

今川　飲食店もありますね。

鈴木　網地島，田代島もそうですが，血気の男は殆んど出かけておる。留守居をしているのは女の人だけです。それでそこに行くと，女で消防団を組織している。

今川　出初式にも出て来ますね。（笑）

鈴木　田に出ておるのも，殆んど女の人ですよ。

司会　漁期には殆どと港は船で一杯になるでしようが主にどの辺の船籍の船でしようか。

久保　私の方は福島県の船が多いようです。四倉，小名浜……。それで，毎年サンマのコンクールがあるんですね，1隻のその期間の最高漁獲高についてやるんですが，毎年一番は福島のようですね。

司会　四国とか九州，あの辺からも来るでしよう。

玉城　私の方では，北海道300艘，青森270艘，岩手260艘，福島1,830艘，茨木600艘，千葉200艘，静岡240艘，九州，四国も相当くるようです。

船乗りは気が荒い

司会　ほとんど全国的に入つてくるわけですね。船乗りは気が荒いから町では，よく切つた張つたのがあるんじやないでしようか。

久保　多いようですね。

菱川　サンマの時期が一番喧嘩が多い。

久保　渡波，女川は喧嘩の有名なところですが，サンマの最盛期になると喧嘩傷害沙汰というと，まず福島人なんです。私，福島だからどうもガラの悪いので，すつかり評判になつて……(笑)。

司会　実は，昨日気仙沼へ行く汽車の中で，魚のカツギ屋さんだと思うのですが，5.6人集つて酒を飲み始めたんです。そうしたら1人の男が杯を割つたんですね。酒をおごつた男が，俺の酒どこがまずいのか，と怒つて大立廻りを始めたんです，汽車の中で…。成程気が荒いと思つてびつくりしました。



石川　喧嘩になると必ず傷害沙汰になる。

久保　10時過ぎには怪しいところは歩けませんですよ。

玉城　4月以降どうなるんでしようか，

菱川　気仙沼の公民館と社会福祉協会が，船乗りに直接面接してアレが無くなつたらどうかとアンケートやつておりましたが，無くなると困るが，政府で決めたのだからしようがないだろう，一杯飲み屋でも設けて貰わないと俺たち娯楽がなくなる。或いはスポーツでも何か娯楽施設を考えてほしいと云つてましたね。

司会　舟乗りはパチンコなど大好きでしよう。

久保　相当はやつていますが，パチンコよりはまず飲む方ですね。飲む方とアレだけですね。

石川　そういつた人を相手にする屋台が相当あるんですが，これの電灯の取締りがまた一苦労です。

久保　臨時灯ですね。

臨時灯のなやみ

司会　それでは，臨時灯の悩みについて。

玉城　これには各所で頭を悩ましてますね。

久保　漁季の臨時灯に盗用が多いということで，一度見てみようと思つて，船にのつかつてみたのです。会社に対する申込みを工事業者が仲介してやり，業者の方でつなぐわけです。舟には電気の知識ある人間が必ず乗つているはずですが，線のとり方が，甚だしいのは変圧器からぢかに取つており，舟の中を見ますと配電盤につないでいる。申込み20W2灯なんですが，中に入つてみると，配電盤があるので手がつけられない。そしていつの間にか出帆してしまう。申込むのは，まだ良い方で，申込まないまゝに他の船に2重にとつてみたり，まあ処置なしということになつたわけです。ずつと見て行つたのですがほとんど盗用ならざるはなしといつた状態です。うちの方の供給方式自体も問題です。うちの専用の塔でもあつて，それに計器をくつつけてとればいゝじやないかと思うのですが…。これも1ケ所2ケ所だけでは処置なしです。岸壁ずつと並んでいるんですから。また検査に1人位で行くと，海に抛りこまれるという心配もある。盗用がわかつていながら取締まれないというのが実情です。うちの社が家の並びのところにあるから，あそこから岸壁まで横断して線を引くわけですが，さつき，うちの営業課長が云つたように，上げ潮のときは充分の高さが取つてあるのですが，だんだん減水してくると，オートバイが引つかゝるようなことになるわけです。市に申入れて供給設備を作らせようと話したのですが，どうも旨く行かないし，警察に持込んでもどうにもならんということで，悩みの種です。

玉城　私の方も，桜井市長さんに，岸壁にずつとコンクリートの塔でも作つて下さい，と云つたのですが，赤字財政でできない，電力さんも儲かるんだから，やつてくれたらいゝでしよう，と云われる。一つ50万もかゝるので臨時灯にそんなに金はかけられません。市の発展のためにもひとつ市でお願いしたい，人1人殺したらどうなりますかと云つたのですが，そいつはわかるけれども，無い袖は振られません，という市の話でした。

久保　木柱だつたらへし折れてしまう。

玉城　何百屯の船が引潮で引張るのですから，コンクリート柱か，鉄の太い柱とかいうものでないと保たないでしよう。

千葉　気仙沼でも，これの防止方法にいろいろ苦労してます。一つの方法として，電気は一切船宿で申し込ませる形をとつている。名前は○○丸，金の支払は○○屋という形でやらせている。それから通し番号をつけて，電力会社の焼判を押して，引込線の見えるところにぶら下げておく。それによつて申込んだのか無断使用が判別できるようにしております。

久保　そういう気仙沼の話も聞きましたが，どうも焼判札を下げた位では，手に負えるものではない。

菱川　ハダシで電柱に昇つてつなぐのがいる。また船が出帆するのに線をそのまゝにして行つてしまうので道路にダラツと下がつている。私も警察署長に何とかできないかと話したのですが，どうも難しいようです。

離島への供給

司会　それでは次に3営業所の，最も特徴である，離島のことに入りますが，どんな島があるか，それからひとつ……。

玉城　私の方は浦戸諸島で，4つの島からなつております。これは塩釜市になつておりまして，こゝに電気を送つております。

司会　ケーブルでですか。

玉城　架空です。塩釜から13km のところにあり，総面積3.86平方kmです。

司会　スパンはどの位ですか。

玉城　長いところで400 m 位です。あとは長くても，200m位です。

久保　私のところは島が4つありまして，出島，これが架空で300 m，金華山が御承知のように去年の暮れできました架空で810 mです。海底ケーブルで行つているのが，田代島3,600m と網地島2,900m です。

菱川　私の方は大島が1島だけでこゝに架空300 m で行つてます。

司会　需用家の数はどの位ですか。

菱川　大島は約774 戸。

玉城　浦戸は365 戸。

久保　網地島が約500 戸，田代島が約185 戸，出島が約230 戸，金華山は神社とホテルだけです。

司会　保守上のいろいろな問題とか，集金についても，他とは事情が違うでしようし，そんな点についてひとつ……。

玉城　不点事故がありますと，学校へ子供さんが通うので，学校から電話がございます。それで，舟を出して下さつて迎えに来て下さる。

司会　散宿所のない島は不便ですね。

玉城　散宿所のない島は舟を出して頂いたり，巡航船を利用したりしますが，大概船賃は払わないで乗せて頂くようです。盆と暮にはなにがしかのお礼をしていますが，それで最近モータボートを改造して，浦戸散宿所，(寒風沢島に在り)に置いてあります。進水式のときうちの次長も乗つて頂きましたが，雨が降つており，全身水だらけになつて，もうお前のところの船には2度と乗らないとお叱りを受けて，目下改造中でございます。(笑)

菱川　私の方は散宿所を置いています。島一つですから，保守上非常に良く，不点の申込も1日1件か2件位で，不点件数が少い実情です。

玉城　そういう離れ島ですから，電柱500本のうち，クレ柱が300 本位になつており，この前の突風，雪害の場合でも，事故は非常に軽少で済んでおります。

久保　私のところでは，4つの島のうち，田代島と網地島に委託電工を置いています。

司会　島ですから，塩風のため早く設備がいたむでしよう。

玉城　各所とも同じ悩みでして，碍子が特に塩害を被います。トランスや電線も……。

離島の集金

司会　集金はどうですか。

玉城　100 %でございます。

司会　島ですから，人情こまやか，朴訥ということもあるんでしようね。皆委託ですか。

玉城　手の足りないところを委託でやることになつています。

久保　うちの方について申しますと，田代島網地島には，嘱託電工がおります。これは元社員電工で，網地島の方は月4千円，田代島は月3千円の手当を出し，島の方でも同額負担している。この田代と網地については，保守上も集金上もほとんど問題ない。たゞ出島が問題ですね。こゝはまことに不便なところで，大浦という散宿所から，道のりにして，2粁半歩いて，そこから舟に乗つて行くという場所です。巡航船を利用したり，向うの方で小舟を出してくれたりして，大浦から行つているんです。

司会　島では，動力も使つていますか。

久保　私の方は遠洋漁業なので使つていません。

玉城　私の方には，動力需用家は18軒ですか，その位あります。

菱川　私の方は32軒ございます。

久保　それは農業関係でですか。

石川　いや，揚水です。それからノリの乾燥用の動力と，カキをむく時に水が沢山要るんですね。これに動力ポンプを入れたいということで……。

司会　金華山への架線をヘリコプターでやつたそうですね。あれは東北電力で始めて……。

久保　そうです。然し，あれは請負業者がやつた仕事で，うちのヘリコプターで何故やらなかつたということで，お叱りをうけたそうですね。然し，あの状況では，うちのヘリコプターではやれないそうですね。海の上は，うちのでは出来んそうです。日ペリでもその道のベテランが来ておるんですから…。


岡　野　氏

今川　孤島に関連しての話ですが，委託集金人を募集する際，非常に困る。なりてがない。なにしろ需用家数は大したことはないのに，非常に散在しているので日数はかゝるし，その上浜の人ですから一かく千金を狙う人々で集金のような仕事をやる人はない。

一人にやめられると，後になりてがなくて。

司会　女では……。

今川　女では無理ですね。何しろそういう場所ですから，船で朝一番で行つて晩帰るようなとこですので……。

久保　相当強引な集金をやつておりますからね。

石川　何しろ，99.9%いくらという集金率ですからね。

機構改正是非

司会　では話題を次に進めまして，昨年，営業所の需用家サービス100 %を目指し，機構改正をやつた訳ですが，これについての御感想なり御注文を……。

久保　極端な意見になるかもしれませんが，今度の機構改正の狙いは何であつたか，ということを考えます時，勿論営業所のサービス強化という意味で，営業所から発電所を切離したということが，キーポイントになつておりますが，実際問題としては，先程お話したように，事務委託の面でも，寧ろ前よりも，質の問題は別として，量の方は増えておるとも減つておらない。予算措置も一切営業所でやつても，発変電所で一応は予算差引書位は持たなければならないし，それから気持の上では一応発変電所は我々の手を離れたんだと言いましても，さつき塩釜さんも言われましたように，なかなかそうとも言い切れないような，現地の状況です……。だから機構改正の目的がどの辺にあつたか判らんというような，また改正によつて生じた余力，営業所にどの位のプラスアルファーが現われたかというと，……何にも営業所に表われておらない訳ですね。ですからお叱りをうけるかも知れんが，今日の機構改正はどこに狙いがあり，実効が上つておるのかということを考えると，何ら変化なし，というような(笑)……極論を申しあげますとね……。あるいは私だけの

考えかもしれませんが，まあ，これが私の方の営業所では，当らずとも遠からず，というようなところと思いますが。

司会　機構改正の狙いは，当時の会社新聞に村田社長室長が詳しく書いておられる。これを今一度よく読むんですね。そして，狙いと逆行するようなことは，ドシドシ上部へつきあげて貰い度い。改正の効果とゆうものは，一朝一夕に目に見えるようにあがるものではないですから，そう短気なことを云わないで……。

玉城　六いにデスカツシヨンして，支店，本店の命でも，決裁を貰つたものでなけりや，やることはないこういうお話が機構改正の時にありましたが，そうかといつて，一々現地でデスカツシヨンも出来ない点があるんですね。直接担当者から担当者に電話なりの連絡が来て「明日の朝まで調べてくれ」というようなのもありますしね。

司会　それは会社の事務処理の方法としては邪道な訳です。尤も，緊急の場合は止むを得ないと思いますが，その場合それぞれ直ちに上司に報告すべきです。

玉城　然し，やつぱり流れて来るのがあるんです。そういうのは，部長さんからみれば「ドンドン断われば良いぢやないか」とおつしやるかもしれませんが，現場としてはどうしても，……殊に私などは，頼まれゝば嫌と言えない性分なもんですから（笑）

司会　支店から営業所に指令指示を出すときは，支店の責任者から営業所の責任者へということに決まつておる訳ですからね。

玉城　殊に私の方の支店長も次長もそういう点についてはやかましい方なんですが。寧ろ機構改正をよく理解しておるのは，営業所以下ぢやないか，と思う点があります。支店，本店の方は，今度の狙いの営業所は営業オンリーだということが，余り良くお判りぢやないんでないでしようか。

司会　いやどうも，耳が痛くなりました。（笑）

久保　私は根本的に，今度の機構改正による，発変電所関係の事務委託の仕事自体を嫌だとか，どうとか申しあげる訳ではありませんが，たゞ現在の支店の発変電課の人員だけで，機構改正になつたからといつて，発変電所の一切の仕事は支店の直轄なんだ，と言いましても，無理があるんぢやないか，発変電所の数だつて相当な数になりますから，営業所を通じて今迄仕事をやつておつたのが，急に直轄になつたと言いましても，人の問題，設備の状況，社宅の果まですつかり目を通すということは，支店の発変電課だつて容易なことではないと思う。そこのところを新しい見方をしないで，その儘の姿で，機構改正になつたんだ，と言つても，支店自体でお困りになるだろうと思う。こゝに盲点があるんぢやないかと思います。だから発変電課長以下，大変な苦労だと思つてるんです。とても目が届かない。届く筈がないんです。だからいきおい営業所でみざるを得ない。というのが実情だと思うんですね。

司会　然し，実行してみて，まずい点があれば，また改めたらいゝと思います。

いずれにしろ，御互いによく反省し，今回の改正の精神をもりたてるということが最も大事なことゝ思います。

今川　正式なものとしても，何か機構改正以来，いわゆる資料の提出というか，そういうものが非常に多くなつたような感じがしますね。支店としても実情を把握したい，そういう意味の資料だと思いますが，

司会　それは機構改正になつてから増えたんですか。

今川　何かそんな感じが……。

久保　営業所に権限が移譲になつても，何か実態を知りたい。勢い資料をとりたいということになるんですね。何か営業所に任せきれない，という気分があるんぢやないですか，先方工事の実態なんかは，営業所に任して貰いたいと思う。

司会　一時的にそんな現象が起つたのは止むを得なかつたかも知れませんが，報告書など必要最少限度にとゝめるべきですね。

久保　営業部門なんか，確かにそうですね。

玉城　然も電話で来るでしよう。

鈴木　庶務関係も増えておりますね。例えば来年度の予算編成上の資料を出すような場合にも，今迄は変電費関係は変電費一本でまとめて出した。ところが今度は，各変電所毎につくらなければならない。従つて配分も，変電所毎に細分されて来ますから，予算の編成資料等も，大小を問わず，こまごま出してやる。そんなところに手数が多くなつて来ましたね。

久保　また，今迄は変電なら変電一本で来たので，各変電所間における過不足を按配しながら処理出来たが，今度はそれが細切れになつておるから，1人勤務の所であろうが，3人勤務の所であろうが，配分になりますから，配分になつて終えば各変電所間における操作が出来難くなつて来る。こんな所に無駄があるんぢやないかと思いますね。

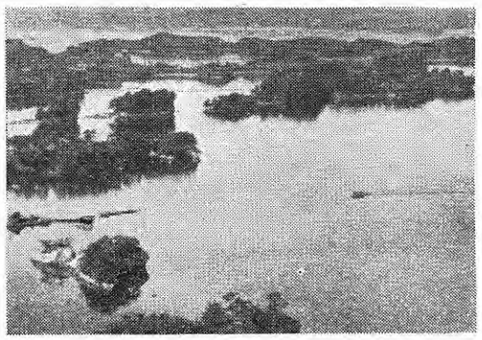
玉城　一番可哀相なのは，板ばさみになつている発変電所の主任さんだと思いますね。それで私としては，従来通り面倒もみましよう，支店との交渉には私も参りましよう，というようにして仲良くやつておりますが…機構改正にマツチしないぢやないか，というお叱りを受けるかもしれませんが，実情は，同じ管内にいて，そうも出来ませんからね。

久保　500K未満の契約も営業所長権限で出来るようになりましたが，それも一応支店と相談して，支店と協議の上で決めるということであつたが，そんな馬鹿な話はない。

司会　本支店とも，だいぶ手傷を負いました。こうなれば，もう，ついでですから，洗ざらい何でも云つて下さい。（笑）

久保　あんまり云うとね……（笑）

司会　それでは，このへんで御かんべん願います。苦情はあまり書かんでくれとのことでしたが，良薬として，ありがたく頂戴して参りますから。（笑）



松島は笑うが如く

司会　では次に話題をかえまして，名所旧蹟，自慢話など，何でも結構ですから一つ。

玉城　私の方で言えば，まず何と言つても日本三景の一つである松島でしようね。年間150万人の観光客が来る。

石川　これは塩釜を経由する人だけですから，松島に直接入る人を入れたら，相当になるのでしようね。

玉城　松島の八百八島，芭蕉が，「あゝ松島や，松島や」とうたわれたのも宜なるかなで，何時見ても良い眺だと思いますね。

司会　八百八島というが，実際はどの位あるんですか。

塩釜様縁起

玉城　240～250位のものでしようね。白髪三千丈式に……それから塩釜神社はお産の神様と言われておりますが，何故お産の神様と言われておるのかと思つて，塩釜神社の弥宜さんにお聞きしてみたら，はつきりした言伝えはありませんが，昔一貫堂快真という婦人科の有名な先生がおられて，サフラン湯をつくられたそうです。これが婦人病の妙薬で，安産の妙薬というか，非常に売れたそうなんですね。それで塩釜神社におられた一貫堂先生のサフランの御蔭げで塩釜様が安産の神様になつたんぢやないのか，という一つの説と，塩釜神社（シオツチウヂ）は塩土老翁神という神様が，御本尊でございますが，この神様は，昔神武征伐に来られた時に，陣頭に立たれて塩釜にお出で

になつた神様で，塩釜近郊の商業，工業，いろんな方面に力をつくされて，近郊の人を助けられた。その後安産のことにも非常に力を注いで下さつた。この神様に，いろんなお話を承わると，必ず安産するんだということで，何時の間にか塩釜神社が安産の神様だということになつたんぢやないかという説があるとのことでした。

それから塩釜神社には5百種類の，いろいろな植物がございまして，天然の公園みたいになつておりますが，一番有名なのは，塩釜桜でございまして，花の中に2枚の葉がある。これが天然記念物に指定されております。今から800余年前に，堀河天皇の御製にうたわれているというから，相当ふるくから塩釜桜というものがあつたんだ，ということがわかります。

それから塩釜神社にお宮が二つあります。一つは塩釜神社の本殿と，もう一つは志波彦神社でございまして，これは産業開発と申しますが，昔から代々の天皇が非常に信仰されて，昔は岩切の近くにあつたそうでございますけれども，明治天皇の御世，明治7年に塩釜神社のところに御遷座申しあげたものでございます。塩釜神社には伊達綱村公の奉納された頼の国光作の太刀とか，いろんな太刀が，いずれも重要文化財として奉納されております。百人一首にうたわれておりますように「ちぎりきなかたみに袖をしぼりつゝ，すえの松山，なみこさじとは」のし「すえの松山」というのは多賀城の近くにあり，バスのガイドさんなども「右手にみえますのは，すえの松山でございます」と言いますが，たゞ太い松の木一本あるだけであり，私の方の回線にも「すえの松山線」という線もあります。それから名所旧蹟とは別ですが，塩釜の港まつり，花まつりがあり，大変賑やかに行われますが，会社のP.R映画にも出ておりますから，皆さんどうぞお出で願いたい(笑)



港 ま つ り

司会　なかなかの郷土史家兼観光宣伝屋ですね。(笑)

行くよ仙台石の巻

司会　次に石巻さんひとつ。

久保　日和山は現在桜とつゝじがあるという程度で，大した公園でもないと思いますが，たゞ昔こゝに葛西三郎清重のお城があり，4百年ほど統治したという歴史があるようであります。この人は，頼朝が藤原泰衡を征服したとき，奉行に命じられたそうですが，今は別に取立てゝ史蹟というものもないようです。一口で言えば，石巻港を一望に見える桜とつゝじの名所ということじやないかと思います。

金華山は御承知のとおりで，最近だいぶ鹿のことで問題になつているようです。営林署から云わせれば，国有林の存亡にかゝわる地元から云えば観光のため，日本でたゞひとつの島にいる鹿として保存すべきである，ということで意見が対立しているようですが，だいたい5百頭位残して，そのほかは捉えるという方針のようです。それから万石浦というのがあります。約8百町歩の広さの内海になつていて，種ガキ，ノリなどやつてます。埋立計画も一時あつたそうですが，渡波にとつては唯一の資源なもんですから，埋立の話も立消えになつている。松島も同じかと思いますが，こゝのノリが東京の方に廻つて，浅草ノリになつて逆戻りしている，浅草ノリの本場はこつちなんだということが云われております。風光明媚で，なかなか良いところでして，こゝを埋立すれば百万石取れるだろうということで，万石浦と名づけたそうです。それから貞山堀というのがあつて今から，330年前，寛永4年川村孫兵衛と



石 巻 川 開 き

いう人が作つたということですが，今日でも相当の土木工事だろうと思うのですが，330年も前に，あゝした工事ができたもんだと思つて，見るたびに感心しています。この堀を利用して，石巻に米を集めこゝから3丈5反の帆をまきあげて，千石舟で京，大阪の方へ米を運んだわけです。だいたい石巻港というのは米の集散から始つた港らしいです。北上川と阿武隈川をつなぎ，江戸と大阪との経済交易を目的としたのだそうですが，随分思い切つた計画をやつたもんだと思つて感心しています。

田代島と網地島は，伊達藩時代の犯罪人の流刑地だつたそうです。特に江島という島がありますが，これは海猫が天然記念物になつてますが，こゝは特に離れているので重罪人を流刑した。今いる人は子孫なんでしようが，そういうと非常に怒られるそうで，侍の末流というと大変いゝんだそうです。いかにも犯罪人でもおいたという島に見えます。月の浦というのが荻浜にありますが，これは支倉六右エ門常長がこゝからイタリーに向けて出帆したという名蹟になつており，史蹟保存会などで大分問題にして，もう少し事情を調べて天然記念物に指定しようという，というお話もあるやに聞いております。だいたいうちの方はそんなところですね。

司会　私も，石巻から牡鹿半島の先端鮎川港まで，陸路行つたことがありますが，渡波，万石浦，月の浦，その他影色のいゝのにはおどろきました。

玉城　田代島には棕櫚の木が群生しています。

司会　暖流の関係で種が流れてきて生えたんですか。

玉城　そうだと思います。とにかく珍らしい景色です。

各営業所の玄関なんかに植えてあるのは田代島のやつです。なかなかくれませんが，電力だというとくれます。

司会　石巻の川開きは綺麗だそうですね。

久保　これはさつき申し上げた貞山堀を作つた川村孫兵エの追善供養から始まつたのだそうです。それがこゝの名物になつて7月末にやるのですが，ぜひひとつお出かけ下さい。

司会　それでは気仙沼さん

菱川　気仙沼は最近，週間読売の日本十景の投票で，第8位に入りまして，一躍観光の名を拡めたわけです。特に気仙沼のシンボルとして東洋一を誇る魚市場がございます。こゝの視察者は年間10万人位あるそうです。港祭りが毎年8月15日に催され，カツオ釣りの実景やツキンボーというメカジキを取る実況を見せるわけです。

クジラのはなし

司会　次に鮎川港を持つている石巻さんに鯨の話をひとつお願いしましよう。

久保　捕鯨船に乗込んだ人から聞いたのですが，夫婦鯨の場合は必らず，メスから先にぶつ，そうすると，オスは絶対周りを廻つて逃げないそうですから，必らず2頭とれる。オス鯨を先に射つとメス鯨はいち早く屯走する。鯨も女の方が薄情だという証拠になるというお話でした。子鯨は国際法上とつていけないことになつているそうですが，親鯨をとるために子を射つそうです。射つても捕獲はしないそうですが，ふた親がつきそつている場合，子鯨から絶対離れないそうです。鯨も親子の情愛は同じという話でした。それから鮎川の鯨博物館に参りますと，入口に怪しげなものが立つている。真黒くて7

尺位ありますか，円錐形になつていて底部が直径1尺2寸先がとんがらかつている。私も知つてはおつたのですが，あそこの女子の案内人に，あれは何だろう，と聞くと，あれは鯨の男子の性器ですとはつきり云う。女子の性器は中に入つてますからどうぞ御覧下さいと云う。何かそう云われゝばそうかなと思えるみたいなものです。

アルコール漬になつた女子のやつもあるのですが，これも肉の塊みたいなもので，たゞ両わきに乳房が一つづつくつついているのがちよつと変つている。あれが鯨だからよかつたけれど，人間だつたら大変だろうと笑うんですが……(笑)。

司会 子鯨におちゝを飲ますとき，母鯨が水の中におちゝを出すとそこら一面白く濁る，それを水ごと飲むのだと教わつたことがありますが。

久保 それは，でたらめです。先程も申しましたが雌鯨の性器の両側に乳房が一つづゝあります。乳首はいつもは，10cm 位体内に引こんで居るのですが，子鯨がすいつくと，これが20cm 位とび出す。これを吸うわけです。

司会 うまい，仕掛けのものですね。しかし，ほんとですか。(笑)

久保 ほんとですとも。ちようど，ヨーグルトぐらいの濃さで，味もよく似ておるそうです。捕鯨船の人に聴いたのですから，うそぢやありません。

司会 もつと突こんで訊きたいこともありますが……(笑)。どうも今日は，いゝ勉強をしました。

それから，この辺でとれる鯨は……。

久保 マツコウ，ミンク，ナガス，イワシ皆とれるんですね。

久保 刺身にして喰うと，イワシ鯨が一番旨いと云いますね。しかし，我々は臭いという先入観があるから，とても喰う気がしない。

司会 捕鯨船は鮎川港を根拠地としているのですか。

玉城 鮎川と女川両港を根拠地にしてます。6月の末になると函館の方に行きます。

玉城 今は鮎川より女川の方が多いらしい。

司会 それではこの辺で終りにしたいと思います。長時間，いろいろお聞かせ頂きましてまことに有難うございました。どうも御苦労さまでした。

(江川泰速記)

(5頁よりつづく)

数学者，物理学者，天文学者，当時一般に認められていた地動説を万有引力の発見と数学的方法によつて力学大系を集大成，ニュートンリングの発見，光の粒子説唱道，微積分法発見，硝子の摩擦の研究，著書：プリンキピア。

4. 関孝和，(1642～1708，〔日〕)
数学者，てんざん術（代数学）円理術(微積分学)，伏題（行列式）の日本における創設者，

5. Benjamin Franklin (1706～1790〔米〕)
科学者，出版業，文筆家，政治家，組合図書舘の設立，避雷針の発明，独立宣言起草，駐仏大使，米仏同盟パリ条約締結，ペンシルバニヤ大学設立，著書：自叙伝。

6. 平賀源内 (1728～1779〔日〕)
博物学者，滑稽本，浄瑠璃作家，讃岐の人，長崎・江戸に遊学，物産学の研究，エレキテルの研究，石綿温度計の作製，獄死。

7. Luigi Aloysio Galvani (1737～1798〔伊〕)
解剖学者，動物電気の研究，電気的作用による蛙の筋肉の収縮の実験をボロニヤ学士院紀要に発表。

8. Alessandro Volta (1745～1827〔伊〕)
物理学者，塩溶液に銀亜鉛を入れ最初の電池作製，電気盆の発見，験電器の改良，ナポレオンに水の電気分解の実験を見せ，金メダル及び十字章を与えらる。

9. Andre Marie Ampere (1775～1836〔仏〕)
物理学者，物質の磁気的性質を電気的に説明，アンペア法則発見，電流の単位に使用，主著：電磁気論文集。

10. George Simom Ohm (1789～1854〔独〕)
物理学者，金属導体の電気伝導の研究，1827オームの法則発見，音響学の研究，電気抵抗の実用単位。

11. Michael Faraday (1791～1867〔英〕)
物理学者，化学者，塩素の液化，ベンゼンの発見，続いて電磁誘導現象を発見，電気分解の法則，光の電磁波説の先駆的考察など電磁気学・化学の発展に偉大な貢献，現在電気容量の単位に farad 使用，著書：電気の実験的研究，

12. James Clerk Maxwell (1831～1879〔英〕)
物理学者，電磁場に関する基礎方程式を誘導，電磁波の存在を理論的に予言，近代電気磁気学の基礎及び光の電磁説の基礎確立，気体分子の速度分布を導き気体論を発展，著書：電気の磁気学。

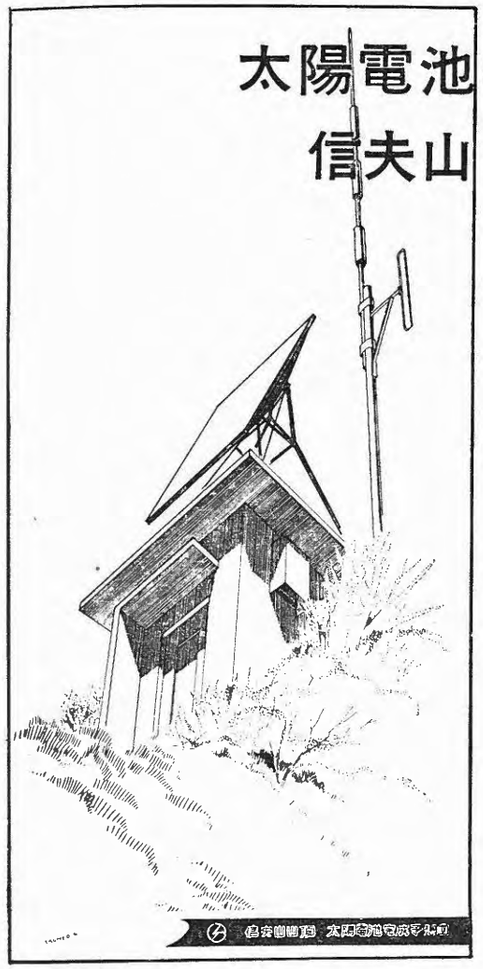
13. Heinrich Rudolph Hertz(1857～1894〔独〕)
物理学者，ヘルムホルツの弟子，電気波の発見，Maxwell の電気力学を整理，ヘルツベクトルを提唱，力学の体系を整理，ヘルツの力学を作る。

14. Guglielmo Marconi (1874～1937〔伊〕)
1897 電磁波を利用して無線通信機を発明，1902 鉱石検波器を発明，超短波の研究に従事，1902ノーベル賞。

(筆者は東北大学教授・理博)

太陽電池による 信夫山ロボット無線局

給 電 部 通 信 課



(水力建設部土木建設課設計)

1. はしがき

人類のエネルギー消費量は人口の増加と生活程度の向上と共に加速度的に上昇している。この供給源として原子力資源が急速に開発されて居るが，之等も含めて従来の手段によるエネルギー資源は数百年足らずして枯渇するであろうと云われて居る。従つて他に新しいエネルギー源を求めて，地熱や風力と共に太陽エネルギー利用の研究が絶えず続けられて来ておる。

太陽エネルギーの利用については，熱機関発電，熱電対発電，太陽光発電等夫々の部門毎に具体化されつつあるが，その一つとして太陽電池が国産化される段階となつた。

当社としては，比較的天候に恵まれない東北地方が如何なる面に利用来るか，又之を実際に使用する場合にどんな現象が起るのか，フイールドテストする必要があるので，取り敢えずロボツト無線局の電源として実用化試験を実施する事になつた。

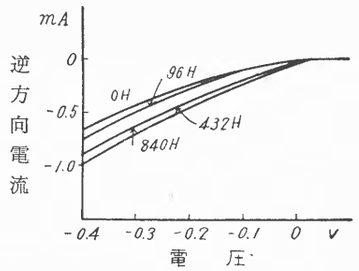
2. 太陽電池

頭上に，さんさんと輝く太陽は，1平方米当り，62,000KWのエネルギーを放出しており，これが，地球上に達する迄に吸収，反射等により，その大部分を失うとはいえ，尚1平方米当り，約1KWの輻射エネルギーを供給しておる。即ち，地球が1日に受ける太陽エネルギーは，$8,325\times10^{18}$ BTUで，全世界の天然ガスと，石油の総量，8.2×10^{18}BTU に相当する。10日間では，石炭，石油等全資源に相当し，220日間では，原子力資源を含むありとあらゆる地下エネルギー資源に相当する。

このエネルギーを能率良く電気エネルギーに変換しようという試みは，昔から行われ，種々の手段が用いられて来たが，現在迄，充分効果的なものは生まれずにきた。しかしベル電話研究所で，1954年に生まれた，ベル太陽電池（Bell Solar Battery）は，頭初，効率6％，現在では11%にも達して居り，実に，ガソリンエンジンの効率に匹敵する画期的な太陽電池が誕生した訳である。

2の1 太陽電池

太陽電池の効率は，理論的には，21.7%にも達し得るもので，ベル電話研究所のシリコン太陽電池（効率6％）発表は，世界の注目をさらつた，太陽電池といつても，これには蓄電作用はなく，光を電気に変えるエネルギー変換器で，Solar Energy Converter と



第９図　逆方向電流特性

から太陽電池を動作せしめる時は，その冷却にも注意が必要である。

ハ　湿　度　劣　化

半導体は劣化が最も注意すべき事項であるが太陽電池をケースに入れずに 100 %湿度中で 30～60° の間を 1 時間の周期でサイクリング試験を行つた結果，第 9 図に示す如く静特性の逆方向電流が増加しているが，この程度の変化では出力特性に殆んど変化が認められず太陽電池は湿度劣化に対して相当強固なものと思われる。

2 の 2　当社の太陽電池実用化試験

a. 計　画　概　要

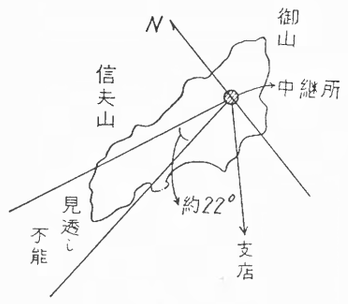
通話の方法は

福島固定局よりパトロールカーを呼ぶ場合中継所受信機は常時待材状態であるから， R_2 は福島固定よりの信号を受けて T_3 を起動し通話を確保する。同様にしてパトロールカーより福島固定局を呼ぶ場合 R_3 はパトロールカーより信号を受け T_2 を起動して通話を確保する。更にこの系統は，山岳遮蔽のない場合，パトロールカー相互，パトロールカー対福島固定の通話も可能である。

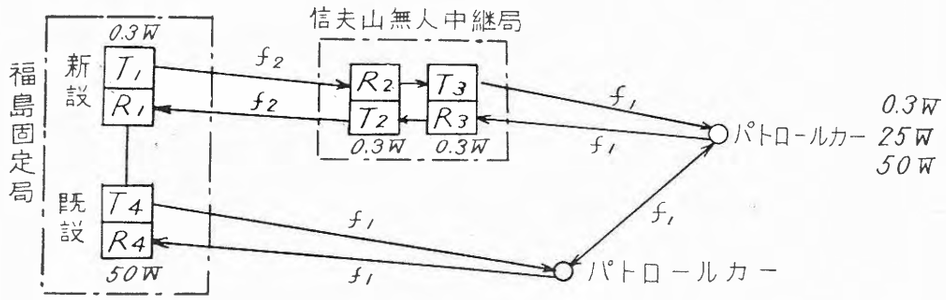
(2)　中継所について

i　信　夫　山

信夫山は福島市の北東に位置し市内市外を一望に収



第11図　信夫山の地形



第10図　無　線　通　信　系　統

(1)　無　線　中　継　系　統

福島市は市内に信夫山，羽黒山の高峰がある為営業所パトロールの VHF 利用に関し，VHF 伝播の遮蔽となり大きな障害となつている。それ故この山頂に無線中継所を設けて通信の安定化を行う訳であるが，今回はこの中継所の電源に太陽電池を使用した。この無線中継システムを下図に示す。

即ちトランジスター使用の 0.3 W，150 MC 無線機を福島固定局に 1 台，信夫山中継局に 2 台新設する。

め得る本中継所はこの山でも一段と高い 268m の山頂に設備する予定でこの場合北西方向約 22° の視角は見透し不能となるが，この地域は福島支店より直接通話可能である事，及び家屋がなく田園地帯である事から問題とならない。

ii　局　　舎

本局舎の完成予想図をカツトに示した。局舎は無人中継局となる為，火災，盗難，風雨に対して安全なる様，鉄筋コンクリートとし，ドアパツキング，換気口等に留意した。

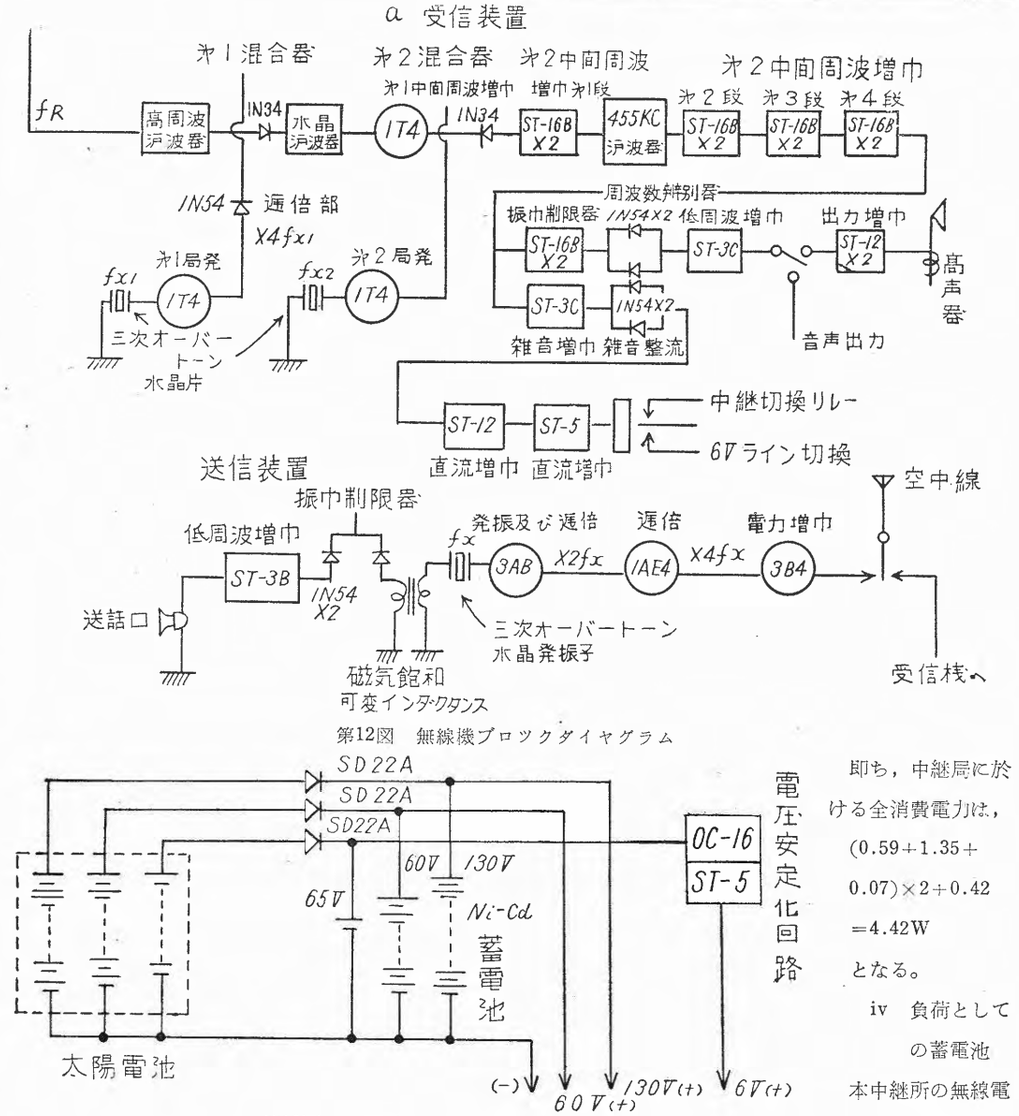
iii　無　線　機

本装置に使用する無線機は，現在保線用，営業用に用いられている，0.5W，150MC，携帯無線機と全く同じ仕様であり，唯太陽電池の高価性，利用法より考えて出来るだけ消費電力を少くしなければならない。又無人で運転する為高度の安定性を要する事等である。

これらの事を考慮して無線機をトランジスター化し送受信機の稼動率を1/10とした。且つ最近開発されつゝあるツエナーダイオードを用いた無線機独自の電圧安定化装置を付してある。本機のブロツクダイヤグラム，並びに消費電力を第12図，第１表に示す。

第１表

電　圧	電　流	電力	duty cycle 1/10 を考えて
送信部 6V	220mA		0.132W
130V	35mA		0.455W
受信部 6V	75mA	0.45W	
60V	15mA	0.9W	
中継リレー 6V	110mA		0.07W
電圧安定装置 6V			0.42W



第12図　無線機ブロツクダイヤグラム

第13図　電　源　系　統　図

即ち，中継局に於ける全消費電力は，

$(0.59+1.35+0.07)\times 2+0.42=4.42W$

となる。

iv　負荷としての蓄電池

本中継所の無線電源系統を第13図に示

す，

この施設に用いる蓄電池は，昼間太陽電池により充電し，夜間その他の充電不能時に備えるためのものである。今回はこの蓄電池に，低温特性，低率放電，自己放電，等に特長を有する Ni-Cd 電池を使用した。この蓄電池の容量は1ケ月を1サイクルとして放電時間，ゲルマニウムダイオードロス，自己放電損失等を考慮して第2表の様に決定した。

第2表

	使用電圧	使用電流	放電時間	必要容量
送信部	6 V	220mA	72 H	AH 20.9098
送信部	13 V	35mA	72 H	AH 3.3264
受信部	6 V	75mA	720 H	AH 71.2800
受信部	60 V	15mA	720 H	AH 14.2560
中継リレー	6 V	110mA	72 H	AH 9.5040

V 太陽電池

本太陽電池装置の容量は約50Wと決定した。即ち，太陽電池1箇の出力を10mWとして，5,000 箇の太陽電池が必要となる。本施設では太陽電池の劣化を考慮し，これを防ぐために各素電池をシリコンオイル中に浸し，2.1×2.4m の白色アクリル樹脂に取付け更に透明アクリル樹脂で覆つてある。この半板を局舎屋上に設置，真南に向け，約54° の仰角（調整範囲は±7°）をもたせてある。本装置の容量50 Wは次の様にして決定した。

$$4.42W \times 8 \times 1.01 \times 1.05 \times 1.31 \fallingdotseq 50W$$

8……太陽電池係数　4（1日の放電時間割合）×2（1ケ月の放電時間割合）

1.01…ダイオードロス

1.05…自己放電係数

1.31…安全率

即ち1日の充電可能時間は，午前9時より午後3時迄の6時間，1ケ月の充電可能日数を15日としたわけである。又本装置には，過充電逆流防止用のゲルマニウムダイオードが用いられている。

3. 現在迄の調査事項

この施設にて最も問題となる事は福島地方の霙霜等の影響も含めた日射量即ち日射時間と，Ni-Cd 電池，太陽電池の組合せによる充電方式である。このため日本電気より太陽電池1箇及び水銀積算電量計を借用し，福島支店屋上に設置して昨年より引続き日射量を測定中である。又充電系統に就いては日本電気研究所に於いて，第1回，32年7月24日～29日に太陽電池84箇，湯浅電池提供の 2.2AH，Ni-Cd 電池1箇，第2回，9月13日～28日に太陽電池42箇7.5AH，Ni-Cd 電池1箇，第3回10月1日～14日に太陽電池 42 箇，7.5AH電池1箇の組合せで自己放電量，充電効率等の測定を行つた。福島地方に於けるゴミの影響は，約半年の測定の結果全んど影響のない事が分つた。霜の影響は現在福島支店屋上て測定中である。

4. 今後の工程

建物関係…昨年末設計完了し，33年4月完成を目標に施行中である。

太陽電池及び無線機…33年7月末完成

オートバイ無線機…33年12月完成

即ち，本年8月には太陽電池装置無線中継系統が完成し総合調整を行う予定である。

更に受信機のトランジスター化問題，無線機安定化電源問題，霜雪等の日射量に及ぼす影響，蓄電池の安定性等に就いては，装置完成後一つ一つ研究していきたいと思つている。

5. むすび

太陽光発電は，現状に於いては非常に高価な電気である。しかし，将来高純度シリコンが量産化される暁には広範なる利用面の生まれ出ずるであろうとの会社首脳部の見通しにより我々はこの実用化に対する諸現象を究明し，次の本格的問題の検討に資せんとするものである。

終りに，資料に就いて便宜を受けた電気試験所百田博士，日本電気 KK，並びに湯浅電池KK，又局舎設計を願つた本店建築係，研究施行に当つて種々御骨折を戴だいている福島支店営繕係，線路課通信係に謝意を表する次第であります。

以上

「家庭と電気」の發行について

営業部営業課

発行の目的…良い世論を作り出すために

電気事業は他の事業と違つて，常日頃よくサービスに努めているつもりでも，何時も冷たい批判の眼にさらされ，特に料金の改訂や渇水期の電力制限ということになると全く強い世論の反撃に会つてしまう。

このことについて，事業の性格上やむを得ないことだとあきらめてしまつてはいられない。一生懸命 PR に努めているつもりでも，やはり PR が効果をあげていない結果なのであろう。

特にサービスの向上と需用構成の改善という大きな任務を与えられている，われわれとしては，どうしてもこの冷たい世論を一日も早く良い温かいものにしなければならない。

しかし，考えるまでもなく，冷たい世論とは云つても，つまりは人と人との関係である。こちらの気持をよく知つていたゞければ，そう無理なことも云われない筈であり，こちらの話も判つてもらえるはずである。

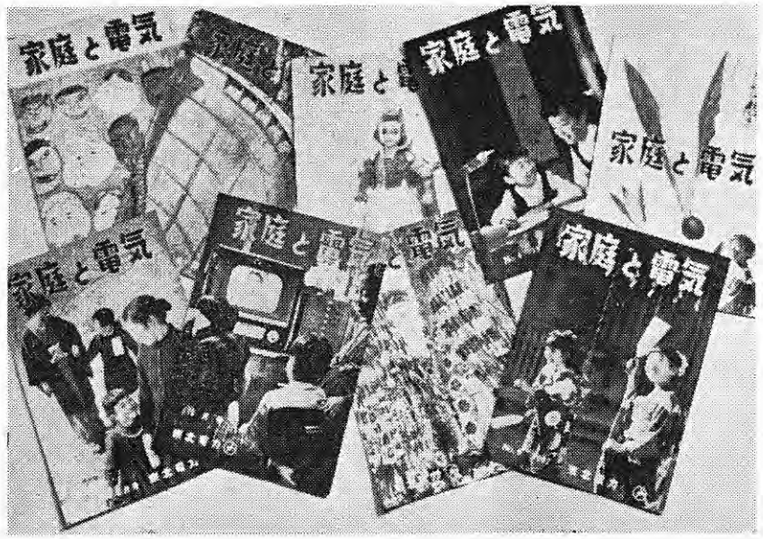
それにはどうしても，新しい恒久的な PR の布石が必要になつてくる。

新しい企画での，恒久的な PR として，このリーフレツト「家庭と電気」が誕生したわけである。

配布の対象…家庭の主婦こそ PR の対象に最適

一般に家庭の主婦は，家計をやりくりし，子供の教育に熱心で，よく世間話を好み，よく電気をこわがり……(全く PR の対象となる条件はそろつている) そして，主婦たちの伝播力は大したものである。シヤモジ戦術の主婦連の動きをみてもわかるように，一たび敵に廻すと大変なことになるが，一たび味方になればまた大した力だと思う。

そこで PR の対象こそ主婦に限ると極言してはいけないのであろうか。最も効果のあがつた時のことを考えてみよう。



或る主婦に1年2年と連続して毎月このリーフレツトを贈つたとする。この婦人は子供たちと夫をひつくるめ，近所の主婦たちへと色々と新知識として電気に関した話をしてくれるであろう。そうなれば1冊の『家庭と電気』から，家族ならびに近所の人々も，当社の内容や考え方，電気の知識を知つてくれるであろう。

そういうことで，配布対象を家庭の主婦とし，そして題号を「家庭と電気」とした。

また全需用家の主婦に配布することも出来ないので，主婦のなかでも指導的な役割をしている人々ということになり，結局主婦連の関係者，PTAの役員婦人，それに婦人が沢山集まる美容院などが総計3万5千人を選定して贈ることにした。

配布の方法は，はじめ散宿所，集金，検針員の手を煩わしていたが，どうしても一定の人に配布されることが無理であつたので，第3種郵便物の認可を得て，本店から直送している。

編集の方針…見てわかり身近なものを表現する

配布対象が家庭婦人であるので，婦人にも子供にもわかる楽しい電気のリーフレツトという編集方針で，読ませるものでなく見てわかるものにするため，写真，挿絵をふんだんに使うことにした。

編集内容は生活とじかに結びついたものに電気の知識を導入したものを主とし，当社の方針を出すときは『宣伝』と頭からきめつけられないようにするため特に注意している。

1. 編集者が自分の趣味におぼれてはいないか
2. 読者が手にした場合，これをどう読むか
3. 読者は理解できるか
4. 読者はそれを信じるであろうか
5. 読者はこれに基いて行動するであろうか

のPR誌の編集上の原則に準じるように努めている。

編集会議は編集者のほかにカメラマンと主婦を加えて毎月1回種々討議する。良いアイデアはその場でとりあげられ，レイアウトの決定から，内容まで具体的に検討する。

編集会議で決定された事項は最大限に写真で表現して，活字による解説は出来るだけ少くする。ルポルタージユはカメラマンを同伴して取材する。

8頁建を原則とし内容は大体次のようにしている。

表紙……強いて電気にこだわることなく，季節感のある斬新なもの
当社事業の紹介……2頁
家庭電化の知識……2頁
電気に関したルポルタージユ……2頁
家庭便利帖，読者の声……1頁

今までの主な項目

昨年1月からの主なものを拾い上げてみる。

○当社事業の紹介

山内営業局長と主婦連幹部の対談「電力会社にもの申す」 1月
東北地方の火力発電所 4月
東北の電力はどのように使われているでしようか 5月
電気の身元調べ（発電から消費まで） 7月
家の中の電気 8月
電気料金がこのように変りました 8月
休みない電力の神経中枢（中央給電指令所） 1月
穴のあいた領収証 2月
建設すゝむ八戸火力 3月

○家庭電化の知識

台所の電化 1月
ともしびの歴史 4月
文化生活の第1歩 5月
危い電気の定員無視 6月
電気洗濯機，電気井戸ポンプの選び方
みんなで電気事故をなくしましよう 7月
電気代10円でどれだけ使えるでしよう 8月
あたらしい電化住宅の設計 10月
結婚シーズンを迎えて喜ばれる贈りもの 11月
冬を暖かく上手な電気コタツの使い方 12月
トランスのいろいろ 2月
月賦を上手に使いましよう 3月

○ルポルタージユ

温室咲きの花 東北一の温室村高柳を訪ねて12月
電源の水を守る人 1月
文化生活の村 雷部落を訪ねて 2月

読者はどう見ているか

アンケートをとつた事もないし，読者に直接会つて話をしたこともないので，どれがよい評判を受けたのかよくわからないが，葉書や封書で来るものからみると，一般的に喜ばれているようである。そのうちでも家庭便利帖が一番よいようである。これはちよつとした思い付きですぐ生活が便利になるから良く喜ばれるのであろう。あとは各人各人それぞれの環境においてというところと思われる。

投書のうちから少し紹介すると

○アイロンの変つた使い方を面白く読みました。早速利用してみます。

○アメリカと我が国との電化の比較などは社会科の教材として誠に面白く生徒は大そう喜んでおります。

○文化生活の第一歩を読んで人ごとでない気が致しました。これからも色々お教えて下さい。この本をかこんで一つのグループ活動でもと思つて楽しんでおります。

○家庭より会社への希望とか，或は会社より家庭への要請など気軽に読める記事をぜひ

○私も出来るだけ台所を電化したいと思いましてこの春コンセントをとりつけてもらつて，電気コンロを求めました。経済のゆるすかぎり，少しずつでもと心掛けて居ります。

○色々の集りや来客の時，何時も話題にしております。ことに便利帖が中心です。

○電気について何も知らなかつた私にとつて毎月送つて下さるのを楽しみにしております。家庭便利帖をもう少しふやして，1頁ぐらいにして戴きたいと思います。

その他，いろいろの投書があるが，発行の当初は良いものを送つてくれたという単なる礼状が大部分であつたが，号を追うに従つて編集について，こうしてくれ，あの頁をこうしてくれという意見や，電気使用上の質問が来るようになつた。これらのうち読者に読んでもらいたいものは，読者の声欄に掲載した。その後『読者文芸欄』を新設したので，俳句，短歌，川柳などの投稿も多く，現在月平均60通位の投稿，投書がある。内訳は時によつて多少違うが，大体次のようである。

読者文芸	30通
意　見	10〃
住所変更	10〃
新規申込	20〃

3万5千部のうち60通だから大した反響ではないが，編集者としては，これら読者の筆になるのを読むことは，この上ない楽しみであり，どう読まれているかの大きな資料となり編集上の参考になる。

今後の行き方……魅力あるものを

今後の行き方については，大きな抱負が沢山あるが，余り大きな事をいつて期待されると，「なあんだ」ということになるから，とりあえず，5月号から本年一ぱい実行する新らしい面だけをあげたい。

魅力あるリーフレツトにするため，編集に新風をおくりこむ，それにはまずユーモアを加味して行きたい。これはマンガ，笑話，を入れるという意味でなく，写真，文章など全般に亘りその表現方法にぴりつとしたユーモアの調味料をふりかけてゆく考えである。

そして内容をもつと平易にするため，取材にあたつては，充分時間をかけて素材を研究し勉強してから写真や文章を作つていきたい。

写真を主としたリーフレツトであるので，写真を美しく出すのが生命である。それで印刷方法も現在の活版印刷からグラビヤ印刷にして紙面を飾つて行きたい。

特集号や附録も作りタイムリーな発行をして行きたい。

とにかく通巻いまだ19巻である。人間の年になおせば1年7カ月のよちよち歩きの赤ん坊である。未来に対するものばかりというところである。（**K.I**）



当社がR.R製統計会計機械により料金調定業務の機械化を開始してから早や3年になる。

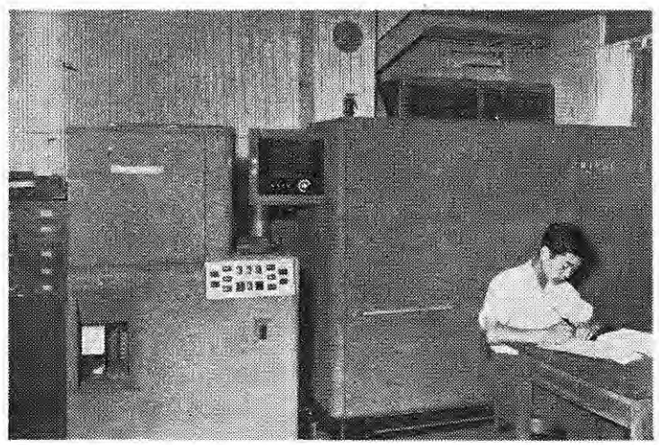
そこでその間の経緯と機械計算会社の現状とについて述べてみることゝする。昭和30年4月より第一次計画として宮城，山形両支店管内を塩釜営業所から逐次移行し同年11月で宮城支店管内8営業所を完了，引き続き山形支店管内へと移り31年4月で山形支店管内5営業所を完了した，此の間は定額電灯と従量電灯の2種の調定であつたが，小口電力（50KW未満）をも機械化すべく同年5，6月で両支店管内分を移行した。

更に第二次計画として北部3支店（20営業所）を機械化すべく若干の機械の増設を行つた。尚第二次計画以降に於いては営業所備付けのテープ穿孔タイプライターをR.R製のものから国産の新興製作所製テレプリンター（印刷電信機）に切り換えることゝした。これは将来自社通信線を利用してテレタイプ伝送の問題等を考えてのことである。現実に岩手支店管内の盛岡営業所と水沢営業所とから毎日テレタイプ方式による伝送を行なつている。扱う DATA が凡て数字であり伝送による誤字は絶対許されないわけで，此の点通信課とメーカーに於いて誤字確認の監査方式を考案し試作機とは云いながら殆ど満足すべき状態のものが出来上つている。その具体的な内容については改めて御紹介することゝし今回は省略することゝする。斯くして岩手支店管内を同年10月で青森支店管内を32年2月で，秋田支店管内を同年6月でと予定通り第二次計画を遂行した。

是れ迄の5支店分については定額電灯は前月々末に一括調定し，従量電灯及び小口電力については当月3日より17回日割の形で実施してきた。残る支店は福島，新潟の大支店である。第一次，第二次計画迄の成果に自信を得，第三次計画として引き続き両支店を実施すべく必要機械の増設の決定を見，又機械計算会社も社屋の増築を行い，同年8月より福島支店から移行し33年1月で同店を完了今2月より愈々新潟支店へと突入し今年9月を以て全管内の調定機械化を完了する予定である。第3次計画において定額電灯も従量電灯，小口電力と同様に日割し，而も22回調定とすることにした。従つて他の5支店についても17回日割を22回に切り換えることゝし今期において北部3支店を来期において宮城，山形を切り換えることゝしている。なお2月の実績は定額電灯388,090枚，従量電灯1,214，361枚，小口電力162,139枚，計1,764,590枚である。

此の数字は此の種の機械（パンチカードシステム）

を使用して1ケ所に於いて1ケ月に発行する領収証としては日本では勿論のことアメリカは於いてもその例を見ないものである。試みに2月発行分の領収証を縦に長く繋いでみるとすれば326 KM 位になり仙台駅より赤羽駅位迄の長さとなる。今此の過ぎし3年間を振り返つて見ると全く夢の様に月日は流れ，その間幾多の問題はあつたが，設備機械を殆んど計画通りの稼働率迄に稼働させ得るようになつた機械計算会社の努力と，営業関係の並々ならぬ指導と支店，営業所の担当の方の努力の賜が今日此の姿として現はれているものと信ずるものである。唯営業所備付テープ穿孔タイプライターが時々故障を起し営業所の担当の方は並々ならぬ御苦労をされたのであるが，この点今後の問題として予備機を備へつけて日常の作業に支障のない様に努力する積りである。

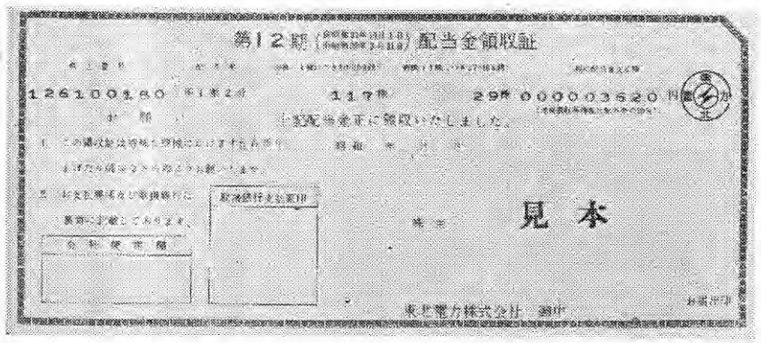


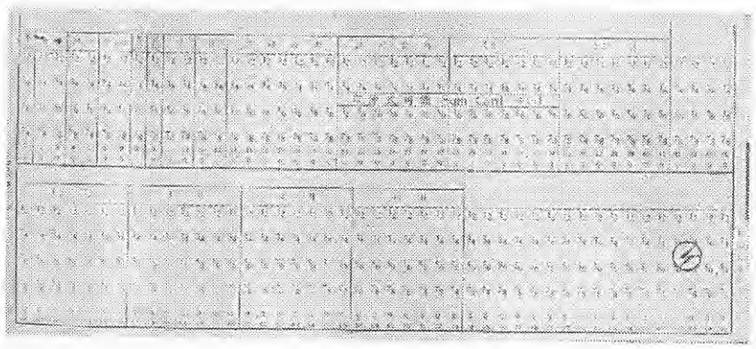
UNIVAC-120 電子管式計算穿孔機

既に御承知の方も多い事と思うが，日常のベースロードとして料金調定丈であるが期末業務としては人事，株式関係，年に1回ではあるが給電関係の業務も実施をしているので，これから述べることゝする。

1. 人事関係業務

我々当社の従業員1万5千名の人事カードは既に穿孔カードによつてカード化されて居る。従つて各人の名前は CODE（記号）化され生年月日，入社年月，学歴，職種，所属，基本給に至る迄1枚の穿孔カードに記録されている。





此の基本カードにより毎期退職給与金引当限度額の計算を行い会社の決算に使用している。更に此のカードは人事関係の分析統計にも使用しているし，未だ実施はして居らないが給与計算を機械化する際の基本カードともなるのである。退職給与金引当限度額の計算の運行は別表(2)の通り。

2. 株式関係業務

株式関係としては毎期の株式配当金計算並びに領収

証作成増資の際は新株式割当申込書の作成を行い，既に30年下期の配当金計算以来既に4回，増資業務については2回処理してきた。株主の数は9万2千名程であるが，統計会計機を使用している会社は殆ど皆株式業務を機械化している様である。それはどちらでもピークロードの量としては適当な業務量であるからであらう。当社の場合は日常の名儀書換業務は従来の儘の形をとつているので期末に確定株式を決定するための移動処理からSTARTするわけで運行図(別表3)の通りの作業により料金調定と同じ様に穿孔カードによる配当金領収証が作成され，各株主に郵送されるのである。

各株主は領収証の裏面に記載されている最寄りの銀行にて領収証と引き換えに配当金を受領するわけで，銀行は1週間分纏めて本店に送付してくる。これを再び機械によつて府県別の株主番号順に整理し，配当金原簿に消し込みを行うのである。此の際領収証には「此の領収証は特殊な機械にかけますから折り曲げたり破損をなさらぬ様お願いします」との注意書を記載し，且各取扱銀行等にも事前に見本を送りP.Rをしているのであるが，現実には20%位は領収証を折り曲げたり，或いは破損したりして機械にかゝらない分が出ている。勿論此の事は各株主に対しては回数を追う毎に慣れてくる事と思われるし，取扱各銀行に対しても更にP.Rをする事により此の数字は漸減していく事と思う。配当金額が1期5,000円以上になる株主については所轄税務署へ提出する株式配当金支払調書を作成する。第13期（昭和32年度上期）についてみれば株主9万2千名に対し約1万3千名程度である。又配当金領収証作成の際500株以上の大株主に対しては配当金振込通知書を作成一般領収証に替えている，その数約2,000名程度である。

増資業務の場合は，株主カードを電子計算機(UNIVAC-120)にかけることにより新株式割当の計算を行う，此の際同時に割当株式の券種別（1株券，5株券，10株券，50株券，100株券）毎枚数及び合計枚数の計算も行われる。割当申込書も領収証と同様穿孔カードで株主番号及び割当株数を印書して各株主に郵送する。各株主は引き受け株数を記入して銀行を通じ再び本店に送られてくるのである。株式業務にはかならずつきものゝ宛名の問題がある。総会通知やP.R資料送附のための宛名等特に増資の際には数多くのP.R資料を各株主或いは特定株主に配布するが，その際の宛名カードは料金調定の場合と同様に穿孔カードであるので，従来のステンシルペーパーの宛名カードと比較すれば分類仕訳等が頗る便利になつている。

3. 給電関係業務

給電関係業務としては毎年1回需用想定作成のための資料として自流式発電所の日別可能平均電力の計算や，横軸，縦軸の月平均及び年平均の流況曲線表を作成する。この作業の基本になるのは昭和17年度より毎日の可能電力を記録した基本カードで自流式発電所219ケ所について

(日)(年)(ケ所)
31×15×219＝101,835枚ある。

尚此の基本カードは毎年31×219＝6,789枚宛増加して行く。此の基本カードより別表(4)(5)の運行図の機械作業にて過去15ケ年平均可能表や縦横軸各々の年及び月平均の流況曲線表（DURATION CURVE）の資料が作成される。

以上述べた人事，株式，給電の各業務が定期的にピークロードとして料金調定の合間に行われているわけである。今や機械計算会社も85名程の世帯となり，日々機械操作技術の向上に努力して居り，その結果として前にも述べた如く機械の稼働率も非常によくなつて来て居り，運転中はさながら流れ作業による工場の観を呈している。未だ機械を御覧になつて居らない方は仙台に御出の節是非一度は御立寄りになることを御すゝめ致すものである。

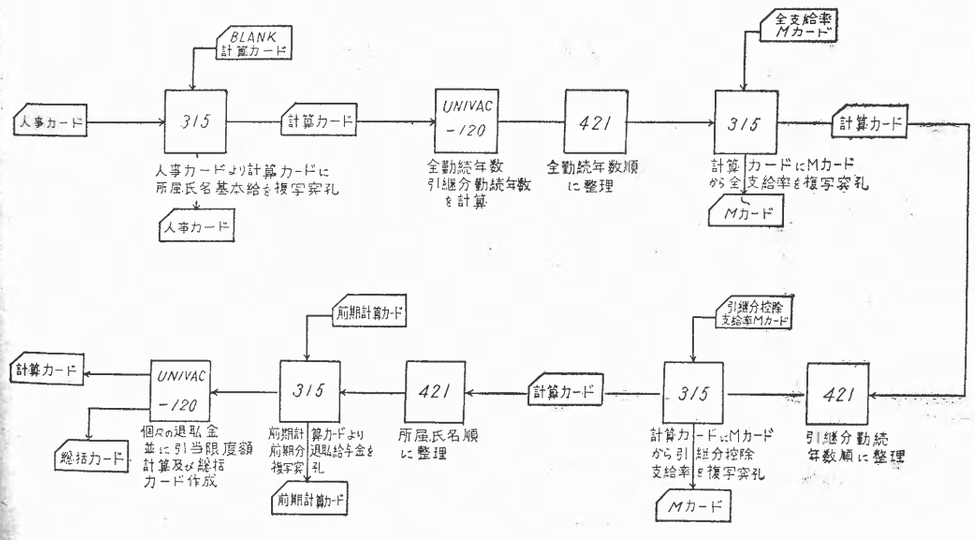
別表1

設備機械の種類及び台数

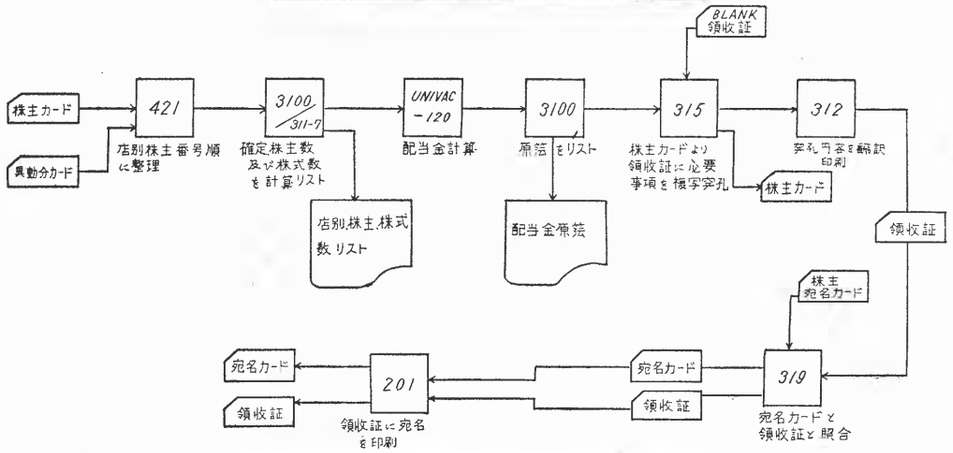
型式	名称	性能	第一次計画分	第二次計画分	第三次計画分	計
204-4	自働穿孔機	200欄/分	2			2
204-2	〃（検孔装置付）	〃	2	3		5
306-4	英数字式自働穿孔機	〃	1			1
306-2	〃（検孔装置付）	〃	1		10	11
313	自働検孔機	200枚/分	1			1
320	分類機	420枚/分	1			1
321	〃（算票装置付）	〃	1			1
421	電子管式分類機	800枚/分		1	2	3
315-1	多能照合調合再製機	100枚/分	2		2	4
314-2	単能再製機	125枚/分		1	1	2
312-4	穿孔翻訳転書機	90枚/分	2		1	3
319-2	単能照合機	240枚/分	1			1
3100	自働会計機	100枚/分	1	1	2	4
311-7	総括穿孔機	100枚/分	1	1	2	4
UNIVAC-60	電子算式計算穿孔機	125/分	1			1
UNIVAC-120	〃	150枚/分			1	1
308-5	テープツーカードコンバーター	420欄/分		3	5	8
—	テープ穿孔タイプライター	100欄/分	15			15
—	〃（電気式）	200欄/分		1		1
—	テープ読取装置	420欄/分	5			5
S-201	自働宛名印刷機	120枚/分	1	1	1	3
KPP-1	印刷電信機	150欄/分		23	32	55

別表2

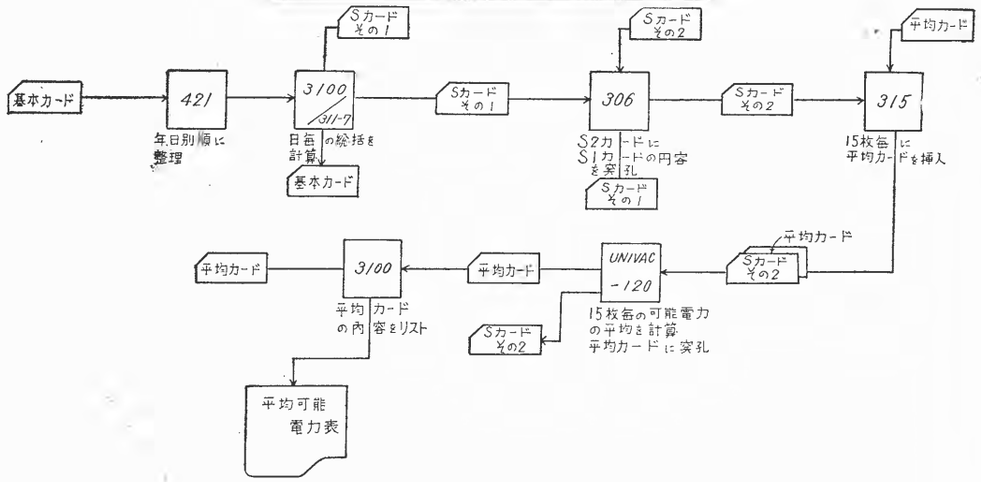
退職給与金引当有限度額計算運行図



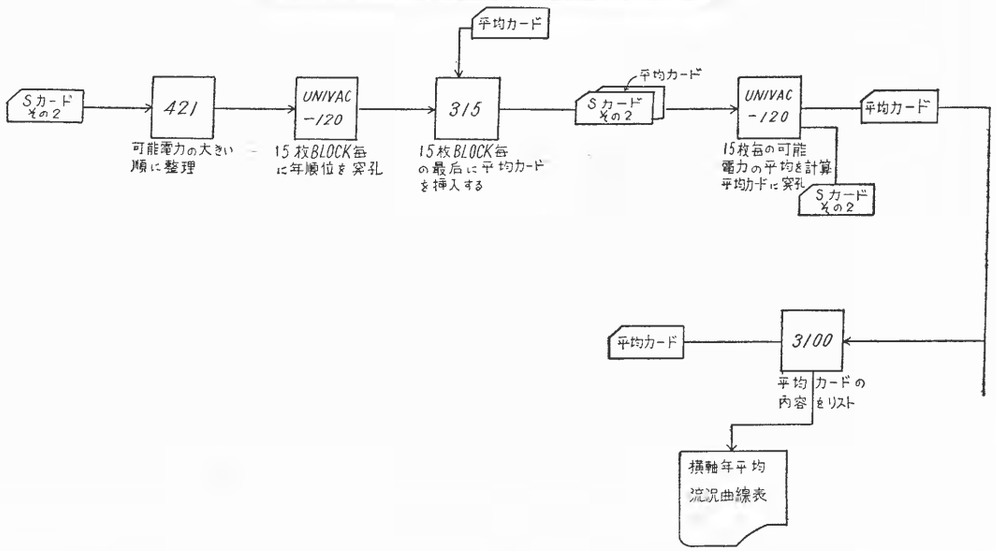
別表 3　配当金領収証作成運行図



別表 4　日別平均可能電力作成運行図



別表 5　横軸年平均流況曲線表作成運行図





新年を迎えた或る朝のこと，出勤してまもなく電話のベル，早速出てみると，支店から保養所の申込だつた。それがなんと，5月始めの連休を，利用したいとのことちよつとまごついた。いくらなんでも半年先の申込とは，たゞたゞ恐れ入つた次第である。

でも，こんなに湯河原が繁昌すると思うと，嬉しかつたが，あまり先のことなのと，受付簿は，3月までしか用意してなかつたので，御気の毒だつたが断わらざるを得なかつた。利用者の多いことを思うと，開所されたことが，無意味でなかつたことを考え，開所当時の苦労も今ではこの上ない喜びである。

さて早いもので，開所以来1周年を迎えた。この機会に，報告をかねて湯河原一帯を，少し紹介してみることにする。すでに保養に利用された方は，それぞれの想出を回顧され，これから来訪される方々には，いくらかでも案内出来れば幸せである。

ではこゝでちよつと，1年間の利用状況を調べてみよう。

1．月別利用宿泊者数

32/3月	92人	9月	120人
4 月	213人	10月	241人
5 月	254人	11月	195人
6 月	217人	12月	40人
7 月	131人	33/1月	88人
8 月	186人	2月	101人

2．男女別利用者数

男子　1,113人

女子　326人

3．支店別利用者数

福島	414人	宮城	59人
東支	305人	山形	49人
新潟	291人	岩手	46人
本店	153人	青森	35人
会電	87人	秋田	10人

この利用状況を見ると近距離支店の方々が，春秋の季節に多く利用されている。遠い支店の方々の利用の少ないのは，交通の便が悪いことが原因と思われ，誠に残念である。

やれ人工衛星だの，原子力時代というのに，いまだに真黒な煙をはいて，ガタポツポガタポツポ，しかも運賃は1人前に取られるのだから全くやりきれない。これが複線で電化され，東北電力なみに合理化が進んで，スピードアツプと運賃でも安くなれば，もつと違つた利用状況者数が出てくるかもしれない。政府と国鉄はなにをしているのやら，おやおや，とんだ処に話が進んだがこれはさておき，後を続けることにしよう。

楽園の湯河原

湘南，箱根，伊豆この地域はそれぞれ異つた趣きはあるにせよ，全てが日本の代表的遊覧の地であるばかりでなく，有名な温泉郷でもある。東京，横浜の大都市の休養の場所である上に，秀麗な風景と，温和な気候を持つ保健地としてこよなき理想の別天地であり，日本の楽園と言われている。この恵まれた楽園湯河原に我々の保養所があることは，この上ない幸せである。特にこゝ湯河原には有名会社の，寮，保養所が実に36軒もあることをみても，いかに保養や清遊に適し理想の天地であるかが，おわかりのことゝ思う。

まずは御家族連で，この出湯，美しい景勝，新鮮な果物，春秋の行楽，夏の海水浴，冬の観梅，名所旧蹟の見物等，数かぎりない観光の楽園を大いに享受し，楽しい想い出に若返えつて戴きたいと思う。

東京から湯河原まで

たつた2時間　たつた2時間

また来ておくれ

湯河原　東京の奥座敷

湯河原は神奈川県の西南にある，閑静な温泉郷である。ではこれから迷ガイドが皆さんを湯河原まで案内しましよう。

東京駅の14，15線から発車する東海道の列車か，12番線の湘南電車に乗る。まもなく発車のベルと共に東京駅をあとにする。これからはしばしの間，ガイドの案内に耳を傾けることにしよう。……昔なつかしい汽笛一声の新橋をあとに，名物シユマイの港横浜を過ぎれば，右に観音像左に松竹撮影所の大船を眺め，かつてのワンマン宰相が住む，大磯海岸の松の間にたゞよう金波銀波を横にみて，間もなく霊峰富士を雲間に仰ぎ，美味なる蒲鉾の小田原を最後に，やがて静かな奥まつた温泉街へ着く，これが目的地湯河原である。やれやれこれでどうにか到着，さてこの温泉郷は裾合谷藤木川の清流に沿つて発展した湯の街である。川の左岸は神奈川県，右岸は静岡県で，このように2県にまたがる温泉は珍らしい。しかも箱根や熱海と違い，閑静にして，遠い昔を偲ばせる静かな渓谷美に恵まれた，仙境なので週末などは，こよなき休養地となつて賑わつている。

温泉の歴史

湯河原一帯の温泉は，伊豆，箱根中最古のものといわれ，温泉の起源は源平の頃に，豪族土肥氏の居住であつた処から，一名土肥とも呼ばれ万葉集の東歌にも，

足柄の土肥の河内と出づる湯に

世にもたよらに子が云わなくも

と歌われこの碑は万葉公園に建つている。また頼朝の部下が，傷をこの湯で治したことから，外傷に良くきくと云われている。その上に手術後の療養には最も適し，泉質は無色無臭の弱温泉にして，胃腸病，神経痛，打撲症，婦人病にも特効がある。また湯河原温泉は戦国時代には「コゴミノ湯」江戸時代には「小梅の湯」と呼ばれ(どちらも子込む・子産みの意味）ていることからも解るように，夫婦円満の湯である。

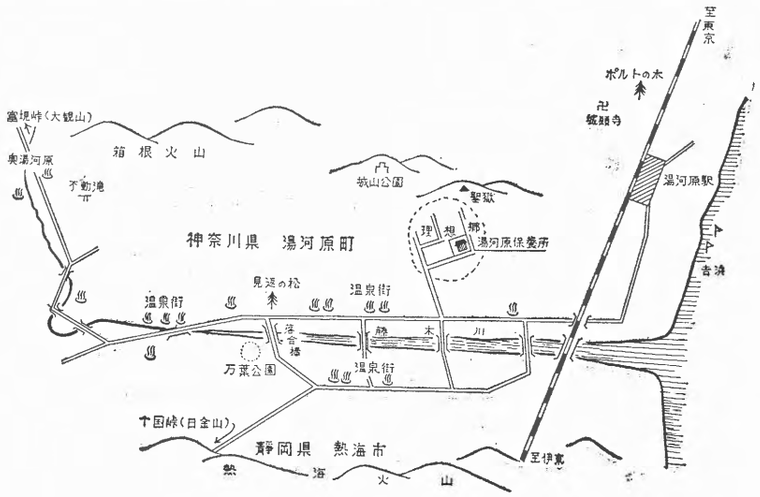
処で皆さんの中で結婚後未だ子宝に恵まれずにいる方は，ぜひ一度この湯に入つて下さい，御利益あらたかにして悩みは解消？すること請合である。

これは余談になるが，風聞する処によると入浴の好きな人があればあるもの，入りも入つたり13回とか……現在までの保養所の最高記録勿論1日の入浴回数。

四季の湯河原

有名な温泉にも増して，こゝ湯河原は風光明媚にして，春はらんまんの桜花が日金山麓に絵巻模様をみせ（花より団子でもよし，花見でちつと一杯もよし）夏は吉浜の海水浴と遠くかすむ初島を眺め，秋は錦おりなす紅葉の渓谷に蜜柑の実が黄金の花を咲かせ，冬は温暖な陽光に梅花ほころび，四季とりどりの景趣はまことに尽きぬ眺めである。

河鹿鳴く藤木川の清流，五月雨降る情緒豊かな温泉



街である。

相模灘とぶ白帆でさえも

恋しい湯河原夢にみる

藤木川やら逢瀬の瀬じややら

来るよな来ぬよな水の音

二つ仲よく落合橋の

通る一つの蛇の目傘

と唄われている湯河原は，昔から，政客文士，文豪に愛され今もなお多くの人々は，この閑静邃寂をしたつて清遊にあとをたゝず，その上箱根の山々を探る観光客は，必ずと云つてよいぐらいこゝ湯河原を通る。

保養所の位置

駅から左に日金山，右に箱根山の美しい連山を眺めつゝ，そぞろ歩いて約20分で箱根前嶺城山のふもとにあたる理想郷と呼ばれる昔の，別荘地の一角にある保養所につく。建物の後方翠嶽を負い，前方白金函嶺が眼前に眺望出来る好位置にある上に，稚致を凝らした庭園には緑の毛氈を敷きつめたような芝草と，奇然な庭石や，古木然たる老松，若々しい呉竹，高稚な白梅，乙女心の真赤な椿，香り高き沈丁花，蜜柑の木々は四季を通じて，訪れる皆様の目を，楽しませてくれるにちがいない。

こゝでちよつと室名にまつわる苦心談を一つ，5つの室の名前を附けるのにM係長は附近の山，峠，岳，路，城，島，樹々，花，温泉，湖，滝，魚等調べることその数130種類，なんと世話のやかせたことである，これは序の口，開所までの苦労はなみなみならぬものがあり，遂に開所当日病床の身となつたことも，今は想出の一つだが罪な保養所であつた。

さて建物は日本風の外観に，近代感覚を明るく調和させた構造は，どの室内も違つた趣をみせ，清新にして古風でエレガントな家具は，落ついた雰囲気をかもし，明るくほのぼのとした浴室や，モダンな談話室でのテレビを楽しみながら憩の一時を過し，また家族連の行楽に，団体旅行の想い出に一夜の夢を結ぶにまたとない保養所である。これはこれは大切なことを忘れていた，楽しい嬉しい新婚旅行にはぜひ御出下さい。

昨年こゝ湯河原で想い出の一夜をすごした新婚の方々が18組もあつたことを報告し，この若き夫婦に多幸あれと祈つておこう。

名勝と遊覧

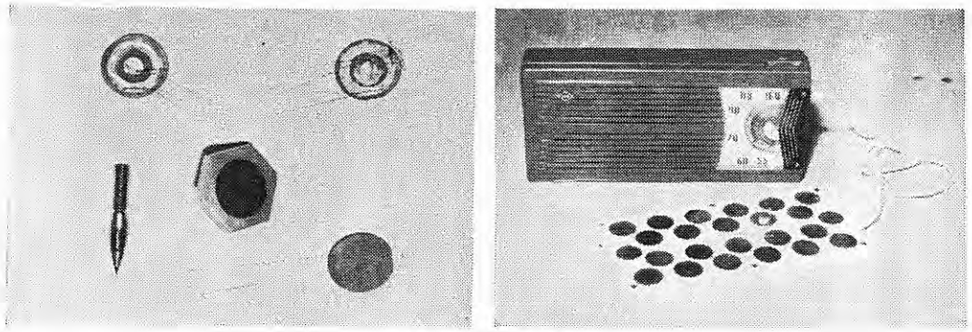
温泉街を中心に周囲には，数々の名所旧蹟が多く，土肥の城跡これは城山の山上にありこゝから南方遙か，相模湾や房総，三浦半島を眺望せられ神奈川新八景の一になつている。城願寺のビヤクシンは城願寺の境内にあり，目通り幹の周囲6米と云われ天然記念物である。ボルトの樹叢は駅から500mの山神部落にある昔の暖地性樹叢の一部が，今日まで残つたものであり，その他頼朝が戦に敗れて身をかくしたと言われる土肥の大杉を始め，見附ノ松，万葉公園，清滝，不動滝，五色八重桜等がある。

少し足をのばせば湯河原から大観山を経て箱根までの2里半のハイキングコースがあり，芦ノ湖や逆さ富士の美景を眺めながら清遊，或いは熱海から十国峠を越える観光バスでの，国立公園箱根を訪ねる数多い遊覧の足場となつておるのもこゝ湯河原の特色である。

とめどもなく紹介したが，昔の諺に「百聞は一見にしかず」とか，なにはともあれ清遊に保養に行楽にぜひ御出でいたゞきたい。

最後にのぞみこの紙上を御借りして，湯河原保養所の開所に御尽力，御高配下さつた諸氏，諸兄に厚く御礼申し上げ湯河原紹介を終ることにする。

（総務課・H生）

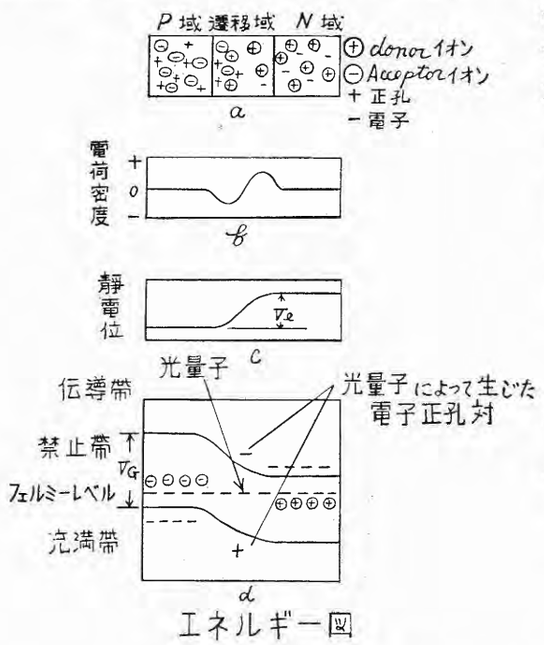


（第　1　図）

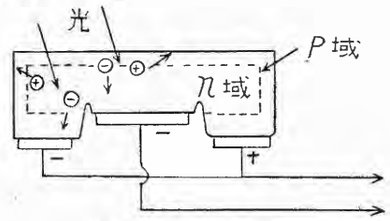
も呼ばれる所以である。太陽電池の原料は，高純度のシリコンであり，その心臓部は，トランジスター等で著名な，P-N 接合面である。シリコンは資源的には，地殻の構成物質として，第2番目に豊富な元素で，普通は石英（SiO_2）の形で存在しておる。高純度シリコン単結晶のマスプロが完成された暁には，低廉となり，将来のエネルギー源となる事は，疑い得ない。

a. 原 理 及 び 構 造

太陽電池は，輻射線を吸収して，起電力を発生する光起電力効果を応用したもので，高純度シリコン導体表面に，P型半導体と，n型半導体の接合面（P-N Junction）を形成させ，光は，この接合面をエキサイトして起電力を発生させる。即ち，第2図に示す如く1つの結晶内に P-N 接合を作ると，この境界面は真性となり，フエルミーレベルの一致する事から，各々の不純物原子イオンのために，2-c図の如き静電位の変化が起り，静電界が出来る。今こゝに光が入射すると，その光子エネルギーが，ある値以上であれば正孔，電子対を創造する。この正孔及び電子は，P-N 接合面に生じている静電界（電子をn領域に，正孔をp域に保つ力）によりその電子はn領域の方へ，正孔をp領域の方へ移動させる。この様にしてp域には正孔，n域には電子が集まるもので起電力となり，外部回路に電力を供給する事が出来る。

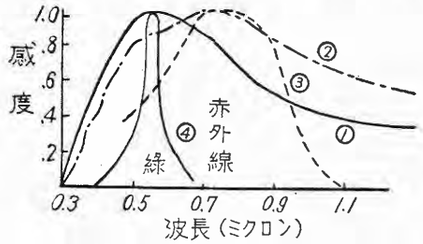


第 2 図



第3図　太陽電池の構造

太陽電池の構造は，第3図に示す如く太陽光の当



N.E.C シリコン 太陽電池の波長特性

第 4 図

る表面はp域である。通常入射光が半導体内に透過する深さは波長の数倍程度と考えられるから，なるべく入射光か P-N 接合面のごく近くに到達する様にp域は非常に薄くしてある。この両域は内部の抵抗をなるべく小にして利用する電圧を最大にする。

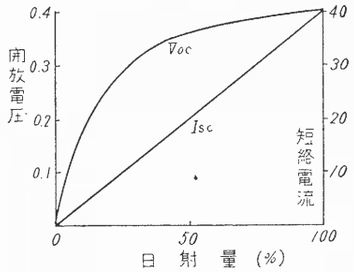
p 域をn型シリコンの表面に作るには，シリコンの100万分の1位の極く僅かなアンチモンを含んだシリコン円板上に，第3族の元素であるボロン（硼素）の薄膜をつけて極く薄く（数ミクロン）拡散する方法をとつている。

b. NEC 太陽電池の性質及び性能

(1)　波長感度特性

第4図に於いて曲線①は各波長に対する太陽エネルギー分布を表し，又或る波長に対する振動数νなる光は hν なる量子となつて入射する。即ち入射する光の中には，夫々異なつた hν と云うエネルギー素量が何個かづつある筈なので，各波長に対する光量子の数を求めると曲線②になる。シリコンの分光感度は曲線③で近赤外域の 1.1 ミクロン迄感じ得る。即ちシリコンの禁止帯の巾は 1.21eV であるからこのエネルギーに相当する波長 λ=1.1 ミクロン以上の光は発電に全く貢献しない。又 1.1 ミクロン以下の光でもその1部は熱損失となる。しかしこの損失は一定の値の禁止帯をもつ半導体では避ける事の出来ないもので，理論的検討の結果は現在はシリコンが最上のものである事が明らかとなつている。

(2)　短絡電流，開放電圧特性

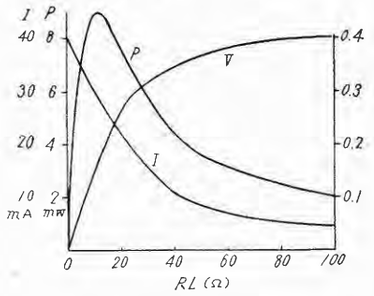


第 5 図　日射量変化特性

100mW/cm² の太陽輻射エネルギーの時，その照度は 12,000 lux であつたのでこれを基準とし照度を変化した時の開放電圧，短絡電流の関係を第5図に示した。

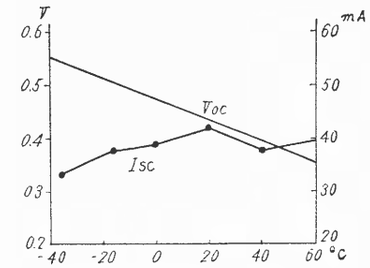
(3)　出 力 特 性

イ　負 荷 特 性

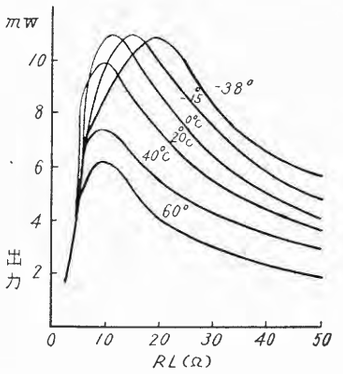


第6図　出 力 負 荷 特 性

ロ　温 度 特 性



第 7 図　電圧電流～温度特性



第 8 図　出 力 温 度 特

太陽電池を −38°C から +60°C まで変化した時の出力変化は第7図，第8図に示す如く短絡電流は余り変化しないが開放電圧は

$$dV_0/dT = -0.00288 \quad (V/c)$$

で表わされる。又出力も温度上昇と共に減少してくる



未曾有の重量物

明治30年の秋。冬を目前にして船舶の出入の，一段と激しくなつた，秋田市土崎港に，頑丈に包装された，20個の荷梱が到着した。この大小の荷梱は，相当の重量物らしく，屈強な港人足数拾人の手をわずらわして，苦心の末，浜倉庫に格納された。そして2カ月。正確にいえば，明治30年12月13日，例年より早く初雪が訪れ，白一色にぬりつぶされた港町を，特別仕立の巨大な牛橇に揺えられたこの荷梱は，前後左右に50数人におよぶ要員を従えて粛々と出発したのである。その光景は，正に，小大名の行列そこのけの賑々しさで，通行人を瞠目せしめた。

やがて一行は，奥州街道を一路南下し，和田，神宮寺，刈和野，大曲，横手等の宿場々々で，仰山に酒をふるまい，気勢をあげ，40日の長い旅程を経て，雄勝郡秋の宮村に到着した。途中2名の死者さえ出した，この行列の花形こそ，桧山発電所第1号水力発電設備であつた。

その頃，既に竣工をみていた発電所建物は，白い瀟洒な容姿を，役内川の清流に映して，静かに機器の到着を待つていた。村民の言葉を借りるならば，その発電所本館は，L西洋風のモダンな，そして頗る宏壮な」近代建築であつた。

亜鉛メツキ鋼板ぶき，石造り，平家建，66坪（間口6間，奥行11間）

建物の主要材である石は，県境院内峠より発掘したもので3尺×2尺の見事な灰緑色の大石である。この石は院内石として著名であるが，おしむらくは外装の華麗さに反して，軟質で，風化しやすい性質をもつていた。側面にくりぬかれた窓も当時としてはモダンな廻転窓であつた。

日清役戦勝の余波

設計者は，藤岡作二郎工学士である。藤岡氏の事積は詳かでないが，当時，独逸シーメンス・スニツケル会社の技師ベルマン氏と共に，発電所の着工から竣工までの総指揮者であつた。

当時，学士という肩書は，社会的にその権威は強力で，あらゆる政府の事業許可制度は，学士の署名を強要していた。藤岡氏は，現場の経験もあり，実質共に当時の水力発電の権威者であつた。

その頃，各地に水力発電の計画が着目され始め，既に発足している発電所もあつた。藤岡氏は，そのどれかに関係していた。

明治30年は，日清戦争が終結して，外地から続々と凱旋部隊が帰還して，内地は至るところ戦勝の喜びが湧きかえつていた。

日露戦争の時と異つて，その感激も小さいものだが，しかし東北の一寒村ですら，その喜びはかくしきれなかつた。秋の宮からも3名の勇士を送り出していた。彼等はこの年の夏，全員論功賞をたずさえて無事内地へ帰還していた。

そういう華やかな雰囲気が，発電所建設に一層，拍車をかけたのは，いうまでもない。

雄勝郡秋の宮村（現在雄勝町）は，天平年間に，秋田市高清水の秋田城と，陸奥国多賀城の連けいを保つため，雄勝郡を設置し，雄勝城の築城をみたのがその起りである。この地には，古くから浮浪，いわゆる不良郷族が跋扈し，朝威を妨げること眼に余るものがあり次々に征服された。彼等は，自然の要がいを楯に，強力な反抗をつづけたが，天平年間にはことごとく掃蕩され消散した。朝廷軍は，ホームグランドを利した彼等のたくみなゲリラ戦に遇い，困難な進撃をつづけながら，主要道路の開通に手を染めていつた。

かくして，雄勝郡一円は，歳月の経過と共に，次第に平和な村落の形態をとゝのえていつたのである。

秋の宮概観

秋の宮は，秋田県の東南部に位し，宮城，山形両県に接している。東南に細長くのび，背梁山脈の西側に近接している関係上，地勢は一般に高峻である。

虎尾岳に源を発した役内川が，全村を縦断しており，山林地帯は全村の7割を占め，西北に向つて，背梁の支脈が，大小の起伏を連ねて役内川を包み，その両岸に盆地が点在している。

村民の職業は，農業，養蚕が大部分を占め，豊かな村の経済は，広汎な山林地帯によつて支えられていた。

明治9年に，既に人口1,388名（251戸）で，明治22年4月，町村制の実施により，中村，役内，川井の3部落を併合して秋の宮村となつた。その頃，人口は約2,000を突破していた。

山間地であるため，積雪が大で，最深積雪量は，大正7年の6.5尺である。例年初雪は，11月の中旬にあり，完全に消え去るのは4月に入つてからである。

さて，桧山発電所の建設が着手されたのは，日清戦争の勃発した，明治27年の年である。いうなれば，維新以来の海外出兵で，それも，必勝の自信に満ちていたのだから，日本の景気は，いやが上にも高騰していた。こうした華やかな社会背景のもとで，その景気の尖端をいつたのが，鉱山事業である。

古川鉱業院内銀山（雄勝町院内。現在休山）は，その当時，1日に正銀400貫を産出していたといわれ，全盛期であつた。従つて，その余力を駆つて，更に生産向上を画して水力発電の利用に着眼したのであつた。



電気事業れい明期

この頃，25年の2月には，既に，京都市が，琵琶湖の疎水を利用した80KWの蹴上発電所が完成しており，仙台市の三居沢では，綿糸紡績会社が，水車に小型発電機を連結して小規模の電力供給を行つており，更に，福島県にあつて，福島新聞を主宰していた長崎県出身の菅原道明が，文字通り心血をそゝいだ信夫郡稲坂村の天戸川発電所も，既に完成していた。これらは，すべて，電力供給事業を目的として建設されたものであつた。

桧山発電所は，日本最古の級に属するのだが，いわゆる自家用を目的としたものだけに，歴史上，影の薄い存在であつた。

古川鉱業が，院内銀山の自家用水力発電所の候補地として，秋ノ宮村桧山地域を選定するについては，勿論，藤岡氏を始め斯界の権威者達の，長期に亘る苦心の結果に他ならない。取水口として選定された川井は，背梁支脈の下腹にある小部落で，後内川を足下にのぞみ，冬は丈余の雪に軒を埋め，秋は山々の紅葉が部落を黄金色におし包んだ。山の急斜面につくられた若干の田畑は，部落民の生計を支えるには余りにも乏しかつた。しかし彼等は，長い伝統に生き抜いたこの土地を，こよなく愛している。

山なみは，川と部落をゆるやかなカーブで包み，川井と中村部落（役場所在地）を結ぶ川井橋附近で，急

そくに距離をせばめ，さながら自然の水門を思わせる。戦後も再三にわたつてダム建設の候補地として挙げられたのも，その優位な条件の故であつた。

役内川の流れは川井橋附近まで激しい早さで流れ落ち，川岸に凄まじいしぶきをあげて桧山，横堀を経て雄物川の本流に合するまで，次第にゆるやかになる。

川井橋附近の流速は，毎秒1.5m，水量は2.03/Sで，当時の発電所建設には絶好の条件であつた。

平和境に臨時駐在所

明治27年9月，いよいよ地形，流速，水量，落差など，あらゆる角度から綿密な基礎調査が開始され，29年の春，予算20万円，工期2カ年の計画で着工に移された。

1日の使用人夫は，400名～500名にのぼり，これが3交替であつた。人夫の日給は25銭であつた。普通は12銭～15銭である。米価が1升につき2銭5厘の頃であつたから，彼等が如何に優遇されていたかがわかる。

部落内各所に飯場が設けられ，各地から集つた人足達を収容した。村では，暴行傷害などの事件を予知して，県警に臨時駐在所の設置方を要請し，間もなく中年のいかめしい巡査が派遣されて来た。

その年の秋。些細な，個人の怨恨が原因で，人夫と部落民の間に，博徒のでいりそこのけの大紛争が起り2名の死者と数拾名の負傷者を出して鎮圧された。この紛争に動員された数は，およそ4，5百名に達し，一時全村を恐怖のどん底におとし入れたのであつた。

その後危惧されたほどの事件もなく，工事は進捗をみた。しかし，竣工予定の31年春になつても，やつと全工程の1/2が出来上つた程度であつた。隧道の堀さくが，予想外に困難を極めたのである。

結局，期間は2カ年延長され，明治33年4月，発電所及び鉱山電気設備の一切を含めて工事の完了を見た。

当初は，50㎾発電機3台の計画であつたが，予算の関係上1台にへらされてしまつた。

有効落差	27.3m
水路延長	3,129m
流域面積	136km²

転身の歴史

さて，33年4月，古川鉱業自家用発電所として運転を開始した桧山発電所は，大正6年2月に，

フランシスタービン　520㎾（独フオト会社製）

3相交流式　50サイクル4.00KVA 発電機1基（東芝製）

が増強され，大正8年，院内電気へ20KVの余剰電力を供給した。しかし，増強された発電機は，故障のため間もなく操作不能に落入り，その後，戦後の急激な不況の波に，たちまち鉱山の異状景気も衰えを見せ，設備の維持に困難な兆が見え始めた。翌大正9年の2月に，一切の設備を含め，価格金20万円で秋南電気株式会社に譲渡された。

秋南電気に移つたその年の10月，第1号発電機も，ようやく性能が低下し，これに替つて，

3相交流式，50サイクル300KW発電機（独シーメンス会社製）1基

が新たに購入された。

これより先，明治44年10月には猪苗代水力電気株式会社が創設され，同年12月に日橋川発電所（2,700KW）が建設され，更に翌45年2月には，会津電力による戸ノ口第1発電所が竣工していた。つまりこの頃既に，猪苗代湖日橋川水系の有力な水利条件に着眼されて次々に大発電所が完成されつつあつた。しかしこれらは，大正12年には，殆んど東京電灯に併合されてしまつた。勿論，これらの電源開発は，関東京浜地区の電力需用激増に応えるのが主眼でつたから，始めから東北地方開発のためには，何等寄与するところはなかつたのである。しかし，これらを含め，この頃既に6大都市の発展に対応した電力事業の振興には目ざましいものがあり，全国的に，この影響が蔓延していつた。

秋田県に於ても，中央，県北，県南と点在する群小電力会社の，事業拡張を企した弱肉強食の時代が現出したのは当然であつた。

大正12年，秋南電気は，県南の雄，増田水力に併合され，わが桧山発電所も，再度転身するところとなつた。

増田水力は，大日電系の秋田電気の県南進出に対抗し，羽後電力を始め，秋南，稲庭，河原田，皆瀬川各水力電気を，次々に併合，買収して，着々とその基盤を築き上げていつた，が，昭和17年国家総動員法に基く配電統制令により，これら事業上の抗争は，一切終止符をうたれ，電気事業の歴史的1段階は終つたのである。

思い出のみぞ身にはしむ

桧山発電所は，現在出力340KW。勤務員6名の小さな発電所であるが，その生立から現在に至るまでの足跡は，電気事業の生きた歴史である。

且て，モダンな近代建物と評せられた瀟洒な容姿も，今は風雪にけずられ，色あせて，当時の華やかさは，老人の失われてゆく記憶の中で，わずかに止どめられているに過ぎない。

その奥に，観光地秋ノ宮温泉境をようし，豊かな山水にかこまれた，平和なこの村落にも，やがて春がやつてくる。

時代の潮流に取り残された，孤独な老人の姿を偲ばせる，この灰緑色の建物にも，新時代に挑む，若い生命の燃えつつあることを，お伝えしておく。いずれ稿をかえて，お眼にかかることもあろう……。

最後に，五分間座談会を附記して，擱筆のことばにかえる。

（出席者）

松井芳雄（桧山G主任）工藤辰蔵（同所員）佐藤定広（同所員）菅貞治（同所員）平塚信雄（同所員）菊地国之助（水路）山形秀松（横営庶務課長）高橋繁樹（同課員）

「さあ，何でもかんでも，口から出まかせ，…（笑声）というわけにはいかないでしようが…まず思いついたままにどうぞ。」「どうでしよう。最初に苦心談といきましようか。」

「そうですね。ちようど，昭和25，6年頃でしたか。台湾蝶の発生したことがありましたね。あの時は全員あれにやられまして……。」「何しろ周囲が暗いから，みんな発電所に集つてくるんです。」

「ひどいかゆみでしたね，あれにやられると……掻けばすぐそこがかゆくなる……」

「夜もろくに寝られない。みんな眼を充血させて……それでも勤務を休むわけにはゆかない，精神力でもつてたんですね。」

「今から7，8年前は，まだ監視室がなかつたね。」

「そうだ。1日中機械の騒音の中にいた……」

「お互いに，かみつくように，しやべつたもんだ。」

「僕なんかは，家へ帰ると，父ちやんがしやべると子供がすぐ眼を覚すつて，よくいわれたもんだ。」

「習い性となつたわけですね。」（笑声）

「初代の主任は？」

「本間久次郎。経歴なんかは，はつきりしません。」

「どうです。古いということについての誇りなんかは。」

「そうですね。多少はありますね。」

「機械も1台ですし，貧弱な発電所ですが，それだけに，近代化された発電所よりも気骨は折れますね。」

「それだけに，機械への愛着は深いですよ。」

「どうです。生活上での苦痛は……」

「ここは，鉄道沿線にも近いし，今は冬でもバスが通つてますから，時代に取り残された感じは全然ありませんね。」

「発電所としては，交通の便のよいところです。」

「やはり，冬は魚類が払底しますね。」

「夏は川魚がとれますよ。」

「役内川のヤマメは美味ですよ。塩をまぶしてこんがり焼くと……」

「一度御馳走になりたいですね。」

「お酒は，御持参ねがいます。（笑声）」

「秋ノ宮というところは，どうです。」

「住みよいところですね。人の心が和やかです。」

「発電所というと，何かかく絶された機関のようですが，これで仲々人との接触は多いですよ。」

「電灯の故障修理なんかもよく依頼されたりしますが，私達で出来ることは，なるべく協力してあげています。やはり，電気事業という太い線でつながつてますから，私達でも常にお客様のサービスということを心がけています。」

「最近は，発電所の仕事の範囲も広くなりましたから，大衆の協力の必要を，身にしみて感じます。」

「では，この辺で。」　（横手営業所庶務課）

大所川雑感

滝田清次郎



糸魚川市内焼山の噴煙

東北電力の供給区域と言えば，北は青森南は新潟，延々として誠に広いが，同じ新潟県でも更に南の端で，富山と長野の国境に接する処に糸魚川市と言う城下町がある。

この町の面積は463.23平方キロメートル，その広さにおいては吾が国市政施行地で恐らく第3位とは下らないと云うことであり，その上人口僅かに41,632人で，一人当りの面積は，人口過剰な日本としては実に余裕綽々である。

更に又この町は国鉄の駅が7つもあつて，その上湯源の異る温泉が5カ所，発電所10カ所，国立公園2カ所，殊に特筆大書すべきことは焼山火山が市の一角にあつて，その噴煙は市の上空になびいていることで，一大奇観とも言うべきである。

地下資源では瑪瑙，水晶，翡翠（ヒスイ），ざくろ石，けい石硝石，大理石，蛇紋岩，石灰石，石炭などがある。石灰石の埋蔵量は実に500億噸を数え，年間200万噸産出しても，優に2万5千年はかゝると言うから大した宝である。

斯く言う糸魚川市中にあつて，しかも国鉄糸魚川駅から更に姫川に添うて南西に25キロ，北アルプスの最北の果て，海抜2,933メートルの白馬岳の麓こそ吾等の建設所の所在地大所部落なのであるが，作業現場の末端は更にこゝから12キロもあるのである。

姫川起源について云うならば，少しく横道にそれるが，そもそもこの郡内には七川七谷があり，姫川を以て最大とする。そして，その名姫川とは至つてやさしく聞えるが実はそんなものではなく時々暴れるので土地の人の悪口では荒川とも言つている。

所がこの姫川の起源，即ち古事来歴を聞いて見ると，その昔糸魚川の清崎城のお姫様が一介の漁夫に恋してやるせなき思いを胸にこめて，雲上の月日を送つていたのであるが，勿論雲上の姫と一介の漁夫ではいかに愛し合つたとは言え当時の掟としては許される筈のものではなく，遂いに燃えるが如き恋の火をこの川に投じて果てたので，その名があるのだと言う。従つてこの川に落ちれば多くの場合女は助かるが，男は助からないと言うのだから，姫は悲恋の鬼神と化して今も尚川のどこかに霊魂としてさまよつているらしい。

また，この川のほとりに袴岩と言うのがある。面積約100平方メートル高さ約10メートル位いであるが，一応有名なる岩として市販の5万分の1の図面にちやんと示してある。このいわれを聞くと面白い。昔大国主の尊が，奥さんの奴奈川姫の手を引いてこの姫川を渡られた。勿論大昔のことであるから，橋などがなかつたらしく，自ら姫の手を引いて水の中を入つて渡られた時，尊は着物の裾を高くまくられたので別にぬれなかつたが，姫は稍まくり方が足りなかつたと見えて大部ぬれたものと思われる。そこで尊は姫の袴をぬがせてしばしの間この岩に掛けて乾かされたので，その名があると言うが，このいわれはあまりつまびらかでないため他にもつともらしい付け話があるが，稍下品になるから敢てそれを書かないことにしよう。

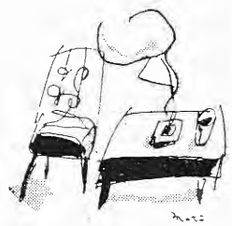
それで話は本筋に戻るが，この姫川支流大所川添いには部落と言えば，大所部落だけ，しかもその戸数は僅かに24戸で，冬は丈余の雪にとざされて住民はもつぱら冬眠と言つた生活であり，故に現場作業は全面的にストップとなつてしまう。

さて，この山麓は風光明媚，所謂山高く岩石起伏して水殊の外美しく，冬はスキー春は芽吹き夏ともなれば白馬登山の若き男女の群でそのいでたちは目にしみて麗しくかつにぎやかである。秋には全山もみぢの錦織りなして，時には断崖に熊とカモシカの喰うか喰われるかの激闘（げきとう）も眼前にキヤツチすることがあり，その情景豈それ悲壮なりけんと言うべきである。

また，この山系には貝類，さんご草，海百合，鮮虫などの海底の化石が多く，それから察するとたしかに昔海底であつたものが周囲の土圧によつて隆起したものと解される。私は昨年電化工業青海工場の谷口副工場長と雑談の際，たまたまこのことに言及した処，氏はこれについて次のように説明してくれた。その道の学者の言によると，これ等の化石は今から，2億年位以前に海中に棲息していたものである。そして更につけ加えて，僕はこの化石の年代を考えるといつも人の一生のいかに短かきことよと言いたくなると同時に，時間と言うことの実に大切さを感ずるのですよと言つて居られた。

私は時々この言葉を思い浮べてこの悠久の時間に比べて，短かい瞬間とも言うべき自分の生涯に幾多の計画をたてその中からも成可く多く実行出来るように時間を大切にしたいと感ずる。この点ではいかにも氏と同感である。　（大所川建設所）

囲碁漫談



佐藤鉄歩

7世紀の初め頃，霊亀2年というから，今から，1,200年以上前のことである。

遣唐使吉備真備が渡航して，唐朝に初見参した時に，唐朝の賢臣共が，寄つてたかつて東海の蓬萊島から来たこの珍客を，面白半分に色々試験した。真備はその時24才の若者だつたが，生来の豊かな才能を以てこれに応じ，日本代表たる面目を遺憾なく発揮して，並居る人々を驚かした。

遣唐使と云つても，主目的は先進国に教えを請いに行つたのだから，今でいう留学生だつたに違いない。遂に入学試験問題として，碁盤が持出された。唐朝の有数な碁の打手と対等以上に打てれば入学許可ということになつたのである。

真備は唐土に碁という遊び事があると話には聞いていたが，直面するのは初めてゞある。この旨を先方に申し入れると，さもあらんと早速碁のルールを説明し，碁の原理は斯くも簡単なものである，がその展開する変化の奥深さは幽玄なものであつて，未だこれをきわめた者がない，汝静かに思いを巡らして，361点あらゆる自由に打て，との御詫宣。

真備は途方にくれたが，仕様ことなく盤面に向つて端座した。

こゝで真備はお客様だというので，白を持たされたというのである。併し碁は元，上位黒，下位白であつたともいわれているから，どの意味の白か，その辺の所は審らかでない。

唐の選手は，第1着を天元に打下した。多分に人をバカにした手だ。これを見て真備はその黒石の上に白石を重ねて置いた。唐人共は驚いて，左様のことは碁法に反する，チヤンチヨン，パアパアと，やかましくなつた。

真備は落付き払つて，唐の天子が真中に出て来るなら，日本の天子も真中を譲るわけに行かないと主張して，このゲームを，ドロンゲームに持込もうの腹構え。

これを看破して，チヤン君は遂に謝つて，第1着を左手前星下に置直した。置き直しは即ち「待つた」なり，「待つた」は即ち1局の敗けということになるのは，只今説明されたルールに依つて明らかなわけだ

が，真備は日本国の襟度を示してこれに応じ，対局が進められた。

所がこゝに，神国日本のために奇跡が起つた。天井からクモが1匹下りて来て，白の打つ点をいちいち教示したというのである。これは唐人共には見えないが，真備の目にだけ見えたのである。日本留学生の大先輩，遣随使，小野妹子の霊があらわれて，後輩吉備真備を教え導いたのだということになつている。

唐の選手と，小野妹子の霊の対局は，双方妙手の連続で，結局ジゴに終つたという。

所が碁の方式は現在のものと違つて，盤上にある石数で勝敗をきめたものだといわれるが，唐人の1目敗けを救わんがため，傍でみて居たその妻君が，白石を1箇飲み下していたのを，賢臣の1人が天眼鏡を持出してこれを見破り，真備の1目勝ときまつて，目出度く入学を許されたということである。

囲碁が日本へ伝来したのは，この吉備大臣が唐土から導入したということになつているようである。併し，それ以前にも遣随使などの中に，習え覚えて帰つた者があると考えるのが自然であろうし，記録にも散見されるそうである。事のおこりは，大概あいまい模糊たるものである。

囲碁の初まりは，堯とも云い，舜とも云われるが，そのどちらかが，その子を教練するために考案したものと云われ，或いはそれよりもはるかに遠く遡り，印度で創始されたとも云われている。

真相はわからない。建国のことがわからないのと同じことであろう。

印度あたりで起つたものが，中国で改良され，更に日本に伝来してから色々補正されて現在のものになつたものと考えて，大体間違いないと思う。

日本で囲碁の技倆の飛躍的発展をみたのは何といつても，第1世本因坊算砂の出現からであろう。信長，秀吉の碁師であつた京都寂光院の僧，日海が家康から幕府の碁所を預けられ，本因坊坊算と名乗らされたのが，本因坊のおこりである。

囲碁や本因坊の歴史について，今こゝに受売しようというのではない，ことの序でに触れておくまでゞある。

碁は頗ぶる簡単明瞭なルールで成りたち，その変化が無限の奥行を持つてる所に醍醐味がある。横聖本因坊道策が，中国から伝来の碁を，現在の形式のものに改めて固定されたものといわれ，今では元祖の印度も中国も，日本には全然歯が立たない。

数十手先の玄妙な変化を，正確に読みきるプロ高段者の頭脳は，たとえそれが，碁だけに通用する才能であるにしても，驚異に値するものであろう。

元来碁には，人間に好まれる普遍性があると思う。ドイツ，アメリカ，イギリスあたりに追々に同好の士が殖えていると聞く。現にあちら帰りの人の話に，西欧に行つて大歓待を受けて，何のことかといぶかつていたら日本人なら碁を習いたいためと解つて，碁を知らないその人は，汗をかいたと聞かされたことがある。

囲碁が全世界に拡がつて行くのは時日の問題であろう。

多忙な仕事の，あい間の打碁は，疲れた頭の休養になる。1時何もかも忘れて，碁3昧に入ることは，丁度，座禅で無念無想の境地に倒達するために，公案を考えること，坊さんが木魚を叩くことなど，同じ理あいであろう。

戦後，国内は特に囲碁が隆盛を極めている。原爆だの，人工衛星だの，ミサイルだのと，ノイローゼに悩む頭を休めるには，適切なレクリエーションとなるせいではないだろうか。

この際，勿論上手下手は問題でない。

あのばかが本因坊に2目置き，という川柳はあまねく知れ渡つている。碁や将碁がうまいから，あいつは頭が好いんだということにはならないようである。人の才能には，それぞれ，向きむきがあるということを，端的にいゝ表わした名句であろう。

碁の内容が，その人の性格を表わすとも云われるが，これも必ずしもそうでないと思う。あわて者が沈着な手を打ち，落付いた人が飛んでもない筋違いを打つ例がよくあり，細心の人が荒つぽい戦を仕掛け，荒い性質の人が細心の碁を打つ例がよくある。

只こゝに，対局態度には確かに性格があらわれる。勝敗にこだわり，負けたらぽつぽとのぼせ上るなどさらにある。また素人同志では，そういう手合が1番面白い。

対局中，茶わんの中にハマ石を入れたり，煙草の火のついた方をくわえたり，目も顔も真赤にして，ふうんふうんとうなつている人がよくある，それ位なら碁など打たねばよさそうなものだが，その苦しみの中に楽しみがあるので，登山家が登山の辛労を楽しみとするのと相通ずるものがあるのであろう。

斯な人の家に行つて碁を打つたとする。旗色が悪くなつてくると，思い出したようにお茶をがぶりと飲んで，大声で遠くの奥さんにどなりつける。おい，こんなぬるいお茶飲めるかつ。熱いうちに飲まなかつたのは誰でしよう。

こんな時は，ズボンに火孔をあけたり，畳を焦がしたり，茶わんを引くり返したりせぬように注意しなければならないのだが，2人共夢中の場合は，後で奥さんこそ，からい目を見るであろう。

口三味線がまた面白い，相手が1石打つ毎にあつそれが先であつたか，やるやると聞いたが，やるもんだね，やられたつ，それで負けにした，などゝぼやき乍ら，腹の中ではちやんと勝算を立てゝいる権謀型。そんなことで驚くか何だ，そんつらな石，そんな手に乗るもんか，そんなの逃げてどうするんだ，などゝいう恫喝型は案外勝算がないものだ。2目の頭は叩くべし，のぞきに穴があばかはない，その手は桑名の焼はまぐり，バカをみの年，はゝあの3年忌などゝ，矢鱈に諺か格言のようなものをしやべり捲くる格言型。斯なのは形勢のよい時に多く口を突いて出る。また，むつつり型や鼻唄型など，傍で見ていると仲々面白い見ものである。

何でも思う存分のことを言い合える相手と打つのが，1番楽しいと思う。碁の楽しみは，上手下手は2の次だ。

下手の横好きという諺があるかと思えば，好きこそ物の上手なれというのがある。どちらも1面の真理を穿つたもので，総じて世の中はそんなものであろう。

石を沢山左手に握り，自分の番には右手でまた碁ケから石を数箇取り出し，1石打つて，残りはまた左手に追加するという癖の人がある。

この人は大概打つ前に石を持つた手で盤中あちこちと，地図を画くような手付で探し巡り，漸く置いたと思つたら直ぐまたとつて考え直す，いわゆる地図かき型というのがある。手こつきがしやくで負けたとへぼが言い。という川柳はこの辺の人に負かされた口惜しさを言つたものであろう。

或るお役所の課長さん，無類に碁が好きでよく友人や課内の人達を我家へ呼んで碁を打つ。対局中，主人がそばへ立つたあと，奥さんがお茶を入換えに来て必ず客にささやく。どうぞあなた勝たないようにして下さい。うちが負けたら後でわたしが大へんです，というのだそうである。この課長さん，外で負けても腹の立つのは同じことだろうが，外ではあたり所がないので我慢してるのであろう。御宅へ伺つた者でないと，その辺の呼吸はわからない。

所がふゝゝと笑つて，切なる奥さんの願いを容れない同僚がある。奥さんはその度に後で不気嫌な主人からひどい御難を被るのだそうである。ねえあなた，碁をお打ちになるんでしたら，AさんかBさんが好いわね，おとなしくつて，と敗けないCさんは暗に拒否されるということである。

同じ段級でも地方によつて多少の差はあるが，プロとアマの開きは3段級以上に及ぶようである。戦後特にアマの段級が甘くなつた。元の3級は田舎初段と言つたものだが，今ではそれが立派な初段で通る。

段級は地域による差ばかりでなく，概しておえらい人達は，段級の上に名誉という字がつく場合が多く，たとえば名誉3段と言つても実力は2段程もないという実情がよく見受けられる。

普通の人なら，有段者につけば誰でも田舎初段，今の初段にはなれる。なお，努力を続ければ今の3段，昔の初段にはなれる。それ以上昇段するには，努力の他に多少生来の碁才がなければならないと聞かされている。

慾にはきりがないもので，7級位の人は，せめて早く5級位に，5級位の人は早く3級位に，3級にもなれば初段になり度いと，これは誰でも望む所であろ

う，これでこそ碁は面白いのである。

上達するには矢張り努力が必要である。碁の教本を読んで碁盤に石を並べて研さんを積み，わからぬ所は先生にきくことだ。何だあたり前のことでないか。正にその通り上達の早道などあるものでない。併し，これは時間の余裕のない人には出来ないことだ。1番楽で簡単な上達法は，有段者に番数多く打つてもらつて，手直しをしてもらうことだということをこゝに1括受売りしておく。

併し，楽しめれば好いのであつて，上達を度外視するという行き方もまたよいではないか。

碁は打つばかりでない，人の打碁を見ているのも，また楽しいものだ。打つてる同志も，見物人があつた方が張り合いがある。

所がこの見物人が，またおとなしくないのが居る。こゝ1番という大事な勝負なら，今は皆エチケットを心得ていて，口出しをする人は殆んどないが，下手同志の楽しみ碁は，弥次が飛ぶ助言が出る。おしまいに対局者が丘に上つて見物人同志の碁になつてしまつて，何が何だかわからなくなつてしまつた。なんていうことがある。

昔から助言は固く禁じられていて，この禁を犯した者は，打首になつても切捨御免だつたといわれている。碁盤の裏の凹みは，助言者の首を乗せるために出来ているともいわれている。

助言にも色々ある。

昔，幕府の碁所の争碁があつた頃，本因坊丈和だか丈知だか忘れたが，自分が隠居して弟子を出場させて，その碁を側でみていると，全般の形勢は悪くなかつたのが，打進むにつれて，味方の1団に死形が生じた。

弟子は長考を重ねたが，どうしても活がない。所が師が岡目で読んでみると只，この1手という妙着がある。

弟子は苦吟していたが，どうも投了しそうな様子に見える。そこへ師の所に夕飯の知らせが来た。こゝで師は，うん，この碁はまだまだ長くかゝるから，ゆつくり飯でも食べてまた見に来ようといつて，ゆつくり立上つた。

弟子は，もう終りと観念しかけた所なのでこの石には何かあるぞと悟り，またも沈思を重ねて漸くその妙着を発見したということである。これは極めて巧妙な，矢張り助言というものであろう。

へた同志の打碁を，少しうわ手が側でみていて，あつと1声言つたばかりに，今置いたばかりの石を取り戻して，また考えると言つた場面はよく見受ける図である。

プロともなれば，勿論絶対に「待つた」なし，置いた石から1旦手を放せば，金輪際，置直しをしようとしないし，またそれは許されもしない。アマの碁は概ねそれ程厳格ではない。1旦手を放しても，相手が打つまでの間には，置直すことが黙認されている形である。

アマの碁では，相手が打つてからの待つた待たぬが問題の種になり，騒動を惹起する例が少くない。落語にあるような，待つた待たぬで，けんか別れして，当座はお互い物も言わないが，碁敵は憎さも憎しなつかしゝで，また間もなく撚りが戻つてしまうなど，御愛嬌あるのはいゝが，深刻なのになると，それが因で，殺傷したり，身を亡ぼす例もないではない。由井正雪の旗揚げに，短気な丸橋忠弥が碁の争いから，破綻を来したことは，真疑はとにかく，有名な話である。

賭碁というのがある。

碁は本来底知れぬ深味のために，それ自体に大きい魅力があるので，麻雀のように賭けなくても，只打つたけで充分楽しめるのだが，更らに興を添えるために煙草1箇位賭けるあたりまでは御愛嬌というものであろう。

世の中には，賭碁が商売または半商売の者もある。温泉宿あたりで，3,4級の天狗連を相手に，半プロの4,5段が，うまく互先で打分け位にあしらつておいて，おしまいに賭碁でひどい目に会わしたという話など聞く。

碁盤の寸法は，幕府の碁所時代にきめられたのが，縦1尺4寸8分，横1尺3寸8分，厚3寸8分となつているそうである。

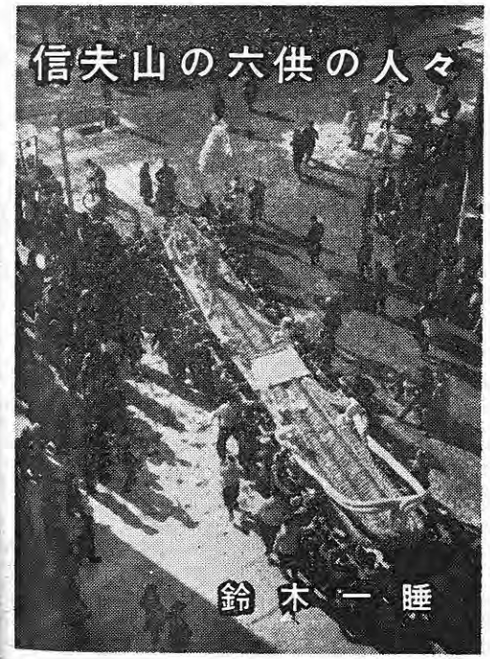
用材はカヤが最上，イチヨウ，桂，トチなどがこれに次ぐ。カヤの最上は直線の柾目が盤面の1目の中に15～16筋通つているものだそうだが，このようなものは立木としては殆ど現存しないと言われている。

石は白は日向産の蛤が最上で，4分位から薄い程，等級が下る。黒は紀州産の那智黒といわれているが，他所のスレートも代用される。

カヤの柾目の盤に4分の石など，我々庶民には無縁のものだが，せめて桂の4寸盤に，平べつたい，安定の好い石か，練物でも好いから，家庭に1組備えたいものである。

昼飯を大急ぎで済ませて，さあ1丁来いと，憎さも憎しなつかしい友と連れ立つて，娯楽室に突入する。仕事で疲れた頭を，好きな碁で洗滌しようというのである。1時間足らずの間に，3局も打つて，けろりとして居る。などは好適なレクリエーションであろう。

仙人が2人で山中で碁を打つた所，所持の斧の柄が腐つても，まだ勝負がつかず打続けて居たという。碁はそれ程深く考えるべきものかも知れないが，現世では出来ない相談だ。　　（2月下旬記）



旧正月の14日夜より15日朝にかけて，福島市内の歓楽街は，人の流れと渦の，さまざまな現象を呈する。勿論12の映画館は，夜通し興行で，然も，すし詰の盛況であり，チヤンジヤラジヤラも亦，立錐の地もない程，指の運動を続ける人，人，人である。これは信夫三山（羽黒山，湯殿山，月山）の暁参りの善男善女が，かもし出す雰囲気である。人の流れは，街から信夫山頂の羽黒神社までひしめき，その有様は，けだし壮観であるが，若い者にとつてこの暁参りは，ロマンスを生むという非常な楽しみを持つている。

千載集　巻11　恋歌　二条院皇后宮常陸

いかにせむ信夫の山の下紅葉しぐるるままに色のまさるを

新勅撰集　巻15　恋歌　業平朝臣

みちのくに罷りて女に遣しける

忍ぶ山しのびてかよふ道もがな人のこころのおくも見るべく

続後撰集　巻11　恋歌　皇太后宮大夫俊成女

いかにせむ忍の山に道絶えて思ひ入れども露のふかきを

続古今集　巻12　恋歌　前中納言定家

恋ひ佗びぬ心のおくの忍ぶ山露もしぐれも色にみせじと

新後撰集　巻11　恋歌　兵部卿有教

我ならぬしのぶの山の松の葉も年へて色にいづる物かは

新拾遺集　巻11　恋歌　兼好法師

忍ぶ山またことかたに道もがなふりぬる跡は人もこそ知れ

この外，それぞれの家集に，信夫山を詠つた恋歌は沢山あるし，四季折折りの歌も数多くある。とに角，暁参りのロマンスは，『押す』『押す』『押す』の一手きりないようである。信夫山には，いろいろの古事来歴があるが，この羽黒神社に六供というのがある。今日はこの六供を中心にして，若干紹介してみたい。

（参考資料　西坂茂著　信夫山）

六供（ろつく）とは，六供奉（くぶ）の略称で，羽黒権現（イシヒメの命，ヌナクラフトタマシキの命）が，奥州下向の際供奉して来た人達と伝えられ，明治以前までは，免租，苗字ご免で，格式があり，それぞれ摂社一宮づゝをも

ち，祭典には，神輿を守護し又音楽，神舞をする。普通は社務を司つた。この六供の人達の守り神は次の通りである。

渡辺蔵人（後胤同苗虎吉）正八幡宮
小野掃部（　〃　市助）牛頭天王
西坂内匠（　〃　芳吉）一宮明神
加藤大学（　〃　伝）三宝荒神
菅野主計（　〃　重義）山王権現
西坂隼人（　〃　己作）天神宮

以上であるが，この六供の間に祭礼での座列が定められている。そして，それぞれ役があつて，職務を行つたと言い，規定により羽黒権現の宮司役もやつたと言うが，今は神社庁所管となつている。然し，六供の持宮は，それぞれ祭主であることに変りはない。羽黒神社境内と参道には次のようなお宮がある。

八幡宮　赤の鳥居下，羽山。薬王寺と羽黒山参道の分岐点の所にある。六供筆頭渡辺蔵人の持宮で，祭日8月15日。

や八幡　道の右側，観音堂の向いにある。八八幡か，矢八幡か，はつきりしていない。今曳地氏の持宮となつている。

西坂稲荷（猫稲荷）観音堂の上，宮人西坂氏の持宮，享和2年9月伏見稲荷の本社より正一位稲荷大明神の位記を授けられ，古来より猫稲荷と称し，養蚕の守護神である。民間伝承に話を賑わしている。御山のゴンボー狐が羽黒山に封ぜられたのが当社である。

八坂神社　旧神号は牛頭天王と称し，スサノオの命を祭つてある。参道の左側に菅谷不動，金比羅宮と並んでいる。六供の小野掃部の持宮で祭日は6月14日。

三方神社　旧神号を三宝荒神と称し，オクツヒコの命，ニワビムスビの命，オクツヒメの命を祭つてある。参道の右側にある。これは六供の加藤大学の持宮。雛の絵馬が多く奉納されているのは，風邪の神の信仰があるためである。祭日10月18日。

日吉神社　旧神号，山王権現，オオヤマサクの命，オオモノヌシの命を祭る。三宝荒神のすぐ上にある。六供菅野主計の持宮である。祭日3月15日。

稲荷神社　旧神号を一宮明神と言い，山王権現に対し左側にある。アマノタジカラオの命，トヨウケヒメ命，大宮女命を祭る。六供西坂内匠の持宮である。祭日9月9日。

大杉稲荷　元寂光寺の東の大杉の本にあつたので大杉と称したのかも知れない。

小牛田山神　山王権現の上，大杉の根元にある小さな宮，安産の神として婦人の信仰の的になつている。

足尾神社　境内の左側にある。羽黒神社境内山社中，最も信仰の厚い神社である。安政年間当山の画家西坂楳山が伊勢参拝の折，奉遷したと言う。

この足尾神社には，日本一の大草鞋が奉納される。この大草鞋は，市観光協会，商工会議所，映画館等より約500万円の寄附を集めて，当年の代表部落が作製に当り毎年奉納されるものである。

道祖神　俗に言うドーロクジンサマである。大草鞋の下る足尾神社の傍にある。自然石，人工石によるもの，木で造つたもの等奉納される。以前は注連縄をはり，大小多数あつたが，明治の淫祠廃棄の際その筋よりの達で山中に埋没してしまつたが，いつの間にか，再び奉納されるようになつた。原始宗教として今にも，豊作，商売繁昌，下の病の平癒を祈願し，旅の神として信仰されている。この道祖神が，こゝにあるためか，羽黒山を男体と言つている。（羽山を女体と言つて女陰石が林の中にある。）

穴薬師　道祖神の傍にあり，最近木造のお宮が倒壊してしまつたが，穴のあいている石等が沢山奉納されている。耳がきこえるようになると言う凝似信仰からであろう。

産荒神　境内の後右より2つ目がそれで，小さな石宮である。宮人曳地氏の持宮である。

天神社　産荒神の石の宮で六供西坂隼人の持宮で，もと赤鳥居の右側にあつて一間四方流造りの木造であつたが，現在のようになつている。

こゝで少し触れて置かなくてはならないのが宮人のことで，こゝには七宮人があつて，羽黒，黒沼両神社の氏子であつた。これら宮人の中で後に宮を持つたのが，

西坂右近（後胤同苗五月）西坂稲荷
曳地　氏（後胤なし　　）産荒神

以下5名で，これらの人達を部落の七宮人と呼んでいる。この六供七宮人の集団が，即ち信夫山部落の本となり，現在山上に17戸，山麓に77戸あつて，それぞれ農業を経営している。山上の部落には，信夫山の柚子と言つて，代々柚子を植林し，今では400～500本の柚子の木が屋敷一帯にあつて，重要な収入源となつていることは，言う迄もないことである。神無月に，この辺を歩けば，柚子の黄が，吾々の眼を楽しませて呉れる。

この信夫山に，延長8KMの観光道路が建設されており，33年度工事予定の600Mが完了すれば，眺望絶景のドライブコースとなる訳である。今，六供の人々は，先祖伝来の屋敷の一部を切開き，羽黒神社参道附近の道路建設に協力している。

もう椿も，梅も満開で，桜の頃ともなれば，百鳥麗らかに春の曲を奏で又とない理想境を迎えることになるのである。

この羽黒神社より東方約500M，標高268M附近に，東洋で初めの試みと言う，否アメリカ，ソビエトに次ぐ大陽光電池装置である我が社の研究基地が誕生しつゝある。これが完成すれば，ジープに装置されていた20W移動無線機の必要もなくなり，0.5Wの小型無線装置で行動範囲30Kが充分となるので，バイクに取付け機動化のスピードアツプがなされるようになる。つまり信夫山には日本一の大草鞋があり，東洋一を誇る太陽光電池装置が生れると言うことになれば，とりもなほさず，日本一の信夫山であり，東洋の名山になる訳であると思う。信夫山の六供の人々は天狗のように鼻を高くすることであろう。（福島支店）

電話あれこれ



古関怜治

電話ボツクスの中で1人の男が受話機を耳に当てゝ何やらわめいていた。人の話を立聞きするのは悪いと思いつゝも耳に入つてくるんだから何とも仕様がない。聞いていた。

「あんたは自分でばつかり喋つてるが，ちつとは俺の云うことも聞いてみな」

「……」

「あんたは耳持つてないのかい。尤も耳なくては電話かけられねえが」

「……」

「全く，あんたも強情だね，俺が電話かけんだから邪魔しないでくれよ」

「一体何べん云つたら分んだい」

「……」

それから暫くその男は受話機を耳に当てゝいたが，やがて何か納得したらしく，

「なあんだ，これはラジオだ」

と云つてボツクスを出ていつた。好奇にかられて私もボツクスに入つて受話機をあげてみたら，

「只今，故障中ですから御使用できません」

という女の声が聞えてきた。その声が，ある間隔をおいて繰り返していた。私は

「ハヽアー」

と思つた。判つた。この電話は故障中なのである。

電々公社が故障の電話でかけられてはとサービス精神を発揮して，テープレコーダーを装置しておいてくれたんである。最前の男は，テープレコーダーなる代物を知らなかつたのであろう。或いは自動の公衆電話を始めて掛けたのかも知れない。

文化の発達に伴つて，我々が日常使ういろいろな物は益々便利になつて来た。だが，どんな便利な物でもその使い方を知らなければ，これ程不便な代物はないものである。もうかれこれ10年も前，私が高校生の頃，修学旅行でのことである。

おのぼりさんの例に洩れず，最終コースは東京見物ということになつた。その東京で，電話をかけなければならなくなつた。その当時，私たちの市は電話といえば，あの壁にかけてある磁石式だつたから，既に自動式になつていた東京の電話は一体，どうしてかけていゝのやらさつぱりわからない。友達2,3人とワイワイガヤガヤ騒ぎながら，どうやら，ダイヤルをまわすのだということがわかつた。次に，受話機を上げてまわせばいゝものを，今までの磁石式の観念があるから，受話機を置いたまゝ一生けん命ダイヤルを廻した。これでは通じないのが当り前で，通じたらそれこそ不思議なのに

「自動電話とは故障が多いもんである」

と結論して電話ボツクスを出た。知らないとはざつとこんなものである。

電話のテープレコーダの件を同僚に話したら，このテープレコーダーは色々な面で活躍しているらしい。

東京で，気象台へ，明日の天気を問い合わせたら，ウグイス嬢の天気予報係が出て，「明日の天気は……」と東京地方の天気予報が始つた。一くさり終ると，暫く間を置いて，又同じことを繰り返す。最初はいさゝかギヨツとしたらしいが，すぐ「ハヽアン，例のテープレコーダーだなと合点して，今度はその声に魅せられて30分も黙つて聞いていたと，同僚が笑いながら話してくれた。

全く，電話も便利になつた。外国では，不在中にかゝつてきた電話をレコーデイングするものや百科辞典的な質問にも即座に答えてくれるのもあるとか。日本の電話もそうなつたら本当に便利だろうと思う。そこまで行かずとも，せめて，これだけはと思うものに，話中音がある。耳障りなブザー音を聴くと，掛け直すのが憶劫になる。もし，あのブザー音がテープレコーダーか何かにウグイスの声が吹込んであつたらいゝなあと，話中音をきゝながらふと考えた。そうすることが電話機のメカニズムを益々複雑なものにして行くであろうが，呼出しや何かのときにひゞいてくる心地よいオルゴールの響きに較べ，何と，無粋な重い話中音は本当に気持がイライラして嫌になる。

3月2日，NHK第2，午後6時半の映画の時間に，珍らしく邦画の解説をやつていた。岩波の記録映画，「遭難」である。谷川岳での遭難事故を記録して行つた映画らしい。映画の解説をきゝ乍ら，ふと又，考えた。

大体，山で遭難するというのは，連絡が途絶した場合に多い。船が海上で遭難したときに発信するSOS信号を，山に登る人たちも不慮の事態に直面したときに発信できる携帯電話を持つて行くようにしたら，昨今の遭難事故は殆んど防止できるであろう。

携帯電話そのものは，第2次大戦で，連合軍あたりが，盛んに使つたし，戦後の日本市場にも出廻つている。だが，山へ登るのには重すぎたり，大きすぎたり，第一，値段も相当高値であるからおいそれとは買う訳には行かない。腰のポケツトに入る位の小型で，軽量で，信号ができるだけ遠くへとゞくものが安く手に入るようになつたらと考える。

しかし，一般の電話は便利にはなつた。あんまり便利すぎて困ることもある。会社の保安電話でもそうだ。数年前までは声音よりもノイズの方が大きくて，自分に不利な要件は「電話がきこえない」といゝ訳もできたし，急ぐ仕事も2～3日延ばすこともできた。それが，最近の保安電話は感度，音質，共に素ばらしい。また，それだけに云い逃れも，かつてのように簡単ではなくなつた。それにしても，思い出されるのは電話が漸く実用に入つた頃の話である。

ある田舎で，老婆が電話線に一生けん命，小包をぶらさげていようとしていた。通りかゝつた人が，ふしぎに思つて尋ねた。

「おばあさん，何をなさつているんだね」

「いやね，都さいる息子に荷物送つてやるべえと思つてね。近頃できた電話ちゆうものは，声がすぐとゞくんだつちうから，荷物も郵便で送るより，電話で送つた方が，なんぼか早かんべえと考えたゞ」

（福島支店）



北上川の河口港石巻へ来て，もう半年過ぎた。山と田圃に育つた者にとつて，港の風景と云うものは，また違つた面白さのあるものだ。河口港だから，立派な港湾とは比較にならぬかも知れぬが，秋刀魚の最盛期に入港して来る漁船が，60隻も100隻も並ぶと，正に盛観である。黒いゴム一色に身を包んだ漁夫が，掛声と共に，銀鱗の秋刀魚を，水揚げする情景は，秋刀魚の鮮度も，さること乍ら，漁夫達のピチピチした動作も，かがやくばかりである。陸の方は陸の方で，箱に氷詰めするもの，トラツクにスコツプでバラ積みする秋刀魚，トラックからこぼれる秋刀魚を，バケツに拾う老婆，何もかもタルミのない流れ作業を，見ているようで，まことに満ち足りた景である。バケツに拾つた秋刀魚は，我々の家庭に売りに来るのである。正に濡手に泡，とはこのことであろう。原価なしの販売だから。

漁港に住んで居ると，魚が新鮮で良いだろう，と云われる。その通りで，山や田圃で喰う魚より，港で喰う方がうまいことに間違いないが，また反面に，港であることの矛盾もある。秋刀魚期になれば秋刀魚オンリー，不漁で漁船の入港がないと，冷凍ものゝ鯨と来る。魚の種類が固定して，あれこれと云うわけにゆかぬ。寒ぶりでも喰いたいと思つても，神奈川県の方の魚なんて，絶対に入つて来ない。近海魚だけである。どこそこの鯵が喰いたいなんて云つても駄目。これは港の住民の悲哀である。まあ然し，石巻などは金華山沖と松島湾を控えて居るから，鮪もあるし，鮑やうにそしてほやと貝類に恵まれている。ひらめ，かれい，根魚（あいなめ）の宝庫であるし，魚種は多い方であろう。これが特定の魚しか取れぬ港であれば，それだけが魚と云うことになるから，案外，魚に恵まれぬとも，云えるのである。

11月の秋刀魚期が過ぎると，漁閑期に入る。近海魚も殆ど駄目になる。船主の頭の痛い時期で，3月末迄の喰いつなぎに苦心する。船主の目算に依つて，南と北に出漁する。北洋の鱈である。50噸から，せいぜい100噸位の船に，15,6人から20人位乗り込んで，カムチヤツカ近く迄出漁するのである。

南は，東支那海の季ライン方面の鯖，サイパン，トラツク，パラオ方面の鮪，鰹漁に生命を掛けるのである。出掛ける漁夫も，残される家族も，出航の別離の時は，必死の面持である。暮れも正月もない。吹雪の桟橋に，大漁旗をなびかせて，家族の人々とテープを握る風景は，見て居ても息苦しく凄絶である。

軍艦マーチを拡声機から，桟橋へ残して，出航してゆく漁船の漁夫も，千切れたテープを握る家族の人々の眼にも，涙が滲んで居る。

注連飾檣になびかせ出航す
山雀を飼う漁夫艫に炊ぎおり
冬麗の唄ながれ来て出船なり

漁夫かへる凍鱈苞に下げしのみ
上げ潮の暮雪に浮標灯りけり

金華山はあまりにも有名であり，当社としても，牡鹿半島の突端と金華山を結ぶ架空配電線の海峡横断工事に，ヘリコプターを使用したことに依り，名物がまた一つ増えた感がある。最初は，船でナイロンロープを曳く計画であつたが，請負業者の要請で，鉄塔と鉄塔の８百米余の海峡を，日ペリのヘリコプターに依つて架線に成功したわけである。

金華山には，野生の鹿が5,6百頭居るらしい。猿も居る。美しい樹木の島で，天然の雄大な庭園を見るようである。特にモミの大樹は，見事なもので，根廻り15,6尺のモミの樹が，亭々と空へ伸びて居る。あの儘，クリスマスツリーにしたらさぞ見事だろうと思つたことであつた。金華山へ詣る人は，大体石巻か女川から船で直行するので，牡鹿半島を知る人は，宮城県の人々以外は，あまり知られて居ない。県立公園に指定されて居るが，鮎川迄の曲折に富んだ，半島と海の織りなす風景は，なかなか得難い美しさだ。半島の１週道路とホテル設備でも出来れば，将来は国立公園として恥かしくない処となろう。

支倉六右門常長が，政宗の命を受けて，秘かに出航した月の浦は，前方に小島を置いて，静かに美しい湾である。牡鹿半島の道の屈折の多いのも有名で，３百何回か急回転する道路である。車に乗つて居ても，海の方は見たいし，鮎川へ着くと，首の根ツこが痛くなる。半島に並行して田代島，網地島の２つが見える。伊達藩の罪人を流した島であるとか。もつとも，島に行つてこんなことを云うと，えらくお叱りを受ける由で，武人の島と云つた方が無難なそうである。

この半島は，小鳥が多く狩猟に好適の場所らしい。子供等もよく四籠を下げて，林の中に入つて行く姿を見掛ける。

四籠下げ来し子等よ山の道
海へ向く墓群荻が吹かれおり
潮満つる音牡蠣棚に漕ぎゆけり
磯山に茶の花咲けり鵜が翔けて
夕凪の波止に羽子つく蜑の子等

終りに，鯨の話が出ないと画竜点晴を欠くが，座談会にも出ているし，第一鯨の解剖を未だ見たことが無いので，いずれ鯨の話だけを，ものする機会があろうと思うので，略させて頂くが「似たり貝」と云う貝がある。太平洋岸でも，志津川から気仙沼方面に多いと聞くが，相馬海岸から平方面では，あまり聞かない。日本海沿岸にも住むのであろうか。鮑より小さい位の貝であるが，その形，色，上の方にくつついている毛みたいなもの，etc まつたく，似たりも似たりで，似たり貝の名称発生の所以である。新婚旅行に行つた若い２人が，食膳にこの似たり貝が出て，花嫁さんは，真赤になつて，うつむいたと云う程の代ものである。

山は，清浄できびしい。海は，きびしくもあるが，何か色彩がある。なめらかでもある。魚のなめらかさ，海の暖かさから来るものであろうか。

（石巻営業所）



南部藩（盛岡）に能楽が移入されたのは，かなり古いことで，大体370年位前，永緑，元亀の頃らしいが，どの程度のものが行われたかは判然していない。

盛んになつたのは戦国時代が終つて，秀吉の天下統一がなり，南部藩としては，加賀，前田藩と交渉が出来て以来である。

記録にはつきり残つている能上演は，慶長３年５月28日，当時の藩主信直（26代）が10万石加増祝いに当

路の要人を招いて行われたもので，江戸でのことである。

不来方城（こずかた城，盛岡市）内での初演は寛文５年６月で，これには重臣の主なるものが参加し，例の栗山大膳の長子も名を列ねている。

最も熾んだつたのは，天和，貞享から元禄に亘る時代で，藩公父子（重信，行信）の技，漸く円熟し，将軍家との交渉も深くなり，従つて南部藩能楽史上の絢爛時代を現出したわけである。

以上でも判るように，大体能楽は一部上層階級のものだつたのが，大衆化したのは明治になつてからで，これには楽堂公の功績が大きく正に大旱の慈雨にも等しいものであつたに違いない。

楽堂公は39代の藩主だつたが，父と不和のため藩主たること僅か１年で，隠棲を余儀なくされた悲劇的人物。明治13年盛岡に下つて新庄の邸に居住い，能楽を唯一つの友として余生を送つたが，謡，囃子ともに達人の境にあつたとのこと。そして従来城内でのみ演行されたものを寺院等を舞台に選んだので，民衆とのつながりが出来るようになつた。当初は市内願教寺が多く使われた。

この楽堂公は後年中風症に見舞われたが，幾分快方に向つたのを機会に，明治19年12月26日市内永泉寺で公演した。

これが盛岡における南部家として演能の最後になつた。何故なら，この日楽堂公は大鼓を担当したが，右腕が思うように任せず，終りに癇癪をおこして，撥，大鼓とも抛りなげ折角の能を台なしにしたところへ，たまたまその時刻に新庄の邸宅から出火し，一切の能楽に必要な諸調度が烏有に帰した為である。

なお，南部藩の流儀は，移入した当時（三戸城時代）は金春流，前田公と交渉以後は宝生流である。

また藩主が世嗣祝いの時に演行されたものに「岩手山」という曲がある。

貞享年間（29代藩主重信時代）の作で，当時の宝生太夫の節付と伝えられる。この曲の演行された貞享年間においては，同３年に岩手山の大噴火があり，翌４年亦鳴動頻りであつた為，山の神怒を和らげ，鎮静を祈る意味からこうした挙に出たものと考えられぬことはない。

―岩　手　山―

次第　治る国の春なれや　治る国の春なれや　四方も長閑き日影かな

ワキ　抑是は奥羽早地峯権現に仕え申す神職の者なり　さても当国岩鷲(手)の権現は　当社と夫婦の御神のよし承り及び候へども　未だ参詣申さず候程に　只今登山仕り候　（中略）

シテ　国家を守り民を撫で　岩鷲の神と顕れたり　しかるに有難や此の山は　法性の峯そびへ　無明の谷も深うして　八葉の真砂地はその色も妙なるや　怪しきいはほ峨々として　向へはかはる有様の　神やいますとかしこくも　恐るゝに猶あまりあり　声も高きや鶴が峯

地　雲は麓にたな引いて　むらむらかすむよそほひの　絶えぬ恵みも深沢の　流れの末も猶清き雪はさながら時しらぬ　山も爰にも奥の富士とながめぬるいにしへは　実にもと思ひしられたり，さては殊更頼もしや　委しく教へ給ふなる御身如何なる人やらん

シテ　我はこの山に年へてすめる翁草　其の名をなにと岩わし（いはずとも）　中略

地　神女は名におふ早地峯にて　松本山に　光と共に　帰りたまへば　権現も還御し　虚空にかけり　略

なお，この外に岩手県にちなんだ謡曲は

「平泉」「秀衡」「長之助」　等がある。

東条英機陸軍大将は，南部とは深い縁故があり，しかもその曽祖父は能楽を以て藩公より懇望されて，脇宝生の宗家から分立一家を為すに至つたのである。

南部邸には「白露の面」享保年間諸大名，所演，上覧能の際三井寺に用いられた唐織並びにその時の面や，又「赤鶴」作の「男蛇」など，能面，能衣裳等珍品が所蔵されている。

現在使用中の宝生流謡曲正本昭和版は，千葉常樹氏

（岩手県一の関市生れ，盛岡高等農林学校職員）が書かれたもので謡曲本の現代化をはかつたものである。書写しを完了したのは，昭和6年47才の時である。

―当社の謡曲―

当社の謡曲部の誕生したのは，盛岡電気工業株式会社当時で，大正10年頃と思われる。

千葉修先生（観世元滋氏の直弟子）が八戸市の親戚からの帰り，花巻市の宮沢恒治氏（雨ニモマケズ，風ニモマケズ，の著者宮沢賢治氏の叔父）宅に寄られたが，そのときのいろいろの話しから，花巻市内及び県下に同好者が沢山あるので指導してほしいとの懇望が入れられて，花巻に落付くことになつた。

千葉先生は貴公子然とした厳格な方で，謡の詞は特に優れていた方だつたそうだ。

会社の片岸養吾氏（土木係主任）が直接指導を受けたが，その後リーダー格となり，社内に木曜会を組織し，花巻から出張指導をうけた。会員には

千田　彦吉氏（土木係長）

金田一次郎吉（氏アイヌの研究で文化勲賞を受けられた金田一京助博士の次弟）

根田萬太郎氏（現在会津電力事務所電力課長の厳父）

奥村　啓三氏（元支店配電係長，奥村電気商会社長）

佐藤萬太郎氏（東北電工，岩手支社営業副長）

古舘　正一氏（現在岩手支店給電係長）

その他数名であつた。

而して木曜会の会員が増加するとともに，県下の謡曲熱が盛んになりつゝあつた矢先，千葉先生が，36才の若さで急逝されたことは誠に惜しみてもあまりあることであつた。

次いで盛岡に迎えられたのが，吉住清三郎氏で，京都の片山家で幼少の頃から精進され，東京観世の家元に居られた方で，体駆堂々，音声朗々として，一切無本で指導にあたられた。従つて社内にも仕舞を習う人々が多くなり，斯道今日の隆盛を馴致するに多大の寄与がなされた訳である。

3年位盛岡で当社員並びに県下各地に出張指導されたのであつたが，御都合により上海に行かれ，現在は京都において益々指導育成につとめて居られる様子である。

盛電宝生会は銀行パニツク直後の昭和7年，常務重役に田島貞雄氏がつかれてからで，会員には，舘内技術局長，中黒支店長，黒田房治氏（元仙台営業所長），その他課長クラスが多く立派に基礎づけられた。そうこうしている間にも年移り人変り，会社も大きく変つたが，謡曲部員の絶えざる努力により，毎年春秋2回さゝやかながら同好の人々が集つて素謡会を開催していた。支店管内合同の大会を開きたいものと部員一同常日頃念じていた事であつたが，一念通じてか，去る2月16日 管内新年謡曲大会が支店が音頭をとり，ニギニギしく開催された。集る部員46名。

冬の日射しとは思われない暖い春日和で，障子も明け放し，然かも広い杜陵倶楽部の庭の老松につもつた綿雪に，キラキラ白光が輝き大会気分をいやが上にも高潮させた。

午前10時，佐藤労務課長が司会され，次いで斎藤支店長の激励の言葉があり，次のプログラムにより素謡が何の淀みもなくとり運び，如何にも住時殿上人最大の娯楽であつたかを一同偲び，陶然たるうちに，午後3時予定の通り，盛り沢山のプログラムは終り，部員一同の祝言で本大会は目出度く終了した。次いで懇親会にうつつたが，支店長から転任の挨拶をかねて，慰労と今後の謡曲部の発展を祈るお言葉を頂戴いたし，宴会も和気靄々のうちに暮色せまる午後5時半頃，33年度新年謡曲大会は有意義終了した。

〔番　組〕

素　謡	竹　生　島	（観世）
独　吟	黒　　塚	（喜多）
素　謡	羽　　衣	（宝生）
独　吟	弱　法　師	（宝生）
素　謡	土　蜘　蛛	（観世）
独　吟	鉢　　木	（観世）
素　謡	船　弁　慶	（宝生）
独　吟	嵐　　山	（観世）
素　謡	八　　嶋	（宝生）
仕　舞	高　　砂	（喜多）
素　謡	小　　督	（観世）
独　吟	邯　　鄲	（鈴木先生　宝生）
独　吟	俊　　寛	（平野先生　観世）

祝　言

なお，花巻営業所長妹尾氏筆頭に会員15名，水沢営業所長松田氏外12名で夫々会を組織する旨連絡があり，（水沢営業所の先生格は前岩手支店五嶋営業課長）かつ，県下同好組織にも大きな刺戟を与えたこと勿論で，誠に機宜を得た催しであつたことを喜ぶ次第である。

（岩手支店）

百日の説法



伊藤憲司

「百日の説法屁ひとつ」という諺がある。あまり上品な諺の部類にはいれられないかも知れないが，兎も角最も日本的な感情のあらわれている諺のひとつだと私は思つている。永い間かゝつて培われつくられた行徳の聖（ひぢり）の威信も，たつた一度の放屁で下落し，ケシとんで了う，という意味合なのだろう。

或る高校生はこの諺を別なふうに解していた。だらだらした要を得ない説法は，一発の屁の如くに虚しく馬鹿馬鹿しい，というのである。この独創的な解釈に私は感服したが些か辟易もした。これで私を揶揄つたつもりならば彼もなかなかツミぶかいが，至極大真面目で毛頭そのような不埒な考えは抱いていならしい。

私は，あきれるまえに，この「諺」なるものをみつめて，成程そう思つて思われないこともないナと，少し心細くなつたような妙な気分がしてきた。べつな話で丁度思い出したことであるが，さる新聞社の出版物にだいたい次のようなことが書いてあつた。現代の小学生はもはやむかしの小学生とは違つたふうに物事を感じとる。彼等は合理的（或は功利的）であり論理的である。薪を背負つて読書しながら歩く二宮金次郎君に，彼等は非難と不審の眼を向けるのである。だいいち眼を悪くするというのだ。歩きながら本を読んで頭にはいる筈はないし，危くて仕方がないという。そう言われてみれば今どき本を読みながら往来を歩いたら自動車にハネラレる。それ程勉強する時間がなかつたとは思えない。伝記によれば彼の伯父さんなる人は，よく話をしてこちらの意を通じれば基準法なみに労働時間をへらして呉れそうな人だつたのに，というのである。同様に，冬の深夜水を浴びながら睡気とたゝかつて勉強した新井白石君も批判をうける。キユウセーハイエンになつたらどうするというのだ。病気になつて何箇月も勉強できなかつたら一晩や二晩ねむり込んでしまうよりはるかにわるいではないか。これは完全に修身の負である。修身そのものとは云わぬまでも，少くとも大人達が皮相の認識をしか持つていなかつた証拠にはなる。「昔ながら」の修身を支持した大人達は，腹の中で狼狽えながらもたいていこんなことを言う。「かならずしもこの通り真似しろとは云つてない。ただ，こうする程の熱意を持てと言つてるんだ」こう言われてたいていの子供は，腹の中で思つているようである。（ワラワセラ。そうすることゝそうする熱意を持つ事とどれ程のちがいがあるというんだい）しかし未だそういう表現の仕方がわからないから黙つてフクレるだけである。

いまの話と先に挙げた「屁」とは話が別である。「屁」の方には，百年2百年たつてもかわらぬ，庶民の生活と男らしい笑いと叡智がある。

そもゝ長い説法は屁の如しゝとは何事であるか。私はこの諺の作者の心情をおもつて，ちよつとばかり義憤を感じたものである。長い説法の中には有益に長い

ものもある。偉大な交響楽みたいに長い説法だつてあるのだ。おしなべて屁の如し，では判断の軽率の譏りを免れない。

とんだ道草をくつてしまつたが，私はこれから屁の話を書こうとしている。否，屁の効用とでも云つた方がいゝかも知れない。いかなる効用があるかは追々わかるとして，さきに挙げた諺のこともあるから古典を引用したい。

名高い宇治拾遺物語にある屁の話である。34，藤大納言忠家物言女放尾事とあるくだりがそれであるが，確か今昔物語にも同じ話があつたと思う。しかし文章は宇治拾遺の方が今昔をぬく事数等だと思う。「放屁」ではなく「放尾」とあるのは，筆記者が如何なる了見でそう書いたのか知る限りではないが，考えるにワリト上品な話なのでポーツとなつて誤記してしまつたのか，或はもつと意地悪く考えて，シツポを出してしまつた女蔵というので故意に間違えたのでもあろうか。「放屁」を平安時代に「ホーヒ」ではなく，「ホービ」と発音していたのかも知れないが，私は不学にしてよく知らない。「今は昔」。藤大納言忠家という男が居た。彼がまだ殿上人であつた時分，というのだから老いて退官してから誰かに打ちあけた話でででもあろうか。その若い大納言が，月の皎々と照る或る夜ふけに，さる美しい女房と何やら語らつている。〝びびしきいろごのみなりける女房〟とあるから美人で粋な，いわゆる男好きのする女性の型（タイプ）と思えば間違いなかろう。月は昼のようにあたりを照している。月の光が，ロマンチツクな雰囲気をつくり出すことは今も昔もかわりはない。夜ふけに若い男と逢おうというのだから，この御婦人の方でも忠家君を萬更嫌いでもなかつたのだろう。しかし，そこは昔の貴婦人である。ちやんと心得ていて自分からそのようなそぶりは見せない。忠家君は堪えかねて御簾を揚（みす）げてなかに這入り込んだ。

さて次は，〝扇をかきて引よせられ〟とあるが異本には〝肩をかきて〟とあるそうである。どつちでもいゝようなもので要するに抱き寄せたのである。すると彼女は髪をふりかけて「あな，あさまし」と言つた。今の言葉に直したら「まあ，いやね」とでもなるのだろうか。これにも「あな，さまあし」と書いてある異本がある。こつちだと，さま悪（あ）しだから「まあ駄目よそんな」とか「あらいけないワ」とでもなるのだろうが，こうなつてくるとちよつとしたクイズである。兎も角そう言つて動いた拍子に……一発元気のいゝのを落してしまつた。こゝのところは〝いとたかくならしてけり〟とある。私はこの一句に敬意を表する。これ以上適切な語句がない。まさにその音を耳にする如き感がある。「いとたかくはなちたり」では駄目，「いとたかくこいてけり」では尚いけない。こゝはやつぱり「いとたかくならしてけり」である。

大納言もタマゲタが，当のびびしき女房殿も予期せぬ事とてびつくりした。ついで，くたくたとしおれてしまつた。するとこの大納言は「心憂きことにも逢いぬるもの哉，世に在りても何にかはせん，出家せん」と考えた。そして匆々にその場をとびだした。然し，2間ばかり歩くうちに，何も女が屁をひつたからといつて坊主になるにも及ぶまいと思い直した。そこで出家はヤメにしてスタコラ逃げ出した。女房はその後どうなつたか知らない，というハナシである。

実話だか作り話だか知らないが，お話が単純なだけに何んとなく実話だろうと思わせる。

この話を通して，私達の先祖の実に男性的な笑いを感ずるのである。

同じような屁につらなるもので天明年間の版になる「柳多留」のなかに

屁をひつたこどもをさがす師匠さま

というのがある。真面目に手習いをしている子供達のうちの2，3人が臭い臭い言つて鼻をつまみ出す。お師匠様が怖い顔をして「騒がしいぞ，静かにさつしやい」とか何んとか言う。「だつておつしよ様」と子供達はムクレル。そのうちに毒ガスはお師匠様の鼻に達した。苦笑したお師匠様は「誰ぢや，おならをしたのは」と立ち上る。においの強いところが発祥地の筈である。子供達は騒然となる。

昔の寺小屋のすがたが髣髴として浮んでくる。こつちの方はその時代が現代に近いだけに一層その生活に

親近感を覚える。

さて，もう一つの屁の話がある。今度は十九世紀初頭から中葉にかけてのフランスの文豪バルザツクの作品で「コント・ドロラテイク」の中の挿話なのだが，これは全て疑古文で書かれたものである。

このバルザツクという男は，こゝに引張り出すにはもつてこいの男で，佳い景色を眺めながら興に乗じて殷々たる屁をぶつ放して，友人から絶交を申し渡されたという逸話をもつた快男児である。

中世のパリ。ノートルダム・ラ・リツシユ街に素晴らしい別嬪が居た。びろうどとレースで飾りたてた華かな服装をしていた時代のことである。彼女程の美人はめつたにおらぬとやらで，若い男共は皆，彼女にうつつを抜かして居たが，彼女には，たつたひとつだけ人に知られぬ悩みの種があつた。それは他でもない。体内のガスを排出するとき，やゝもすると爆弾のような怪音を発するのである。

いよいよ結婚する事に決つてから花嫁ゴには俄かに不安になつてきた。初夜に際して，何かほかのことに気をとられている間に，うつかり落しものをしては大変だと気がついたのである。そこで，母親にこつそり打ちあけて救いを求めた。人の好い母親は娘を慰めて言つた。これは親代々の譲りもので自分も若い頃悩んだ事であるが，後で排出音を圧搾する手だてを母に教えてもらつてから，もうこの7年というもの，夫の死んだ時お別れの礼砲を一発ぶつ放したのを最後として一度もとりはずしをしたことがない。そのやり方を用いれば，そのガスは決して悪い匂を伴わぬから多分世間の取沙汰にならずに済むだろう。ただし，これにはガス体をとろ火で煮るように気長に始末し排出管の入口にぢつと保つておいて，後で人の居ない処で押し出してスカシテおかなくてはならないよ，ガスは力が弱つているからそつと抜けてゆく筈だけれども，このやり方をうちでは屁の絞殺（しめころ）しと云つている，と懇ろに教えた。

さて，結婚式の当夜，彼女はダンスを踊りながらガスを管の奥深く蓄積におよんだ。いよいよ晴れの寝室に来て寝台にのぼる前に，こつそり消散させようとした処南無三，気まぐれな元素はすつかり煮つまつてどうしても出ようとしない。そこえ新郎がやつて来た。

——いつのまにやら時間は過ぎて真夜中となつた。花嫁はこつそり起きて座をはずした。〔しぼまぬ風船にはガスがある〕と考えたからなのであつたが，直ぐ戻つて来て床につこうとした。ぐつすり寝入つている夫を跨ぎしなに，何んと轟然と長砲を発し，為に寝台のカーテンも戦いた程の音を出した。

「あら，打ち損じちやつた」思わず彼女は言つた。

「ヤレヤレ，大事におしよ。軍隊に行けばお前は食いはぐれはないからね」すつかり目を覚まされてしまつた物わかりの好い花婿殿は，こう答えた，というのである。

東西，相呼応するこのおならの話は，理屈で割り切れぬ何か胸のスクような，溜飲が下るような，思いをさせる。はからずも東西ともに，女性が音楽奏者であつた事は興味ある事実で且つ恐縮千万でもあるが，定めしこれは女性が音感にすぐれているせいでもあろう。しかし，コセコセした現代にあつて最も私達に必要なものは，これらのユーモアをうけいれる大らかな心である。

そんな話は馬鹿馬鹿しいと，何やら疑い深い目つきをする人は屹度今までおならをした事もなければ，これから，したくてもし得ない人なのであろう。

「百日の説法屁ひとつ」を以つて，さきに挙げた高校生は「百日の説法は一発の屁の如くに虚しく馬鹿馬鹿しい」と解した。

私も，おそまきながら独創的な解釈をしてみたくなつた。

即ち「屁ひとつは百日の説法の如くに有益，且つ啓蒙的である」と。

尤も，これは私の屁理屈である。

（花巻営業所）

八郎潟の四季



田中天里郷

昔々南祖坊は諸国遍歴の途すがら，草鞋の緒の切れた処を自分の棲家と心ひそかに決めていた。其処が丁度みちのくの果，こともあろうに八郎太郎の住む十和田湖のほとりであつた。当然の帰結としてこの竜虎は相搏する雌雄を決しなければならなくなつた。八郎太郎は一敗地にまみれ新しい棲家を求めて米代の河をせきとめようとしたが，この河畔に住む8人の地主達の忌避するところとなつて，よんどころなく，八郎潟に身をひそめることになつた。たまたま田沢湖の主辰子姫と相思相愛の仲となり，逢う瀬を楽しみに八郎は度々田沢湖へ蛇身の身を人間の姿にかえ出かけるようになつた。そこで主の不在勝な八郎潟は年々歳々浅くなる許りとなつた。

東西12.5粁，南北24粁，面積233方粁の本邦第2の大湖も今ではその深度の大部分は3米乃至4米，中央部の最深部でも僅か4.7米に過ぎない。そこを見込んで，農林省では八郎潟干拓と云う計画をたてた。八郎の恋の末路こそ哀と言わなければならない。

干拓計画に依れば，この伝説をもつ八郎潟も，10年後には永遠にその姿を消して仕舞うことになる。南部地帯の一部を調整池として利用する外，現在の船越水道あたりが僅かにその面影を残し，それ以外の3分の2は1万3千町歩の果しない肥沃そのもの，美田と化し，8千戸，6万の入植者が35万石の米を産み出すことになろう。

八郎潟はプランクトンに富む富栄養湖で，淡水魚や沿海魚の豊庫である。殊に今年あたりは県の養魚政策が図に当つて近来にない豊漁であつた。その八郎潟に奈良県と同じ面積位の耕地が生れると云う干拓工事が愈々32年度から着工ときまりながら，1年間もずるずると打棄りを喰つたのは，着工前に解決すると云う「漁業補償」がきまらなかつたからである。最初農漁民側の30億の補償額の要求に対して，農林省はまず5億円の線から折衝を始め，第2次では8億円，第3次で12億円，第4次では16億円の最後案が提示されたが，県側官民一体の運動が功を奏して，1億円の増額が認められ，12月26日深更に至つて農林大臣，知事，漁民代表の間で調印，覚書が交換された。45年前には漁民から農民への生活転換に対する不安と，工事が余りに大規模すぎる不安から干拓反対の気勢がみなぎり，一般県民も亦その水産業とともにその風致を惜んで，オランダのヤニセン教授が調査に来秋した時などは，反対デモなどを行つたものであるが，これで我が国では初めてのマンモス工事となり，10年後には当分無肥料でも反当り4石は穫れると云う。3早栽培や多角的な機械化農業で年々多収穫が続き，美田の中には近代設備による建築が立ち並び，予想が的中すれば豊富な石油埋蔵地帯であつて，石油櫓も林立するであろう。

八郎潟は男鹿半島の対岸の入江を北から米代川，南から雄物川の搬出する土砂が堆積されて砂嘴を作り，男鹿半島と連繋し，中間に水面を残して男鹿半島の形成となつた。湖面海抜0米，岸部には芦が生え葭切りが鳴くと云う情緒豊かな水郷とはなつたものである。湖岸線は極めて単調ながら周囲80余粁の楕円形の茫洋たる風貌は四季それぞれの趣きがあつて心ある人に親まれている。30有余の大小の川が注ぐ八郎潟の周辺は，明治天皇行幸のみぎり湖上を眺望された岬三倉鼻と，出戸の排水口に通ずる船越水道を除いては全部水田である。古老達は云う。これでも昔は芦の生えていた荒田で平地とは較べものにならなかつたものを排水溝を掘り，潟の泥を入れてこのような美田を作るには数十年もかゝつたと云う。曽て歌人斎藤茂吉は梅雨のそぼ降る中を厭わず，この水田の中を流るゝ馬場目川を舟で下り八郎潟に遊んだことがある。

潟に沿う平野を舟より見つゝゆく下り立つ鳶の形大きく

岬三倉鼻からの眺めは湖畔随一の景と称せられる。茂吉の歌心も大きく動いたにちがいない。

あま雲のうつろうところを大きなるみづうみの水ふりさけむとす

二郡境う岬（ふたこうり）のうへにして大きくもあるかこのみづうみは

〝春になればスガコが解けて泥鰌コだの鮒コだの夜が明けたと思うべな〟

雪国の春は遅い。それでも4月ともなればどこも彼処も春である。潟の氷も，潟に注ぐ小川の氷もすつかり解けて目覚めた潟の鮒は小川や用水をせき切つてさかのぼる。湖岸の一日市や飯塚は鮒釣りの本場として大公望垂涎の処である。湖東部の森山や高岡山，男鹿の寒風山や男鹿三山には山を焼く煙が上り，夜となると間近にあるものゝように火が炎々と見える。

野火の山重なり里の宵まつり　　天里郷

5月頃には俗に狐舘と称する，男鹿から五城目にかけて虹が生ずることがあり，「山林や人馬の影絵が浮遊するのを見る」と古書にあると云う。この空の下で数多の耕牛が広い水田をひねもす右往左往する図も1幅の水彩画と云うべきであろう。

〝夏になれば餓鬼べら共水あぶる泥鰌コだの鮒コなど鬼コ来たと思うべな〟

6，7月頃苗の植付も終つた青田中に例の孤独を愛する詩人の姿そのまゝ彼独得の一本脚で立つている青鷺を見ることが出来る。この頃船越周辺にはボラをとる張切網が立ち並ぶ。網を張つたまゝにして魚をとるところからその名が出たと云う。網の近くには納屋が作られ寝泊りする者がいる。その納屋か，近くの小料理屋でとりたてのボラを刺身か煮付にして湖上を眺めながら1盃傾けるのも仲々乙なものである。八郎潟は魚族の宝庫であつて，カレイ，ワカサギ，タイ，ヒラメ，コイ，ウナギと四季いずれの食膳を賑わすものにこと欠くことはないが，夏も終りに近く湖岸一帯の田圃が黄金色に波うつ頃，八郎潟には帆を掛けた舟が1艘2艘と芦の間に見えたかと思うと，いつの間にか40〜50艘の大群となり，まるで湖上せまして乱舞している白鳥の如く見える。これが白魚をとる打瀬舟と呼ばれる白帆舟である。とれたてのピンピンしている生臭い許りの白魚に生醤油をかけて喰ういわゆる刺身の味が最上のもので，刺身の中でも気品のある部類にぞくするものと思われる。

目覚めよき朝の雨戸を繰るときに真帆あぐる舟湖にあり　　石田冷水

〝秋になれば木の葉が散つて泥鰌コだの鮒コだの舟コ来たと思うべな〟

湖上の風景の中でも秋の観月は捨て難い。藤江真澄翁の「男鹿の秋風」によると，

「この仲秋の月を八郎潟に行つて眺めたいと葉月の14日，久保田の布金山応供寺を旅立つた」とある。

水の面にみちのく山のかげならで月のこがねの花ぞちり来る　　藤江真澄

この頃鯊も日毎に大きくなる。女子供も入り交つて船越水道を挟んで鯊釣り舟が処狭しと許り並ぶ。近郊近在のものは言うに及ばず秋田市に住むものにとつても，この月の最大のリクレエーションであろう。

鯊釣りの雲なき朝の舟を漕ぐ　　天里郷

鯊釣りの手先きに蝦のむかれけり　　〃

鯊釣りの鈴りんりんと竿あぐる　　〃

鯊の最盛期に入ると鯊が澄んだ浅瀬に集まつて群をつくる。天王町中の島地区の浅瀬ではその期を逸せず，一団の少年達が竹筒の中に油を浸したボロ切れをつめて火を点したり，麦殻を燃やしたものを片手に持つて一勢に浅瀬に入つてゆく，そして火に寄つて来る鯊を巧みに足で踏み押さえて捕える。それを刺し口のついた糸に通して吊し，各々その獲物を競う訳である。これを鯊踏みと云つて仲々に詩情にとんだ少年の日の楽しい夢の一つである。

湖畔の人々は台風の季節をどこの例にもれず一番こわがる。あらしの少い年は少い程豊漁豊作のえびす顔である。秋晴の 5，6 日も続けばこの上もない稲の取り入れ時は，この地方の機動力である潟舟が小川を上下して稲架から稲束を山と積んで運び出す。後は再び果しない平野となり，さえぎるものゝない晩秋の潟と刈田とを直結する。

男鹿山に陽は翳りつゝひたひたとみづうみわたる
風の冷え来る　　石田冷水

〝冬になればスガコが張つて泥鰌コだの鮒コだの屋根コかゝったと思うべな〟

日本海の北風は身を切るように冷たい。12月の終りになるとさしもに広い八郎潟も，厚い処では，2，3 尺もある氷に閉ざされ，対岸と馬橇で交通が出来る。少年の頃こゝでスケート大会が一度開かれ，それに参加した思い出を持つている。

吹雪に明け吹雪に暮れる日が多く，氷に張りつめられた冬期間こゝの漁民は一体如何して生計を保つであろうか。幸い原始的ながら氷下網と云う方法によつて漁を続ける。石田冷水氏の話によれば氷下網とは

10人位が 1 組になり夜明け早々橇に網や道具を積んで湖心に出てそこで作業する。先ず漁場では手力と云う柄の長いもので氷を砕き大小の穴をいくつかあけて，浮を竿の先に結びつけてその穴に通し，次の穴に届いたのを見て今度は小鍵と云うもので浮を引上げ，順々に網を通しては上げながら最後に合せ穴と云う所に両網端を合せあげて外に引きあげ，そこで曳き網をするのである。（八郎潟風土記）

チブラツコ，ワカサギ，ナマズなどとれるのであるが，その中でも寒鮒の味噌汁の味は天下の絶品とも云えるであろう。

冬の八郎潟には白鳥もやつて来る。実際に棲息するためではなく，カムチヤツカから北海道を通り日本海岸に棲家を求めて通過するのであるが，古老の話では八郎潟にも 1 カ所昔から氷らない処があつて其処へも来るものがあると云う。然し，今年は全くの暖冬で湖岸から 2 百米～3 百米の結氷を見ただけで，湖心に残る青い水面に水浴を楽しんでいる数百羽の白鳥を見ることが出来るそうである。やがて，1 万 3 千町歩の美田と化して湖水喪失のあかつきは氷に追われ水面を求めて飛来するこの珍客の美しい姿態も見られなくなる。平野湖であるこの潟には鴨も沢山やつて来る。禁猟期間中は一団となつて幾組かの群に別れ，水に潜り水に浮んだりして吾がもの顔に楽しんでいるが，11月ともなれば狩猟家の好餌となる。

鴨を追う犬泳ぎつゝ射手を見る　　天里郷

八郎潟にはまだまだ語りつくせぬものが沢山あるが，湖畔有情とも云うべきロマンスを一つ述べてひとまずこの頃を終ることにする。

梟雄織田信長は不覚にも明智光秀の陰謀にあつて，はなくも本能寺の露と消えた。信長の子信雄は父の仇を討つた羽柴筑前守に好意をしめさず，秀吉の忌諱にふれ遠く秋田の秋田城之介実季の手許に預けられることになつた。城之介は更に小玉徳右工門なる者に委細を托し，天瀬川の小高い丘のほとりに住まわせた。信雄は無聊のまゝ徳右工門の一人娘を愛して懐妊させたが，僅か 1 年で帰参が叶う身となつた。この地を去るにのぞみ「男の子であつたらこの短刀をあかしに訪ねて来い，もし女の子であつたらこれで生計を立てるよう」と血の薬の製法の 1 巻と短刀 1 振を残して旅立つた。処が非情にも生れたのは女の子で，娘は再び信雄と相まみえる事もなく，ロマンスの蕾は咲かずにしぼんだが，血の薬は今も家伝の妙薬として伝えられ，その時の刀剣や巻物，鏡の類も保存されていると云う。其処には徒然の慰めに茶をたてるために掘つた井戸もあり，1 年毎に枯れてはまた新しく芽を出す柿の木が 1 本あると云う。　　（秋田営業所）

どたんばの基地三沢



増田直治

以前に私は「赤線基地」と題して，社誌に拙文を掲げたことがあつた。あれから 5 年みちのくの上海と誇称された三沢も今では街の隅みずみまでが，傷ましくやつれ果てゝいる様子は何とも云いようのない寂しさである。わたくしは思いを新たにしてあれから 5 年に至る変貌せる今日の三沢を記してみたい，朝鮮へ朝鮮へと毎日のように国連軍が空輸されて行く時代つまり 5 年前の三沢は名実共に国連軍にとつて東洋一を誇る空の要塞地帯であつた。夜となく昼となく，爆撃機は逞ましい音をたゝ南に向つて出撃して行つた。そして，最悪の場合に備えて三沢では防空演習が幾度か行われたので，ニュースに無知な老人がまた日本が戦争でも始めたのかと，早合点し小学校の校長がゼソト機の音で生徒が勉強出来ないと文部大臣に陳情書を重ねる状勢であつた。右翼団体が朝鮮行きを志願して三沢に来たとか，台湾の蒋介石軍一個大隊が朝鮮に行くため，三沢に空輸されたとかの多くの噂が真らしく，伝えられたのも丁度この頃である。ともあれそんな事柄に無頓着な基地三沢の人々は北海道，千歳，東京立川方面から．急激に流れて来た夜の女7,000余を抱いて，月額 1 億 3,000 万円の外貨を稼いでおつたのである。それが朝鮮戦争の終りと共に街の経済は弱まり足下からよろめき始め，現在では月額 5,000 万円の金すら米軍がこの街に金を落さぬところを見ると余程彼等の財布の紐が固くなつた証拠であろう。ところで，三沢で一番困つた問題が 5 つある。1 つは米軍の引揚と他の 1 つは夜の女，次は，火災暴力黒人の順である。

「米軍引揚」

昨今，ミサイルや，スプートニクの新兵器が多量に発明されるに及んで事実上，航空基地そのものゝ存在価値が薄らいできた，とくに米，ソの人工衛星が空を飛ぶようになつてから，航空基地の重要性は，軍事専門家達から見向きもされなくなつてしまつたので，最近基地の人々は科学万能の宇宙時代を心から憎んでいる様子である。幅を利かした駐留軍に代つてこれまた肩身の狭い航空自衛隊員が最近めつきり増加する。今日この頃の三沢の変貌ぶりである。

「夜の女」

今年，4 月 1 日から，売春防止法が施施されることになつたが，一番驚いたのは赤線地帯の女達である。いまのところ保護更生の設備がない，三沢では県相談員森岡女史がどんなに呼びかけても女達は転業への意志はない。むしろ刑事罰則が実施されても，此処みちのくの上海三沢だけは，治外法権の地帯となるのではないかとの思惑から，転業に踏み切るものもまずない現状である。敗戦の落し子基地三沢パン助は，このように，お上の権力に対しては絶対レジスタンス的である。このようであるから，中塩小路と云う通りに，こつそり，夜の12時頃出向けば，日米合作の白黒や，白々が悠々見物出来るのである。まさしく売春防止何処ふく風である。それでも，昨年秋の人口調査では，4 万1,000人，料理店39軒，カフエー115軒，キヤバレー 4 軒，パンパンハウス88軒を抱えた，渡り鳥の街であることが判明して旺んだつたひと頃より半分も落ちたことにおたがい驚く仕末である。現在パンパンが大体 3,000 名内外であるが赤線地区の衛生設備が悪いとして米兵の立入りが禁止されている。売春立法の前ぶれとして，4 月 1 日より，六三沢県保健所が廃止になることが取決められたが，毎週の検身パスポートがなくなれば，性病の街として，彼女達は白骨化してゆくのでなかろうか，それでなくとも，500 名近い保菌者がうようよしている現在である。

「火　災」

ところで三沢で去年 1 年間に64回という連続火災に

火災保険会社も流石にお手あげ状態となり，全国的にも異例の火災記録の町に，御愛想をつかしてか，富士，千代田，など7社の火災代理店は何日の間にか，カバンをはずして，姿をくらましてしまつた。「疑しきは罰せず」と云う真に結構な法律用語がある。最近火災の原因が不明なる場合必ずと云つてよいくらい，「漏電」だと，平気で警察署で語る火災主が多くなつた。電力会社こそ迷惑な話である。昨年，火つけを依頼されて，火災をおこした米兵が，電気事故だよと何くわぬ顔で，MPに語つたそうだが，こんな火の魔人が宇宙時代に，あらわれるとは，お釈迦様でも気がつかなかつたことだと思う。

「暴　力」

三沢には上州寄居一家桜井寅五郎親分の2代目を継ぐ西村春男が街の「ボス」として君臨している。彼は2年前の町会議員選挙で最高点を稼ぎ，にらみをきかした男で町会議長の席を握つている。彼の子分衆は，200名以上で，昨年浅虫温泉で開催された，東北，北海道の「やし」大会では，上座に陣をとり国警のお偉ら方をも，当日御馳走するという程の腹芸の達人で，若冠32才の男にはみえない。太平洋の荒潮で産湯をつかつたと，タンカを切る彼は三沢の浜子である。4年前には，朝鮮人，金一家に殴り込みをかけ，機関銃や日本刀で大いに気焔を上げ県下から，かき集められた警官隊150名の度胆を抜いた逸話もある。このほか駐留軍との乱闘も度々で暴力の街三沢は無警察の状態が今なお続いている。

「黒　人」

最後に青線地区の繁華街黒ん坊横丁を一寸のぞいて見よう。此処は，戦後誰が命名したか解らぬが，黒ん坊横丁と呼ばれている名の示す通り黒人兵の盛り場である。昼ゆけば黒人の合の子が沢山遊んでおり，アンクルなどと人なつこく寄つて来る場所である。夕暮れともなれば黒人霊歌が何処からともなく，哀しく流れて全く，中央通りのジヤズに酔う米兵とは，対象的である。こゝには，白人兵が絶対出入しない，そう云えば基地内に学校があるが，白人と，黒人は教室が全然違う。教師も黒は黒，白は白である。黒人の婦人が買物に入つた店には絶対白人の婦人が入らない。そして彼等は，おたがい，何ら，矛盾を感ぜずに進駐このかた13年もの長い間おたがいの立場を理解しあつて異国の地に暮して来た。米本国で観られるような黒人学生のボイコツト事件は，ただの一度も起きたことがない。然し，冷い黒人の瞳はいつも暗く差別を憎む者の目である。三沢最大のママサンホールに行つても，黒人兵にはつく女が居らない。彼等は踊る勇気を失つて，隅の窓から凍る夜空の星を眺めて瓢然と帰る者が多い。

（十和田営業所）

雪穴の中から



千葉鉄藏

白雪深く降りつもる
八甲田山のふもと原
吹くやラツパの声までも
凍るばかりの朝風に
物ともせずに雄々しくも
進み出でたる1大隊

明治35年1月23日の，八甲田山での雪中行軍のことについては昭和の現在，当の青森でも人々の口の端にのぼることが無くなつて参りました。

明治に於けるこの悲歌も今では身近に物語つてくれるものとしては，八甲田山麓幸畑の墓地に八甲田山中猛吹雪の中に毅然として救援の目標となつている，銃を手に北を向いて立つている後藤伍長の大銅像があるのみです。

その銅像の位置より谷間へ急勾配の坂をスキーで，

2,400m下つた処にわが上松沢発電所鳴沢取水口があります。山の片側を削り川に面して建てられた30坪の建物がその住家であり，勤務個所です。八甲田の山ふところの平均風速20mの風が吹き続ける谷間に雪に埋もれた六帖間の室に独り居て，ほのかにゆらぐランプの灯の下に呆け顔で思うこともなく飯を食い床下を流れゆく水をにらんでいます。

勤務員は2名，共に家族と別居の生活でこの別居は夏冬に限りません。子供等の学校のこともあり病気になつた時のことを考えると自然別居せざるを得なくなつてしまうわけです。月に2回交替で家族との面会と食糧の補充のため下山するわけですが，そのコースもスキーを頼りに積雪4mの沢を上りでは雪崩に注意しながら2時間以上もかゝり，汗みどろではい上る。はい上つてからは後藤伍長の銅像を過ぎて上松沢発電所よりの避難小屋まで8キロの冬道はいくたび歩いても心細く，高山の気候は気まぐれであり風速30m～40mの猛吹雪に全く生命がちゞむ思いです。

下から吹き上げる雪まじりの突風に足を奪われ雪の上を這いづりながら今日逢える吾が子の笑顔を思い，スキーのストツクをしつかと突きさう妻への愛を思う。かろうじて20キロ下のふもとの吾が家まで6時間かゝり，スキーを脱ぎ明るい電灯の下であたゝかなストーブにぬくもり吾が子等にかこまれた時は生きていた喜びに涙が湧いて来ます。

〔電力会社に勤めて電灯の無い処に居るなんて……
それも発電所に居ながらね……〕

とよく人が云います。夏の6月頃から9月頃まで自家発電の3KWの発電機が廻り，電灯がともるのですが，春秋の落葉に続く冬の流雪と結氷以後は自家発電の店仕舞をしてしまうのです。

空に人工衛星が廻り，原子力の現代にランプの芯をかきたて，ランプのホヤを磨いている電気屋がいるとは皮肉なものとつくづく思うのです。

屋根につもる雪は3日に1回は除けても，山肌に沿つて滑る雪は男二人住む家を容赦なく夜毎にギシギシと音をたてて家の骨組をゆする。階下は水路になつている為に立のぼる水蒸気に朝起きて見ると室中真白に氷の花が咲き出ている。蒲団の上にも雪の結晶が置かれ夜の最低気温は零下15度を示している事もあります。

何にが欲しいと云つて，とり分け欲しいものは勤務個所より登つた地点から，現在の避難小屋までの間にもう1個所の避難小屋を造り，電話連絡出来る様にして欲しいことであります。冬の往復を安全に護つてもらうために。

変化のない流れる水の音に明け暮れ家屋の骨組がきしむ音をききつゝ冷飯に湯をかけて，塩のきいた大根漬とこなれた塩からを胃腑につめる。隧道に吸込まれてゆく水の流量をはかり外に猛吹雪の中の積雪ポールの目盛りを読む。

しかと自分の仕事に生きようと思う。春を待つ心は誰れよりもつのる，けれど，来る春は何処よりも遅い。

昨日家から出る時子供が氷豆腐と冷凍魚が入つてふくらんだリユツクの中に，「父さん読めへ……」（読みなさいよ）と云つて押込んでくれた子供の漫画本が3冊，スプリングが波うつている椅子にのつけられたままだ。子供の好きな赤銅鈴之助もある。漫画でも読もう。ストーブは心よい音をたてゝいる。

（青森支店）

こけし物語



武下堅吉

眼鏡を光らせ，カメラを肩に，そこが若し南欧イタリーの古都の辺りであつたとしたら，上衣を脱いで抱えたワイシヤツの腕にピラピラとした上げをしている旅行者がいたら，それは日本人とみて間違いはないそうだ。

私は幸い近眼でもないし，カメラの腕に自信もないので余程の例外でもない限りカメラを持ち歩かないから，日本人の2大特徴は何れも具備していない，ワイシヤツも既製品を使う時は袖付けの処で内折の上げをすることにしているのでピラピラがない，だから万一海外旅行でもすることがあつたら韓国人か中国人，色

が黒いからタイかベトナム或は安南人と間違えられるかも知れない，尤もこんな日本人の持つべき鑑札の持ち合わさん男は出歩かん方がいゝという天の思召か，生涯4つの島から1歩も出られんらしいから，いらぬ心配かも知れない。

ともあれ，斯の如き男なので初めての処え行つてもパチパチやつてアルバムを飾る芸はない。その代りという訳ではないが，何時とはなしに初めての処とか，何か印象深い事があつた処え行つた時にはその土地土地の郷土人形などを買つて来ることにしている。

出歩く先が当社の供給区域内が主なので，買つて来るものも大体こけしであるが，中には，風のまにまに糸で吊るした愛嬌のある首をフラフラやる会津の張子の赤ベコや，大館の木刻の秋田犬，津軽の土製の鳩笛，さては秋田の竿頭，青森のネブタ人形と云つた賑やかなものから，グロテスクな人形首を巻薬に挿した佐渡ののろま人形や無名異焼のおけさ踊，輪切の竹の中に朱の鳥居と五重の塔を配した宮島土産，祇園祭りの鉾を屋根高く飾つた山車等々雑多なものがそれぞれの郷土を代表して人形箱に押し並んでいる。

手足がない人形で，代表的なのはダルマさんとこけしだが，どちらも乱暴に扱つても壊れないから昔から幼児の玩具箱の必需品であつたが，近頃はどちらも素朴な顔立ち衣裳を愛され，民芸品の再認証，郷土芸術の再評価などと至極御尤もな理屈を並べて大人達が取り上げ，その罪滅ぼしに代りに子供に与え，玩具箱の主に祭り上げられたのがチヤカチヤカ走り廻る，自動車や電気機関車，はては眼鏡をかけ三面鏡にどつかり座るかと思うとミルクを飲みオシツコ迄たれる大人だか赤んぼだか訳の分らない怪物人形になつて来たのだから，これからの子供が益々神経質になつて来て，西郷さんのような人間は出なくなるのも当然のことかも知れない。

大正末期から昭和の初めにかけてこけしの良さが見直おされ，一部郷土玩具研究家や，蒐集家によつて高く評価される迄は，こけしは東北の片田舎，それも宮城県，福島県の蔵王を中心として東南に扇形に点在する温泉地に鍋釜，味噌醤油を布団と一緒に担ぎ込んで湯治に来る農閑季の爺さん婆さんが孫の土産に買つて帰るのが御得意さんだつた山の理もれた芸術品に過ぎなかつたようだ。

おそらく，この投げても，叩いても壊れない人形は野天風呂上りの爺さん婆さんの1人按摩の肩叩きの役目も果したであろうし，うたた寝の枕代りにも使われたことだと思う。

その歴史は木地職人の歴史と共に流れ，伝えられロクロを発明したと伝えられる文徳天皇第一皇子惟喬親王を業祖として各地に伝承されたものである，だからこけしの胴の花模様は菊が主体になつているのであると彼等の仲間では信じられている。

この山に生れ，岩間の温泉に育くまれた，おぼこ育ちのこけしが戦後のマンボ・ブームと歩調を合わせ，こけしブームを奏でゝ日本国中何処え行つても土産物屋に見られるようになり，吾々が驚ろくより先に御当人のこけし達が驚ろき周章て，今迄長年使い馴れた彩色染料の青竹やオーラレンをさらりと捨てゝエナメルまがいの光沢ある塗料をベタベタ塗りまくり，田舎娘の厚化粧と洒落れこみ，踊るこけしとなつて現われたり，門前町の長野には坊子こけし，会津に行けば悲壮な白虎隊こけしや盃片手に風呂に入つている小原庄助，青森に行けばりんごこけしといつた具合いで華々しいこけしオンパレードは山から降りて市街地に侵入して来た。こけし通の間では，これらの戦後派をこけし人形と称び本来のこけしと区別し，先祖は同じでも種が異うと混血児扱いで，こけしの戸籍には入れないことにしている。

こけしの故郷東北の都会仙台には，こけしの専門店が数軒あり各地の名工の作を陳列しているが，私の家にはこうした店から嫁入らしたものは1つもない，その1本1本が何れも私の旅行鞄の底を仮寝の宿として搬入せられたもので，その数も何時とはなしに4，50本になり，押し合いへし合い人形箱に並んでいる，少し大柄のは列外の棚に立つているが，買手の私がこけし知識がないし，審美眼などという高級感覚稀薄の上に，汽車やバスを待つ間に無計画にあり合せの土産物屋に入り込んで鞄の収容力の均り合いを第一条件に買うのだから，駄物が多いには違いないと思うが，押し並べられたこけしや人形の1つ1つが私には思い出の種で，茶を啜り乍らながめることがアルバムを見るのと同じ効果をもたらす訳である，アルバムの様に本棚から引き出して1枚1枚繰る手間が省けるし，飾りにはなるし，若し訪ねる人が見るならばこの家の主人の

奥ゆかしい（？）心根に感じいることもあるだろう。

立ち並ぶ吾が家のこけしのキングサイズは鳴子生れの1尺5寸程のもので裏には正吾と署名が入つている。一応鳴子の名工の部に入る作者らしい，これには建設省が鳴子ダムを造るために，当社の鬼首，荒雄川，鳴子の3発電所〔最大出力合計4,750 KW〕が水没するので，その補償問題を東北地方建設局と折衝した昭和30年から31年にかけての思い出を持つたこけしである。

電力会社で補償問題といえば，補償する側に立つのが普通で，補償の担当者は一応ガツチリ組み立てられた工程によつて正確に進む工事と，自分達の主張を執拗に頑張り通おす「善良な農民」達の「御尤もな言い分」との板挟みに合い，脳細胞の活動が相当いかれているので「吾れ若し，被補償者たらんか，斯くしてくれん，」と日頃胸中沸々たるものがあるのだが，因果は巡るとでも云わんか，はからずもこの時は被補償者の側に立つた訳である。

吾々の直接折衝の相手となる者は，常日頃同じ立場にいる顔馴染みの地方建設局用地課の面々で同病相憐むいかれ型である，いかれ者同士が，いかれた話をするのだから，はたで見る程話は順調に進展しないのは当然かも知れない。

御承知のように鳴子ダムは，主目的の北上川の治水の外に，発電，灌漑という利水面にも利用しようという多目的ダムで，発電部門は当社がその開発を担当し，ダム工事と歩調を合せて工事を進めている，ダム完成と発電所の竣功はその時期が狂つてはならない，だから否でも応でも補償の結着はこのテンポに合わせねばならない。

「こちらは被補償者なのだ，憲法に保証された財産権を俺様の納得の行く適正妥当に補償してくれない内は，ダムの湛水真平御免」と毎度苦しめられた台詞を一度は吐いてみたいと思うが，今回はそうはいかない，云うなれば敵と味方が2人3脚でビツコタツコと走つてるようなものである，相手の建設省と一緒になつて暦に尻を叩かれ追い廻される訳で何とも御愁傷さまの次第である。

緒戦の論陣は，双方濫蓄を傾けて「発電所補償は斯くあるべきなり」と，水利権の法律論から展開して発電所の経済論に及ぶ大論文を紹介する。何円何銭何厘の発電原価を積み上げ，積み降ろし，金利が6分だやれ8分だ，賦金率がこうだ，年金現価率がこうだ，と掛けたり割つたり計算して，互いにぶつけ合う数字が千万円単位の荒削りの応酬を繰り返してる内に，話は段々浮世に近づき，現実化して来る訳である。

一方では，ダムの建設費と治水，灌漑，発電の3部門で如何に負担し合うかという所謂多目的ダムの建設費用振り分けの問題を進めなければならない，又一面では不用化する10KV送電線の撤去補償の問題，水没区域内の配電線の移設補償の問題，廃止になる発電所は補償を貰えばあちらの物だが，利用出来るものはこちらで買おう，さらばそれは何と何で評価はどうすると云う問題……数え上げれば切りはないが，これらの問題1つ1つに又沢山の問題点が出て来る訳である。

如何に補償担当者が博学なりと雖えども，斯様に多岐に亘る問題をとことん迄突込んで「折伏」する訳には参らぬ，あちらの課，こちらの部に計算を頼んだり設計をお願いしたり，或いは問題によつては直接折衝は他部の権威者が当つて，こちらはオブザーバーの様になつたりし乍らも，どの問題も本体補償と密接不離なので顔は出していなければならないし，理屈で敗けないように，矛盾を来さないように，金額的に損をしないようにしなければならない，あれやこれやを考えると夜もおちおち寝られないような毎日が続いた。こんな頃のある日，建設局の担当者と現地調査に行つた時に吾が家に嫁入りして来たのがこのこけしである。

このこけしを見ていると硫黄の香にむせぶ建設局の鳴子寮の風呂場を思い出すし，鳴子こけしの特徴の1つであるあの角張つた肩は心なしか18,000KWの新鋭鳴子発電所のあの特有のサージタンクを連想させる，赤と緑のロクロ引きの太い線と細い線で描かれた縞模様はあの曲線の美しいアーチダムに湛えられた水位を示しているかのようでもある。

茶を啜り，新聞の小さな活字に疲れた目を上げれば，鳴子こけしと視線が合う，こけしは当時を語つているようだし，私はあの問題処理で何が足りなかつた事があつたのではなかろうかと反省してみたりする。

人形箱から1本1本こけしを引き出し，赤ベコを出し，秋田犬を出し，庄内のいづこ人形を出し乍ら又次の機会に彼等が吾が家と縁を結んだ，いわれ因縁故事来歴を披露致したいと思つている。　（本店厚生課）

短歌

扇畑忠雄選

冬の星座　本店　渡辺　進

乳のみ子と病みてこもれる日の暮に階下より冬菜切る音きこゆ
カレンダーに吾が夜勤日を印しつつ妻は今年のプラン立ており
みどり子にオルゴール買いて凍土(いてつち)を踏みつつ帰れば乳匂う部屋
明け近き夜を寒々と勤めいて冬の星座の傾きを知る

川向うの灯　本店　高田　修

冬陽さす縁に立ちたる我の辺(へ)に妻は転勤の噂言い出づ
川向うのつらなる灯火清しみつつ寒き廊下に煙草喫いおり
久しぶりに見たるオペラにも心湧かず凍てし夜道に息深く吸う
カルメンの殺さるる舞台もしらじらし人に押されて夜の街に出づ

雪　山郷G　薄　小枝子

山川の流れに沿いて飛行機のとどろく音は凍土にひびく
雪原を擦りて来りし雪微塵涙ぐみ易き眼に入りくる
街灯の暗きが中に見たるもの落ちるを急ぎ乱れとぶ雪影
象(かたち)なき悲哀(かなしみ)のごと三月になりても萌えんものなきふるさと

父の墓　東京支社　斎藤　久治郎

あわれとも水際に落ちる雪虫をすくいて一人園の池におり
亡き父の墓辺に妻と撮(うつ)し立つ空あかねしておろし吹く原
葬り終えこもごも人ら帰りいつ今岨に見えてたかむらの下
つらら　会津電事　西岡　孝
軒のつららしきりに解くる裏窓に児と内職の袋貼りする
吹雪く夜に訃報至りぬ獣のごと灯のなき部屋に眼をひらき臥す
旅一人車窓に熱き頬よせて春野ながむる小さき倖せ

靄の中　秋営　渡辺　としゆき

冬枯れの木立をぬきて配電線つらなりゆけりまばらにたるみ
雪止みて茜さしたり墓地のなか子供まばらに紙芝居見つ
母を呼ぶ声も夕べなり雪解けの雄物川原の靄の中より

水銀灯　秋営　田中　安太郎

冬を越す棕櫚は薬にておおわれぬ水銀灯は雪のみ照らし
高霜の白き屋根屋根めぐりつつ鳩は朝日に向い翔ちたり
昨夜よりの雪はつもりて庭隅のひと節折れし土蕨立ちたり

春の雨　一ノ関営　大山　篤

窓の灯のとどける梅の花の枝暗きさ庭にほの白く見ゆ
薄氷はりいるバケツの水替えて宿直の朝の掃除にはげむ
子の植えしサボテンの針光りつつ朝を明るく春雨の降る

冬の歌　宮支　金沢　素夫

顔見知りといつしかなりし人にしてみちのくの冬に会わず別れぬ
フオスターの軽きメロデイ口ずさみふたたびの使いいやがらぬ弟
赤インクにて小さくエルガと書きにけり思い出したる悲劇の中の名

独り居　秋営　金子　勝己

独り居の炭火つぐとき雪しまき起りて風の余響を聞きつ
癒えぬまま医療給付は打切られ吹雪く朝を友退院す

選評　扇畑忠雄

本号も出詠者の少なかったのはさびしい。職場の文芸サークルの活動が、より一そう期待されている昨今、東北電力短歌人の奮起がのぞまれるのではあるまいか。私自身いつも反省させられることであるが、ひつこみ思案と中途はんぱと移り気とは、作歌の上に、どうもマイナスであるようだ。これは、作歌だけでなく、生活や仕事の全般についても言えることだろうが、各人の積極的な充実した作歌行動が、この歌壇を一そう活気づけるであろうこと、言をまたない。

カレンダーに吾が夜勤日を印しつつ妻は今年のプラン立ており　渡辺　進

上句で生きている。下句は少し歌い流してしまった軽さがあるが、夜勤日に印をつけることによつて、一年間のプランを立てる妻の心づかいがしみじみ感じられる作。

川向うのつらなる灯火清しみつつ寒き廊下に煙草喫いおり　高田　修

川向うのつらなる灯火は印象的な情景だ。「寒き廊下」という、作者の位置を示す句もよいが、「煙草すいおり」では、やはり歌が軽く、ただごとになつてしまった。その点、惜しい。

雪原を擦りて来りし雪微塵涙ぐみ易き眼に入りくる　薄　小枝子

微塵のような雪の粉が、雪原を擦つて来るところは、おもしろい。ただ「雪微塵」という用語はこなれていない。四句の「涙ぐみ易き」は、目に吹きつける雪で涙ぐみやすいのか、それとも何か感傷するところがあつて涙ぐみやすいのか、分からないのが不十分だ。

あわれとも水際に落ちる雪虫をすくいて一人園の池におり　斎藤　久治郎

初句の「あわれとも」は感傷過多で気どりになつている。二句以下で、十分一首の内容をあらわすことができよう。特殊な境地で、孤独な心が平淡に表現されている。

軒のつららしきりに解くる裏窓に児と内職の袋貼りする　西岡　孝

上句だけ取り出せば、それでまとまった表現だが「裏窓に」となつて下句につづくと、表現が不安定だ。裏窓の下でとか、裏窓の辺でとかあるべきだろう。事実は、「児と」であろうが、この場合「児」は省いた方が一そうすっきりするだろう。作者は「児と」に感慨をこめたつもりであろうが、その意図は成功していない。むしろ、一首を煩雑にしている。作者が袋貼りをしているところだけの方が、一首の中心をはっきりさせると思う。

（71頁よりつづく）

高田営　渡遊雪峰
福寿草花台にたまる焚きぼこり
電柱の作業吹雪に命綱

佐渡営　椎野告天子
炭はねてまた推敲のあとを追ふ
磯凪げば製材音も春めきて

高田営　滝沢文
独り居の部屋の明るき福寿草
初髪の姪衿足の大人びて

高田営　上村冗村
留守番の鱈の煮凝酒をくむ
薮入りの一つ行事にかるた取る

高田営　江川志津
縞帯の顔襟巻で被い来る
鱈汁の鍋ガラス戸を曇らせり

柏崎営　白井牛歩
灯ともせば雪しきりなり旅仕度
経漬の丼に盛られ夜の炬燵

青支　山田柑滋
雪折れや断線工夫の肩に捲かれ

水沢営　浅田哲伸
卒業や親子が迎ぐ大国旗

堤通変　加藤一雄
春光のまぶしく夜勤明け帰る

高田営　比護翠池
菠薐草の籠に春雪やゝつもり

新支　高木桐舎

まる一ト日汽車乗りつゞけ日脚伸ぶ
恵まれしことの一つに寒の雨
寒雀飛び去りし枝揺るゝかな

新支　大橋喬村

背の子に初荷の旗を貰いけり
どこまでもどこまでも雪晴るゝ山
車まで花嫁歩き雪晴るゝ

高田営　丸山由里子

姑をたて妻逆らわず福寿草
吹雪にも堪えて素直な越乙女
信越の国境にして真夜吹雪

高田営　後藤白峯

倖せは待つものならず福寿草
初髪の人につゞきて投函す
部屋籠りしてゐてマフラー離されず

柏崎営　柴野村童

木枯しや編みつゝ聞かす夜の童話
雪溶けの早き流れに雛流す
紙雛を飾れる現場淵りかな

柏崎営　宮山直樹

冬濤を見ている人と見て過ぎる
書初展父子相寄りて立ちつくす

資金係の窓口にて

職きびし凍てし硬貨を掌に

会津電事　西岡孝

吹雪く夜や満水のダム守り明かす
中空に搬器かかれる冬の虹
雪晴れの山遠光る貨車の上

寒肥の熱気野づらの晴れへ積む
冬夕日白鳥声をおとす村

青支　昆ひろし

海苔舟の棹の長さよ夕日落つ
海苔粗朶の辺り静かに波揺るゝ

青支　福土野生

鳴き連るゝ白鳥消えし沖曇り
白鳥の鳴きわたる州や松籟す

青支　佐々木おさむ

強東風や駅長ラムプに事務を執る
小駅の灯にかたまりて受験生

青支　佐藤茗黙

夕陽浴び羽ばたく白鳥州の真上
人去りし州に水鳥の近寄りぬ

秋営　木山金五郎

冬田外して見ゆる遠嶺の雪
薄靄のひろごり庭樹春めける

岩支　黒沼ひろ子

寒鯉の息ひそめいる生簀なか
春めくや花屋の灯あか〳〵と

岩支　及川酒童

午頭の資材倉庫の門ひらく
熱畑や雪国の雪となりにけり

一ノ関営　大山清雲

朱の堂のはるかに浮きて花曇
梅が香に偽りのなき月登る

本店　須藤義悦

下萌や波の音する辺りにも
春暁の底よりきこゆ水の音

堤通変　京　幸児

暖かく心なごめる小川べり
成人となりたる今日の梅白し

堤通変　日又英雄

土手下の飯事遊び水温む
陽炎の中に畑打つ老夫婦

白石営　片岡翠子

わらぶきの巨き家なり鶏頭燃ゆ
いさかいや秋刀魚の煙低く這ふ

二本松電　橘内吉武

世故の妻親疎わきまへ寒椿
懐炉抱へて妻は洋画に誘はるる

須賀川電　国分甲二

樹木芽吹き馴れぬ正座の法事かな
歯痛の頬に手をおき鳥帰る

新支　渋谷よしい

雪晴や地盤沈下の話など
円満に嫁と暮して寒の水

新支　佐藤鉄歩

下萌に噎吐捨て戻りけり
人垣のまわり一面下萌ゆる

高田営　本山誠治

陽射しうけ影の短く福寿草
初髪よ目を止む君の目をよみぬ

（68頁につづく）

雑詠鑑賞

遠藤梧逸

独り居の部屋の明るき福寿草　滝沢文

姑たて妻逆らわず福寿草　丸山由里子

高田営業所の今月の投句には、福寿草の句がいくつかあり、それぞれ面白い句であつた。その中で右の二句は、その境涯に於ては対蹠的なものでありながら、どちらも福寿草の花に相応しい明るく美しい句を成している。

前句は青年独身の、まだ何ものにも囚はれない新しい美しさを示せば、後句はまた「家」という古い伝統の中に咲く美しさを語るのである。

初髪の人につづきて投函す　後藤白峯

初髪やさまざま人と会うて来し　金沢虔生

前句の作者は男であつて、しかも自分の実際の経験をそのまま詠つている。元日か二日のことであろう。こちらからは出さなかつたところから来た賀状の返しを五六枚手にして、自家から近い街角に立つているポストまで出かけて行つた。ポストの前には、正月の高島田を結つた若い娘が恰度来ていて自分よりさきに投函して立去つた。—というのである。美しく結び上げた日本髪や、和服姿のえり脚の美しさに目を見はつている「男性」がそこに現われている。

後句の場合も、作者が男性であることは明かであるが、しかし、これは作者自身の生活経験を語るものではなく、作者が一女性になつて、その女性としての生活経験を語ろうとするものである。

正月、年に一度の日本髪を結つて、親戚にも行き、日頃勤に出てる職場にも行つた。そして皆から、賞められたり、妬まれたりした。不思議なものである。こうして自分も平生とはちがつた正月髪を結うと、自分の心の目も平生とは違つたように活潑になり、それから会つた人々の自分に対する心の動きがはつきりと印象づけられて、今更「世の中」を見たような気がされる……というのであろう。

何れも、初髪の句としては趣のかわつたものである。

歯痛の頬に手をおき鳥帰る　国分甲二

歯痛に打克つことの出来た哲学者はないと西欧の諺でも言われている。歯痛のときほど世に味気ない思いのするときはない。折柄窓高く帰り行く一群の鳥を見上げて、何か自分だけがとり残されたように気が滅入つて来るのである。

ものの芽とはづむ心の光りあふ　滝田武一

「若い明るい心の躍動を感じさせる」という以上の解説は無用であろう。

四囲枯木コンロ一方に口をもち　田中天里郷

同じ今度の投句に「枯木立泡立ち犬の肉にゆる」というのがあり、関連した句であろうと思われる。この二句を併せ読めば、北国の冬の酷しさ、それにもまして北国人の生きる逞しさを人々は感ぜずにはいないであろう。

人工呼吸受講してをり日脚伸ぶ　関川疎雨

多分感電事故の場合などに対処する心得に受講するのであろう。文字通り、手をとつて教えられるのに熱心に応じているのである。場所は営業所内の宿直室の畳の間、折柄窓にさしている日もまだ高く明るい。

職業についた句を歓迎したい。

海苔売りの言葉訛りが情をそそ　相川洋子

海苔といふものは極めて日常的なものであるが、同時に日常の食膳に佳い香りを添えてくれるものである。

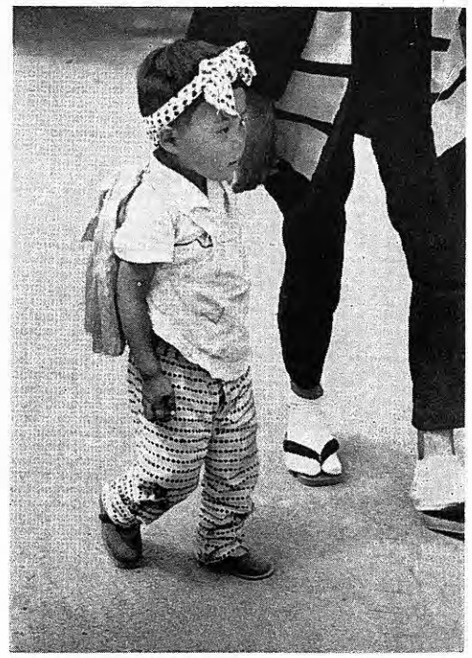
海苔売りに来るのは中年のおばさんである。そのおばさんの言葉には、ややぞんざいな浜訛りがあるのだが、その言葉はおばさんの善良な正直さを語つて、応待していて、何となくあたたかい気分になる。

鳥交る機器に昂るせし作業票　境野青葉

今月号に寄せられた新職場の五句はみなそれぞれ佳品である。就中、この句には、少しく生硬な言葉ではあるが、科学、生活、自然の自らなる融合がある。その融合が明るく輝いている。私は我が俳友仲間のベテランである君が、この新しい場面に於て、君の全力をあげた句を成就されることを心から期待する。

応募写真

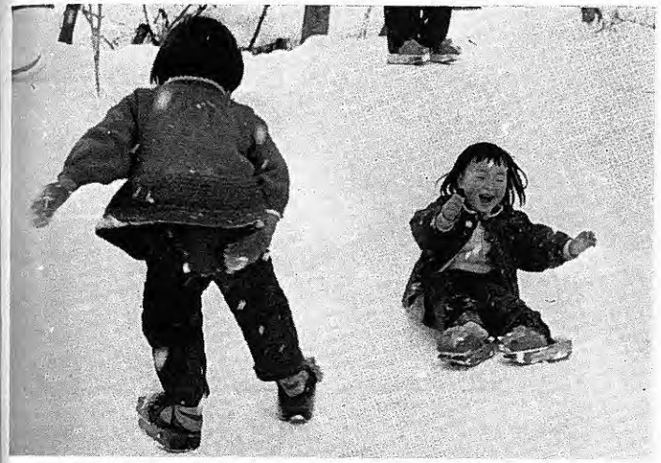
阿部秀陽選



祭の子供　弘前営　工藤鉄児
ミノルタレフ　f8　1/100
評　白黒の対比が上手にトリミングしてある。子供の生き生きした表情がほしかつた。良。



どいて　会津電事　小桧山忠
ニコンS2　f5.6　1/250
評　子供達の表情がよく面白くまとまつている。天部はこれほどまでカツトしなくてもいゝ。良。



坂すべり　米沢営　小貫幸太郎
アイレスレフ　f8　1/100
評　可愛らしい写真である。天部の足が邪魔である。内容に反するような物は入れない注意が必要。良。



冬の街　弘前営　工藤鉄児
ミノルタレフⅡB　f8　1/100
評　上下左右をカツトした方が構図がひきしまり内容も生きてくる。良。



仲良しネ　川俣電　片岡清平
パールⅡ　f5.6　1/100
評　坊やの表情がなかなかよい。可愛いスナツプ。良。

俳句

遠藤梧逸選

夕凪の波止に羽子つく蜑の子等　　堤通変　境野青葉

転勤の変電所守り二月尽　　福支　鈴木一睡

啓蟄の門ひらきある変電所　　支　関川疎雨

鳥交る機器に吊るせし作業票　　平　小松里草

犬ふぐり貪しく咲ける機器の中　　陸中海岸にて　高松邦

塗替への大変圧器鳥帰る　　岩支　渡辺としゆき

テレビにて信濃の流し雛の風習をみて作れる

一ノ関営　千葉帥坪子

石走る水にのりたる流し雛　　秋営　田中天里郷

流し雛もまれて瀬波越すところ　　本店　相川洋子

足もげし雛は寝かして流しけり　　本店　草野風逸

流れつゝ眼と眼のあひし雛かな　　本店　相川洋子

かんばせの濡れて白しや流し雛　　本店　相川洋子

山荘の朝ものの芽に包まれて　　村山春灯

春雨や旅の仕度のはかどらず　　柏崎営　村山春灯

海苔売りの言葉訛りが情をそえ　　石巻営　久保乙秋

裏戸より蔦蒲湯たてし使かな　　石巻営　久保乙秋

河口港浮標（ブイ）灯りけりやゝ寒く　　支　金沢庫生

磯山に茶の花咲けり鵜が翔けて　　支　金沢庫生

凍て土を除けて若芽に陽を頒つ　　堤通変　高野雷好

レントラー弾けば音多き小洋室　　春風に碍子拭く手の軽ろやかに

学ばねばならぬ鞄に音時雨　　配電盤に向い夕餉（ゆうげ）の秋刀魚（サンマ）焼く

枯木立泡立ち犬の肉にゆる　　沓脱の下駄つつかけて路の薹（とう）

四囲枯木コンロ一方に口をもち　　須賀川電　滝田武一

音符読む寒夜ドレスの胸あらわ　　ものの芽に触れては風の往き戻り

枯野来て死馬を埋むる人にあふ　　ものの芽とはづむ心の光りあふ

冬木鳴る農衣の重さ炉に解けば　　金色の春の夕日にへつらふ妓

毛糸編む妻へ炭火の炎青む　　初髪やさざま人と会うて来し

縁にカバン投げ捨て小鳥網かけに行きしやカバンあり

小鳥網風に孕みているが見ゆ

小鳥網たゝみ夕空仰ぎいる

人工呼吸受講しており日脚伸ぶ

トランスの真新しきに風花す

雀ものをついばむを見る春隣

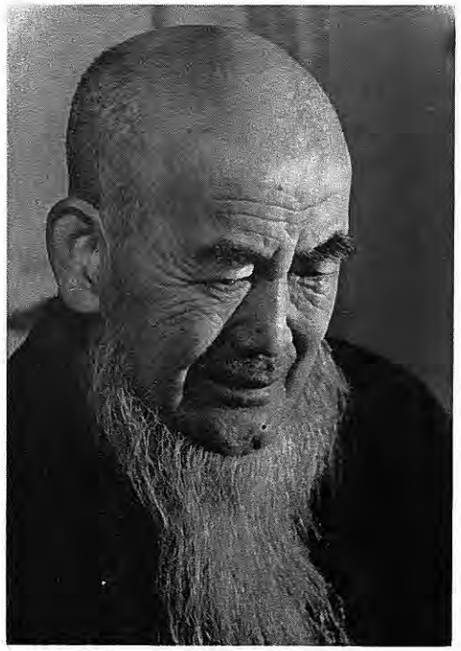
醜きものひたかくさんと春の雪

葬列の去りし地の果てしづかに雪

眉少し濡れて獅子舞子舞雪を来し

羽子をつく姉妹にして母知らず

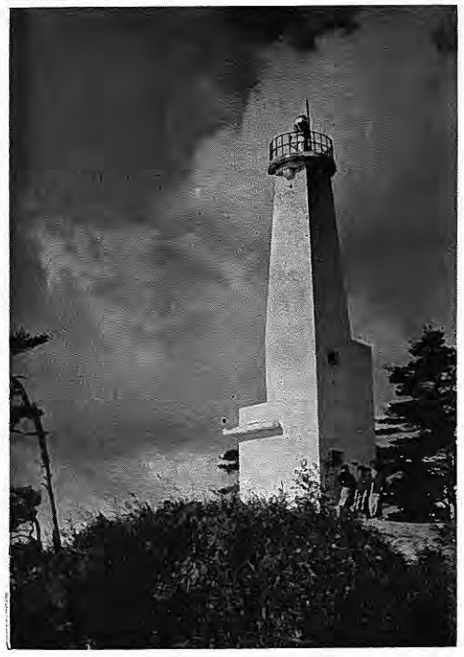
恋猫となりて一夜を帰り来ず



老　　人　　米沢営　小貫幸太郎

ソホレフ手札　f5.6　1/5　ランプ2

評　立派な採光で皮膚感がよく出ている。バツクが黒いともつと冴えてくる。良、



灯　　台　　大船渡変　大和泉良夫

マミヤ6　f8　1/200

評　仕上が美しいが，内容にとぼしい。可。



ないしよ話　　鳥海川第二発　石井忠吉

ワコーレフ　f5.6　1/25

評　なかなかよく撮れている。家庭写真として上々である。良。



漁　　夫　　鶴岡修理所　菅原世吉

コニカⅢ　f5.6　1/100

評　仕上がしつかりしている。天部を切りすぎて窮屈な感じがする。可。



一人遊び　　鶴岡修理所　菅原世吉

コニカⅢ　f4.5　1/100

評　無心に遊んでいる子供の感じがよく出ている。仕上も良好。可。



←

秋の十和田

米沢営　小貫幸太郎

ソホレフ　f8　1/200

評　黒のマツスがない為に画面が平調になり迫力がなくなる。前景に船首か人物を扱つて内容の単調を破るべきである。



朝市にて　→

鶴岡修　菅原世吉

エルモフレ　f3.5　1/25

評　仕上はキレイだが2人の人物につながりがほしい。



←

茶話会

米沢営　小貫幸太郎

ミノルタコード　f11　1/50　シンクロ1

評　作品には主役とワキ役が必要だが，この写真は主点が分散している。



秋の乙女　→

米沢営　小貫幸太郎

ソホレフ　f8　1/50

評　美しい写真だが，ポーズが平凡。

←

石と影Ⅱ

落合発　吉川東一郎

リコーレフ　f11　1/100

評　黒が中心になり内容が不明確である。造型としての作品を作る常識として白，黒，灰色のバランスが必要である。



←

三人姉妹

米沢営　小貫幸太郎

アイレスレフ　f8　1/100

評　姉妹の表情はいゝが，右側の人物が不鮮明であいまいである。



いわしほごし　→

鳥海川第二発　石井忠至

ワコーフレ　f5.6　1/100

評　前のほほかぶりの白が邪魔である。バツクも雑然としている。



落葉集め　→

鶴岡修　菅原世吉

コニカⅢ　f5.6　1/100

評　バツクがうるさい。かゞんで拾つているポーズがよかつたと思う。





←
残　　照　　宮支　菊池英二
オリンパス6　f11　1/100
評　軟調の印画紙を使用して，暗部がつぶれないように軟かく仕上げるとずつと夕景の感じがでる。

スタート　→
大船渡変　大和泉良夫
マミヤ6　f5.6　1/200
評　上下カツトして横位置にして表情を強調した方がいゝ。





←
運動会にて
弘前営　工藤鉄児
キヤノンSB　f11　1/125
評　上下が窮屈である。前方をカツトして立位置の方がよかつたと思う。

おみくじ　→
川俣電　氏家善蔵
キヤノンIIS　f8　1/200
評　バツクを割愛して各人の表情を強調した方が面白かつた。

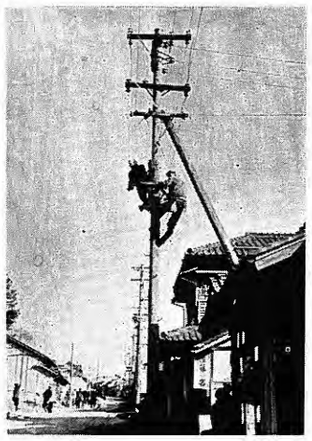




←
バイバイ
茶屋庫変　岩城隆三
オリンパスワイド
f8　1/100
評　車中のおばあさんのポーズはよかつたが，見送人は失敗である。

線路補修　→
茶屋庫変　岩城隆三
オリンパスワイド
f8　1/100
評　作品とするにはむづかしい被写体で，組写真の一枚の様な感じである。





←
休電作業
須賀川電　藤原勝美
f16　1/100
評　たゞ対象物を写しただけでは作品とはならぬ。

石と影 III　→
落合発　吉川東一郎
リコーレフ　f16　1/100
評　造型としての作画意図は結構だが，白，黒の階調に変化なく弱くなつた。



従業員1人当り販売電力量の推移

（裏表紙について）

料金の安定化が当面の至上問題として揚げられているとき，企業の合理化と密接な関係にある従業員1人当りの販売電力量はどのような推移を辿つているのであろうか。

東北開発ということが大きくクローズアツプされたことによる需用増加に対処しての電源増強。既設設備の改善，送配電々圧の格上，送電幹線の建設および電力潮流改善等による綜合損失率の軽減。設備の近代化，保守の近代化等による単位設備当りの運転保守要員数の減少。電源開発の進捗に伴う需用開拓と相俟つて，従業員1人当りの年間販売電力量は年々増加の一途を歩んでいる。この努力の結果がグラフに表われている。

なお，これを電力量で表わせば次の通りである。

年　度	従業員	販売電力量		
		電力量（千KWH）	1人当り（KWH/人）	増加率
昭和32年度（推定）	14,017	7,053,000	503,175	230.8
昭和31年度	14,226	6,122,244	430,356	197.4
昭和30年度	14,423	5,295,543	367,160	168.4
昭和29年度	14,662	4,585,081	312,719	143.4
昭和28年度	14,742	4,426,913	300,293	137.7
昭和27年度	14,994	3,728,256	248,650	114.0
昭和26年度	15,265	3,328,401	218,041	100

社誌原稿募集

次号41号の原稿を募集します。

締切は4月30日，各地，支店編集委員へ

業務報告・論文等　8,000字まで
随筆等　6,000字まで
短　歌（扇畑忠雄選）　1人5首
俳　句（遠藤梧逸選）　1人5句
写　真（阿部秀陽選）　キヤビネ1人2枚

表紙向きのカラー写真を募集します。

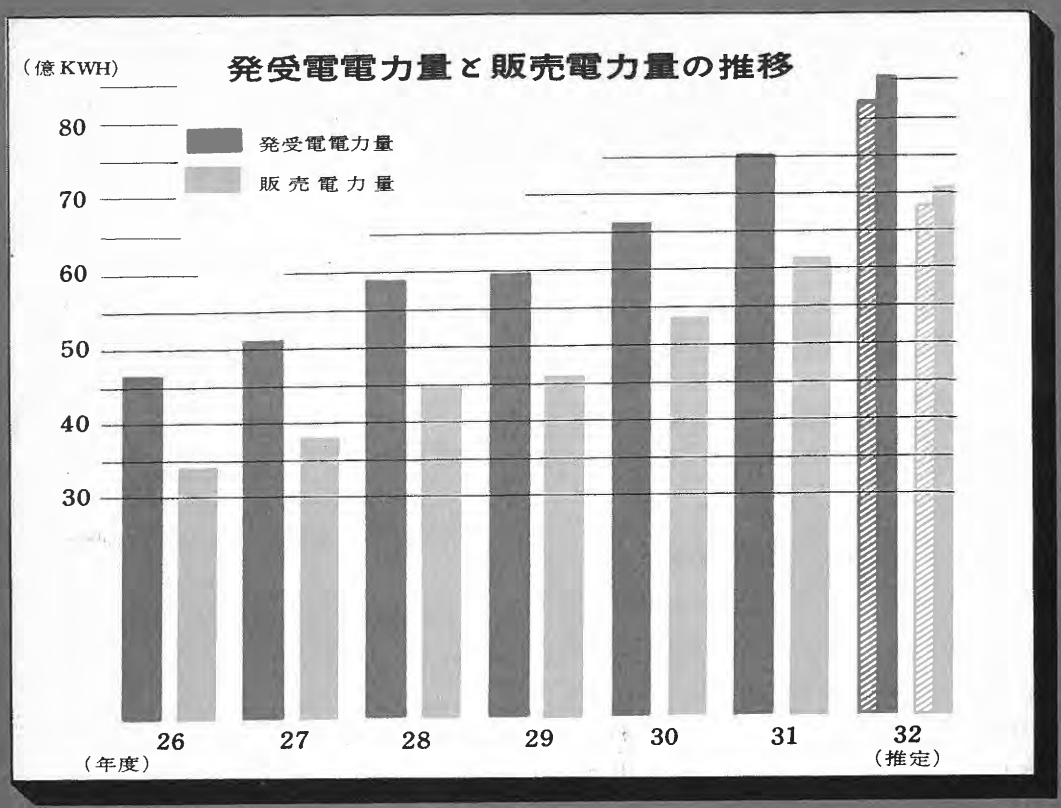
自信作をお寄せ下さい。但し，採否は編集室に御一任下さい。

後　記

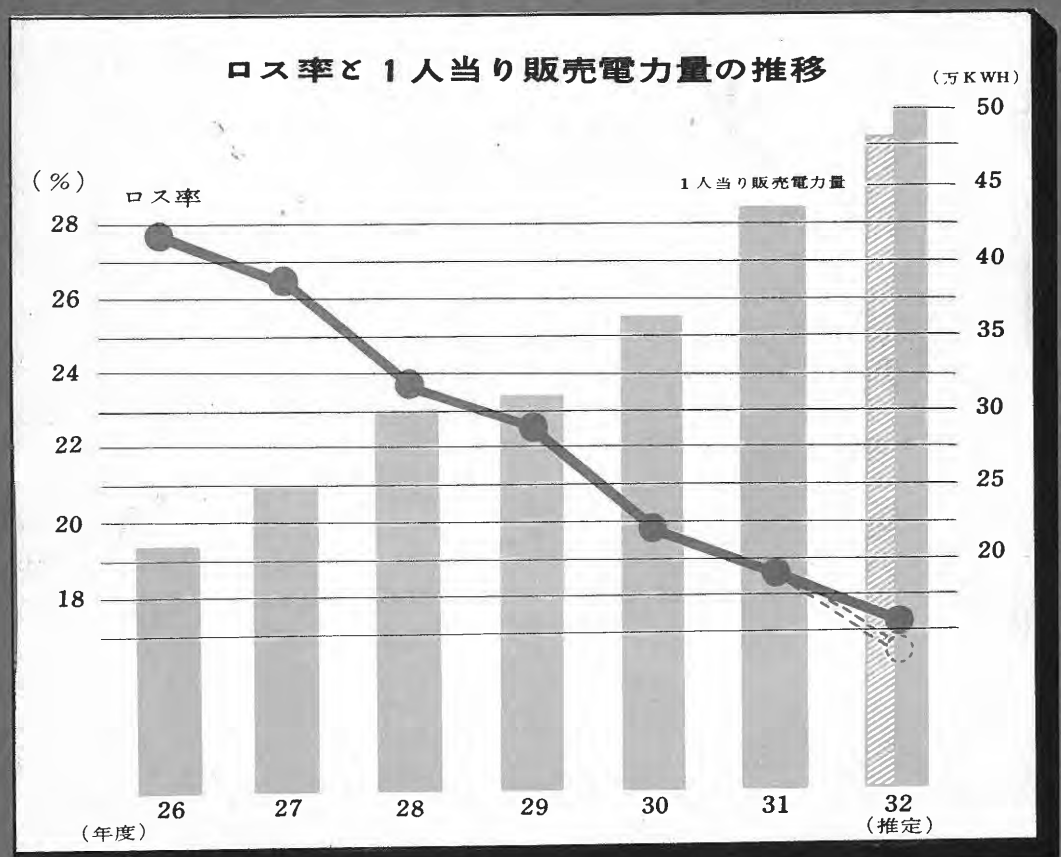
長い冬もようやく終ろうとしているが，電力界は相変らず多事である。新聞を開けば政治経済面に関係記事のない日はない，という有様であるが，われらは動かされることなく供給に建設に全力を傾けている。八戸火力の煙突は力強く最初の煙をはき，仙台火力は建設の音の中に明け暮れ，上野尻では最後の工程に入り，新潟変電所，八戸幹線もそれぞれ近く運転に入る。

漁港の営業所をとりあげた今号の座談会は色々珍らしい話も出て，好個の読物たるを失わないであろうし，太陽電池の記事も常に最新の技術的進歩を求めて止まぬ当社のお家芸として一般の興味をそゝると思う。事務機械化の現状は，あらゆる事務分野に応用されている事務機械の展望を試みたもので，今後益々拡大されようとしている事務機械化について大きな指針を与えるであろう。

（K）



（註）32年度の斜線分は計画値である。



昭和三十三年四月十日発行
発行所　東北電力株式会社
発行者　鈴木秀俊